

記事の内容

No.1438 二〇一四年九月十五日

一面 自治労第八十七回定期大会(八/二十八~二十九 別府市)

「給与見直し」は阻止を

確定方針に議論集中

五七人が発言、議案は可決

森執行委員が発言

県本部 豪雨災害の復旧を支援(八/二十三・二十四)

丹波市に延べ一六〇人

ボランティアを派遣

住民主体の防災に米軍はいらない

芦屋で反対集会(八/三十)

しこう

いまいち座 二十四時間闘えますか。地球人

重点項目を尾西書記長に聞く

九月二十六日 県本部大会

組合員がいらないと何もできない

足元を固めることが大切

回復求め神戸で講演会(八/二十二 神戸市勤労会館)

振興費補助

朝鮮学校のみ削減は差別

洲本市清掃センター「やまなみ苑」

現業との交渉拒否

地労委へあっせん申請

県人事委に申し入れ(九/八)

「総合的給与見直し」行わない

神戸は「注視」に止める

十四人勤と課題④

平均2%の「見直し」阻止

賃金、一時金、通勤手当の引き上げを

No.1439 二〇一四年十月一日

一面 現業・公企闘争

新規採用勝ち取ろう

十月二十四日スト配置、全国行動

四項目の指標の前進を

平和友好祭五十七回祭典(九/六~七)

「政治を変えよう」

危険な安倍政権の動向を学ぶ
六十周年記念ボウリング大会
但丹ブロック(九/十)

団体優勝は香美B

賞品は抽選で豊岡Aが獲得

播磨ブロック(九/十六・十七)

芝さん個人・女子で優勝

二会場で延べ六十人が楽しむ

阪淡ブロック(九/五・十二)

猪名川町職と淡路②が優勝

打ち上げも盛り上がる

国際反戦デー兵庫集会(案内)

しこう

いまいち座 JRみどりの窓口営業時間縮減 ダブルバンド

各評議会の総会報告①

青年部総会(九/二十 共済会館)

現状への不満や不安

変えるため一致団結

公企評総会(九/十九~二十 赤穂ハイツ)

危機管理体制の充実

人員確保に全力を

女性部総会(九/二十 共済会館)

権利取得の取り組み

伝えることが課題

障労評総会(九/六~七 いこいの村はりま)

状況や課題を確認

議論し交流深める

自治労野球大会(九/四~七 札幌市・江別市)

神戸市従が健闘

全国大会初勝利

ヘイトスピーチ放置は認められない

「のりこえねっと」を結成

十四人勤と課題⑤

「見直し」は実施させない

全単組オルグで意思統一

No.1440 二〇一四年十月十五日

一面 第六十五回県本部定期大会(九/二十六 舞子ピラ)

確定闘争の方針確認

「直営堅持」現・公闘争の意思統一も

「給与制度見直し」阻止

経過報告で三人が発言

交流が大きな力 豊岡病院労組 水田代議員

支援に励まされた 丹波市職労 山本代議員

委託の弊害をただす 加古川市職労 竹下代議員

しこう

いまいち座 「頭を使って回せ」大植 賢

二面~三面 森蔭守委員長挨拶

生活改善、政治闘争の強化を

組織強化へ全力をあげよう

十四人が発言し方針を豊富化

改善分の実施を 伊丹市職労 浜野代議員

継続雇用を守れ 三田市職労 川上代議員

不当処分撤回せよ 高砂市職 石野代議員

マイナンバーの取り組みを 尼崎市職労 玉城代議員

議員

県下に公契条例を 加西市職 藤原代議員

給与見直しはさせない 県職労 青木代議員

上野県議の再選へ支援を 神戸町職 平岡代議員

組合費の引き下げを 神戸市職労 門野代議員

規約改正の説明求める 南あわじ市職労 金山代議員

議員

総会で総務省通知を学習 明給労 前田代議員

分会から組織強化はかる 社保労連 川尻代議員

病院の組織化めざす 安栗市職労 大西代議員

働きやすい職場づくりへ 市川町職 金丸代議員

地域から平和運動強める 西脇市職 戸田代議員

各評議会の総会報告②

臨職評総会(九/二十三 共済会館)

あいはら参議院が激励

現評総会(九/二十四 共済会館)

直営堅持にこだわろう

都市交評総会(九/二十二 県本部)

最重要課題は尼交問題

自治ひょうごりニューアールのあしらせ(案内)

労働者保護ルールの改善阻止へ

連合が全国キャンペーン

九月二十五日 全国一斉集会

残業代ゼロより過労死ゼロを

公契約条例へ尼崎でセミナー(十/四~五)

ワーキングプアの防止

公正契約に不可欠

各評議会の総会報告(続き)

町職連協総会(ひょうご共済会館)

確定で統一要求書

公共民間協総会(九ノ二十 ポートタワーホテル)

三六協定を比較

運動例の学習も

囲碁・将棋大会の参加者募集中(案内)

No.1441 二〇一四年十一月一日

一面 現業・公正統一闘争

直営堅持基本に交渉

明石 現業職の採用へ

神戸 差別賃金認めない

現業公企 対県交渉(十ノ十 神戸市教育会館)

賃金、配置転換は労使協議

自治労臨職協全国集会(十ノ十九 大阪)

雇用上限突破へ全国集会

七・四総務省通知を学習

高砂公平委 口頭審理

処分は違法無効

取り消しは当然

しこう)

いまいち座 隣同士仲良く 大西英剛

二面 秋季闘争交渉

全単組オルグで意思統一

引き上げと見直しは切り離し

国際反戦デー(十ノ二十一 共済会館)

新基地建設を考える

沖繩は明確に拒否

意思受け止め運動を

全国自治研集会(十ノ十七ノ十八 佐賀市)

兵庫から四十人が参加

役場へのクレーム切り口に、働き方、見つめ直す

退職者会総会(十ノ二十一 尼崎市)

「現退一致」に全力

会長に小島元委員長

阪神・淡路大震災二十年の展示会(案内)

No.1442 二〇一四年十一月十五日

一面 二〇一四確定闘争対県交渉(十一ノ五)

労使交渉が原則 再確認

「給与見直し」平行線

町職連協交流会

労使交渉の課題に

評価制度導入単組から報告

働く女性の交流集会(十ノ二十六 共済会館)

マタハラの実状から考える

産み育てることを悪いと感じさせる社会

連合兵庫地方委員会(十ノ三十 ラッセホール)

労働者犠牲の成長戦略に反対

しこう)

いまいち座 おやすみ漫

二面 播磨、阪淡ブロックで定期総会

「見直し」阻止を意思統一

阪淡ブロック(十ノ二十七 三田市)

臨職実態調査と組織化

人勧引き上げ分の反映を

播磨ブロック(十ノ三十一 姫路市)

公契約条例など課題持ち寄り

新事務局長に足立さん

黒豆収穫祭に四〇〇人(十ノ二十六 篠山)

豆ごはん豚汁を楽しむ

組織内議員の紹介①

兵庫県議会議員(神戸市垂水区)

黒田一美さん

連合兵庫もちつきフェア(案内)

No.1443 二〇一四年十二月一日

一面 兵庫三区よこはたさんを推せん

雇用破壊する安倍にNO

憲法改悪、原発再稼働は反対

県本部推せん候補

私たちの代表を国会へ 森蔭委員長

連合リレーキャラバン

タスキが兵庫入り

労働規制緩和はアカン

お詫びと訂正

しこう)

いまいち座 身体検査 吉田ノボ

確定闘争第一波(十一ノ十四)

阪淡中心に切り離し

「総合的見直し」が焦点に

第五十一回護憲大会でシンポ(十一ノ一ノ三 岐阜市内)

戦後七十年を前に安倍政権の姿勢問う

但丹ブロック定期総会(十一ノ十一 養父公民館)

一丸となって確定たたかう

ピース・セミナー(十一ノ十九 神戸市勤労会館)

「慰安婦」の苦しみ今も

人権回復の視点重要

組織内議員の紹介②

兵庫県議会議員(神崎郡)

上野英一さん

No.1444 二〇一四年十二月十五日

一面 第四十七回衆議院選挙

よこはたさん訴える

「夢持てる社会へ」

庶民切り捨てる政治に決別を

県本部の推せん候補

あなたにもできる活動

反行革・予算要求闘争

職場改善、人員確保を

「総合的見直し」は先送り

予算要求闘争の日程

沖繩県知事選 県本部も支援

基地依存脱却めざす

しこう)

二面 いまいち座 寒波到来 地球人

確定闘争第二波

多くの単組で一号抑制なし

明石はラス抑制提案で紛争

県職労

独自カット縮小、地域手当

国並み見直し阻止、現給保障継続

青年女性 九地区で確定学習会

臨職評 芦屋で経験加算を新設

部落解放研究第三十七回県集会(十一ノ二十二 新

長田勤労市民センター)

六分科会で活発な議論

組織内議員の紹介③

神戸市会議員(北区)

伊藤めぐみさん

No.1445 二〇一五年一月一日 新年号

一面 森蔭守委員長あいさつ

大震災から二十年 命育むまちへ

働く者の生活と平和を守る運動を強めよう

二面 県本部役員・書記一同
阪神・淡路大震災から二十年
現場の教訓を考える

東日本派遣 仲間からのメール励みに

神戸交通労組 公共交通は福祉の一環

丹波市社協 地域の手を動かす

三面 養父市大屋町 天滝を生かす会
天滝を守り、魅力を発信

落差九十八メートル 県内最大

深谷ハイキングは心癒す

私たちも自治労とともに頑張ります

共済県支部

自治研センター

四面 組織内首長・議員
新春クロスワードクイズ

総選挙、よこはたさんは惜敗

ご支援に感謝します

組織内候補の勝利をめざそう

No.1446 二〇一五年二月一日

一面 反行革・予算要求闘争(二〇二二三)

「見直し」は第二波へ継続

職場改善、人員補充求める

豊岡病院 臨職の時給引き上げ

県本部 旗開き(一〇七 ラッセホール)

節目の年、団結強化を

連合春闘方針(二二〇二 東京都内)

べア要求二%以上

民間大手は三月十八日ヤマ場

春闘期の各種集会(案内)

ネットワーク情報の案内

しこう

二面 いまいち座 ダブルバインド

高砂公平委員会(二二〇二二二)

懲戒処分を取り消し

組合主張認める「手続き不備、無効」

女性部・臨職評合同学習会(二二〇二二二) 共済

会館)

「女性の活躍促進」とは

成長戦略の狙い学ぶ

震災とアスベストリスクを考えるシンポ(二〇一二)

神戸市勤労会館)

低かった危険性の認識

二十〇三十年後 発生の可能性ある

女性の権利強化月間

点検・学習・実践

部落解放兵庫県民共闘会議総会(二二〇二二二 神戸市)

狭山再審、人権政策の確立を

組織内議員の紹介④

芦屋市会議員

山口みさえさん

No.1447 二〇一五年二月十五日

一面 KOBEM市民フォーラム(二〇二二二二 神戸・元町)

震災の教訓次代へ

市民社会の課題、若者が議論

自治労一四八回中央委員会(二〇二二二二 東京)

「見直し」の現状持ち寄る

春闘への結集意思統一

臨職評が冬季合宿(二〇二二二二)

重点課題は組織拡大

三宮で春闘街宣も

県会補欠選挙 西宮選挙区

おくのさん次点

障労評 電話相談(案内)

県本部まんが集団例会(案内)

しこう

二〇二二二二 システムの一部：大植 賢

二〇二二二二 三月二〇日がヤマ場

格差是正、賃金引き上げを

1 一五春闘をめぐる情勢と課題

2 具体的な取り組み

3 人事評価制度に対する取り組み

4 格差是正の取り組み

5 政治活動の推進

6 平和・人権を守る取り組み

7 県本部四万人体制確立の取り組み

統一自治体選組織内候補

新春クイズ解答

No.1448 二〇一五年三月一日

一面 県本部第一九七回中央委員会(二〇二二二二 神戸市内)

「見直し」交渉強化、春闘方針

明石 公災認定支援を確認

「見直し」第二波

合理化セットで紛糾

県職労人員交渉 技術継承の執行体制確認

青年女性十五春闘討論集会(二〇二二二二 共済会館)

要求書のつくり方

交渉のノウハウ学ぶ

退手組合交渉(二〇二二二二)

四級五十歳、二十五年勤務

調整額三万二千五百円

しこう

二面 いまいち座 助けて!! 大西英剛

一五春闘討論集会(二〇二二二二 共済会館)

課題別に分科会も実施

能力で賃金決めていいのか

人事評価を目前に控え学習

労組が賃金に関与も

狭山第三次請求

証拠リスト開示

再審へ大きな一歩

一五春闘討論集会 分科会報告①

「改正地公法の取り組み」

人事評価の課題議論

「公務員賃金の確立に向けて」

「見直し」の取り組み

共済 非正規の福利厚生に(案内)

「シンプルバック」が登場

組織内議員の紹介⑤

明石市会議員

永井俊作さん

No.1449 二〇一五年三月十五日

二面 統一自治体選組織内候補の勝利めざす

私たちの声を届けよう

県本部推せん候補

神崎郡連学習会

政治活動禁止は誤り

地公法の制限は地位利用

現業闘争交流会(二〇二二二二 さいごの村は

りま)

不当な圧力に抗する

大阪の取り組みに学ぶ

総合的見直し 粘り強く交渉

スト批准投票

兵庫の批准率向上

しこう

いまいち座 梅にウケイス 政治にカネ おやすみ漫

一五春闘 井戸知事へ申し入れ(三/六)

交付税使った介入排除

自律的労使関係、地方創生

連合ベアにこだわる

第十回県本部卓球大会(二/二十八 南淡路市健康

広場)

神戸市職労が連覇

準優勝は姫路市職

一五春闘討論集会 分科会報告②

臨職 雇用、処遇改善・組織化を議論

組織内議員の紹介⑥

宝塚市会議員 元職

梶川みさおさん

No.1450

二〇一五年四月一日

一面 二〇一五春闘 県本部 振興課交渉(三/十八)

拙速な人事評価導入助言するな

「組合・職員への周知と理解は重要」

民間先行組合回答 定昇込みで七千四百九十七円、

二・四三%

連合 中小、非正規・未組織に広げる

人事院・大臣交渉 意見聞く姿勢を確認

各評議会が春闘学習

交流・職場訪問で団結の重要性学ぶ

明石島谷さん支える会結成(三/十六)

なぜ死ななければならなかったのか

ネットワーク情報の案内(案内)

二面

いまいち座 この世界の常識 吉田ノボ

統一自治体選挙で私たちの声を届けよう

四月十二日前半戦、二十六日後半戦

兵庫県内の推せん候補

大阪府内各種選挙の推せん候補

カンボジア寺子屋を訪問(三/九)

支援した文具で勉強

子どもたちの教育環境充実を

二〇一五春闘討論集会 分科会報告③

町村会交渉教訓に運動の課題を交流

No.1451

二〇一五年四月十五日

一面 統一自治体選・前半戦結果(四/十二)

県本部組織内候補の結果

県会黒田、上野が当選

後半戦二十六日投票 山口、梶川、永井の必勝を

兵庫県内の推せん候補

大阪府内の推せん候補

人員確保・男女平等差別闘争

欠員、超勤の職場討議を

六月五日統一行動日

働きやすい職場環境を(案内)

加西市市長選挙

西村市長と加西の未来をつくりあげよう

しこう

いまいち座 生物が見つかったって！ 働く場所あ

るかな 地球人

新入組合員のみなさん自治労へようこそ

先輩組合員から歓迎のメッセージ

各ブロック交流会に参加を(案内)

カンボジアを訪問して

支援の輪を広げたい 尾西亮太郎・書記長

教育とは楽しいもの 藤原敏也・青年部長

障害者春闘二〇一五(四/四 神戸)

就労支援の現状と課題学ぶ

No.1452

二〇一五年五月十五日

一面

統一自治体選・後半戦結果(四/二十六)

梶川返り咲き、永井六選

山口は惜しくも次点に

県本部組織内候補の結果

公契約条例を制定

西村加西市長の公約

五・三兵庫憲法集会に四五〇人(五/三 神戸市助

労会館)

憲法の三原則取り戻そう

許すな壊憲国民投票

二〇一五年度ナースアクション(案内)

平和・人権・環境を考える集い(案内)

第三十二回保育を考えるつどい(案内)

戦争をさせない全国署名(案内)

しこう

いまいち座 ダブルバインド

臨職雇止め撤回せよ

小野市 一方的に通告

県本部 裁判闘争の支援を確認

県本部 労働法改正に反対

過重労働許さない運動を

自治労カップ(五/三〇五 尼崎市内)

今年も四年生以下も

二〇一五人員確保闘争に向けて①

超勤三十時間以上が十六%

県本部まんがコンクール作品募集(案内)

No.1453

二〇一五年六月一日

一面 二〇一五反行革・組織集会(五/二十二〜二十三

加西市)

単組の運動課題交流

六・五統一行動 欠員補充、超勤の縮減を

青年女性反集合会(五/九〜十 新たんば荘)

人件費抑制の評価制度

職場改善にはつながらない

西村加西市長が再選

四年の実績に圧倒的支援

反行革組織集会 分科会報告①

姫路市従 現業の新採を確認

労働学校受講者募集(案内)

しこう

いまいち座 県本部まんがコンクール 大植 賢

神戸空襲を記録する会 内橋克人講演会(五/十七

神戸文化ホール)

戦後七十年 空襲体験から訴える

「平和 捨てないで」

加西公契約条例でインタビュー

安売り競争に歯止め

効果の検証が課題

沖縄平和行進に兵庫から三人(五/十四)

県民大会にも参加

二〇一五人員確保闘争に向けて①

患者、職員が安心できる病院に

県本部まんがコンクール作品募集(案内)

二〇一五年六月十五日

No.1454

一面 第十八回平和・人権・環境を考える集い(六/六

神戸市教育会館)

排外主義 許さない社会に

自治体の政策重要

ヘイトスピーチの法規制を

臨職評 人権川柳の結果

記念講演要旨 講師 郭 辰雄さん

国際社会から逸脱する日本

人員確保闘争

オルグで実態把握

宝塚、三田などで前進回答

集团的自衛権行使容認反対兵庫県大集會に参加を

(案内)

しこう)

いまいち座 戦争に引きずりこまれる 大西英剛

小野囑託職員首切り撤回闘争

パワハラ訴えたら雇止め

六月二日 神戸地裁へ提訴

本部中央委員会で支援要請

不当解雇の撤回へ

二〇一五ナースアクション(五/三十 私学会館)

地域医療の確保

人員増を市民アピール

労働法改悪 強行採決許さない

過労死まで働かされる

反行革組織集會 分科会報告②

新採組織化 同世代の声かけ

職場の後押しが大切

No.1455

二〇一五年七月一日

一面 戦争法反対 兵庫大集會(六/二十一 神戸・東遊

園地)

憲法の番人は国民

三宮に九千人 反対の声を上げよう

戦争させない一〇〇〇人委員会関西集會(六/二十

奈良文化会館)

安倍の暴走ストップ

夏期一時金闘争

嘱託一時金の改善

退職上回る採用

公営競技オルグ(六/十)

尼崎競艇に緊急申し入れ

七月二十六日三田市長選

芝野照久さんを推せん

しこう)

いまいち座 食中毒に注意! おやすみ漫

第三十二回保育を考えるつどい(六/十四 たつの

市赤とんぼ文化ホール)

読んでもらうとドキドキ

「絵本の力」を学ぶ

分科会では職場実態も交流

県本部スポーツ大会

バレエ 佐用が初優勝

野球 サヨナラで篠山がV

反行革組織集會 分科会報告③

社協の組織化が課題

周知に終わらず内容説明を

No.1456

二〇一五年七月十五日

一面 第一九八回県本部中央委員会(六/二十六 三田

キッピーモール)

戦争法、労働法改悪を阻止

三田市長選しほの昭久 必勝へ支持拡大

小野闘争 原告が決意

人権踏みにじられた

絶対に負けたくない

戦争法反対 国会前で連日行動

尼崎競艇労組

不当提案を撤回

一時金交渉が大綱妥結

第六回ピースセミナー(七/八 私学会館)

長時間労働の蔓延は人生の豊かさ奪う

労働法改正でセミナー

第三十一回反核平和の火リレー(案内)

しこう)

いまいち座「なんでやねん」吉田ノボ

第二十五期労働学校(七/三、四 共済会館)

組合の企画は自由に

運営通して楽しさを実感しよう

人事評価制度全国交流集會(六/二十九、三十 大阪)

評価の活用は交渉事項

県本部労働安全衛生集會(六/二十三)

ハラスメント対策で学習

相談者の立場で初期対応が重要

阪神淡路ブロック水道部会(六/二十七)

里山で保全に汗

健全な水循環へ

No.1457

二〇一五年八月一日

一面 単組代表者会議(七/十六)

人事評価の対応を意思統一

評価の活用は交渉事項

信頼性の確立が肝要

「戦争法」は廃案に

強行採決に各地で抗議

平和フォーラム総会(七/五 神戸)

安倍首相の暴走全力でとめよう

しこう)

いまいち座 地球人

県本部福祉集會(七/十一 共済会館)

地域と協働できる体制づくり

ニーズ、生活文化に寄りそおう

臨職評 対県交渉で助言求める(七/十四)

雇用不安の解消、労基法通りの年休と繰り越し

パートユニオン学習会(七/十一 神戸)

公契約条例 加西から広げよう

第三十一回反核平和の火リレー

二度と戦争しない

県下を走りつなく

No.1458

二〇一五年八月十五日 人事院勧告特集号

一面 二〇一五人勧

月例給〇・三六% 一時金〇・一月の増

現給保障で引き上げ効果少なく

公務員労働組合連絡会 声明

二面、三面 人事院勧告と報告(二面の続き)

四、五面 行政職棒給表(一)

六面 行政職棒給表(二)

七面 人事院勧告と報告(三面の続き)

八面 給与勧告の骨子

勤務時間に関する勧告の骨子

No.1459

二〇一五年九月一日

一面 一〇〇〇委員会 豊岡で学習会(八/十 豊岡市民

会館)

憲法違反の戦争法案阻止

戦争を合法化するため

「自衛」口実に戦争した歴史

県内各地で街宣・パレードも

猪名川町議選

くぼ宗一さん三期目に挑戦

近畿地連スポーツ大会(八ノ三ノ四)

野球は神戸市従三連覇

バレエ・豊病、佐用惜敗

ネットワーク情報・一五二号(案内)

県本部役員選挙(案内)

しこう

いまいち座 ダブルバインド

安全衛生月間各ブロックで職場点検

阪神淡路ブロック

やまなみ苑視察後、意見交換

危険箇所、転落防止

播磨ブロック

赤穂病院 管理者に改善を要求

「改善する」と回答

但馬丹波ブロック

村岡学校給食センター

アレギー食対応へ独立スペース必要

現業評議会総会(八ノ七 舞子ピラ)

新規採用にこだわる

現業・公企闘争へ意思統一

六栗市職労学習会を企画・実施

病院の組織化めざす

* * * *

ネットワーク情報

No.142 二〇一四年十月二十八日

一面 県人事委員会勧告

月例給、一時金ともに引き上げ

「総合的見直し」も勧告

県職労は断固反対

二面 二〇一四兵庫県人事委員会勧告に対する共同声明

No.143 二〇一四年十一月十七日

一面 二波の統一行動に結集を

十一月七日 決起集会「総合的見直し」は見送り

No.144 二〇一四年十二月二日

一面 組織内候補よこはたさん 元気に出発

安倍政権の暴走を止めよう

二面 檄 安倍政権の暴走に歯止めをかけ、全推薦候補の必勝をめざそう

No.145 二〇一四年十二月二十二日

一面 一〇〇〇委員会・ひょうご学習会(十二ノ十四)

賛同人ら二〇一人が参加

戦争反対幅広い結集めざす

第四十七回衆議院選挙

よこはたさん議席獲得ならず

二面 第三十四回県本部囲碁・将棋大会(十二ノ六)

囲碁の部三谷さん、将棋の部松本さん 優勝

女性部・臨職評学習会(十二ノ二十一)

「女性の活躍促進」とは

成長戦略の狙い学ぶ

映画紹介イラク・チグリスに浮かぶ平和(案内)

No.146 二〇一五年一月十五日

一面 県本部旗開き(二ノ七 ラッセホール)

「戦後七十年、大震災二十年」森蔭委員長があいさつ

節目の年、団結して頑張ろう

単組代表者会議(一ノ七 共済会館)

確定第三次の意思統一

目標水準を確認

二面 高砂懲戒処分取り消し(十二ノ二十二)

公平委員会闘争「手続きに不備、無効」組合の主張認める

KOBE市民とNGOフォーラム二〇一五(案内)

県会西宮補欠選挙

おくの尚美さんを推せん

No.147 二〇一五年三月六日

一面 阪神淡路ブロック、播磨ブロックアンケート結果

生活実態から春闘たたかおう

二面 四月は統一自治体選挙 県本部組織内候補の勝利に全力あげよう

県本部推薦せん候補

No.148 二〇一五年四月一日

一面 病院集会(三ノ二十一)

夜勤の身体への影響を学ぶ

少数者の実態を組合がしっかり取りあげよう

衛生医療評 県交渉(三ノ三)

地域医療確保基金の周知を

二面 地域のメーデーに参加

労働者保護ルールの改善を許すな

No.149 二〇一五年四月十日

一面 第十八回統一自治体選挙・前半戦選挙戦最終盤

No.150 二〇一五年六月四日

一面 「戦争法」の成立を阻止しよう

他国の戦争に参加 憲法九条の理念を大きく逸脱

戦争をさせない一〇〇〇人委員会関西集会(案内)

集団的自衛権行使容認反対 兵庫県大集会・パレード(案内)

二面 「平和安全法制整備法案」および「国際平和支援法案」の閣議決定に対する書記長談話

No.151 二〇一五年七月三日

一面 第十八回平和・人権・環境を考える集い(一六ノ六)

分科会報告

第一分科会 障害者差別解消法と人権

第二分科会 国際結婚、ダブルの子どもたち、外国人女性支援、フェアトレード

二面 第三分科会 平和運動の前進に向けて

No.152 二〇一五年八月二十一日

一面 小野裁判闘争 パワハラ隠蔽は許さない

雇用止取り消せ！感謝料払え！

三田市長選挙

しばのさん 惜敗

全国一〇〇万人大行動(案内)

自治ひろこ

1438号

2014. 9. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

当面の日程

- 17日 県本部60周年記念ワンデイゴルフ交流会 (西脇市)
- 23日 2014年人権教育ようごスタディツアー in 長田
- 23日 9・23さようなら原発★全国集会&大行進(東京)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp



土砂の運搬作業などを行う県本部のボランティア

8月16日からの豪雨により、丹波市市島町などで甚大な災害が発生。死者2人、負傷者4人、家屋全壊16棟を含む1700棟に被害がおよぶものとなった。

県本部は急ぎ、8月23日、24日の2日間、ボランティアの派遣を行うことを決定。要請にこたえ、23日には県職神戸阪神淡路区での支援活動を概認した。

県本部 豪雨災害の復旧を支援 丹波市に延べ160人 8月23日 ボランティアを派遣

但馬丹波ブロックを中心に21単組99人、24日には県職・播磨ブロック14単組61人が参加した。

派遣に向け、但馬丹波ブロックは現地入りし、丹波市職労、丹波市社会福祉協議会に設置されたボランティアセンターと調整を行い、市北部の市島町大杉地区での支援活動を概認した。

23日には、春日戸倉前に集合した参加者を前に、県本部の森守執行委員長が激励のあいさつ。そして丹波市職労の広瀬直委員長が活動へのお礼を述べた。

その後、参加者はボランティアセンター手配のバスに分乘し現地へ向かった。大杉地区では、自治会長



宮塚公園には350人が集った

宮塚公園には350人が集った。県本部も今秋の現業公企統闘争、賃金確定闘争に全力をあげる。

350人が参加した。今年から独自暮しになった義母が認知症検査を受けた。かかりつけ医から「施設も考えた方がいい」と、説明を受け大学病院

「給与見直し」は阻止を



4本の議案を可決し、団結ガンパローで大会を終えた

冒頭あいさつに立った氏家常務委員長は、①人事院勧告のプラス勧告は確実に実施させる②一方、「給与制度の総合的見直し」勧告を阻止するために全力をあげる③政治的方針では「共生と連帯に基づく持続可能な社会」に向け「中道」「リベラル」勢力の結集をめざす④来春の統一自治体選挙では、組織内、協力議員の必勝をめざす、と決意を述べた。以下、大会での



大会討論では、森野執行委員長が発言した。

辺野古新基地建設の動きは到底認められない。兵庫では、16回の沖縄視察団を取り組み、延べ1,000人の組合員が参加している。戦争経験、基地の現実から、たたかう沖縄に学ばされた。名護市長選で「新基

の強化を。全労済との統合によるマイカー共済の掛け金引き上げは、組合員にとって不利。組織討議も不十分だ。新たな政治対策方針における「中道」は抽象的で理解できない。

臨時非常勤の処遇改善で総務省通知は一定の前進ではあるが、継続雇用については不十分、引き続き本部の取り組み強化を。

兵庫からは、反戦闘争について本部が具体的なたたかひの提起と発言を行った(別掲)。

本部大会の方針決定を受けるが、最大の課題である雇用問題は、改善がみられない。

常勤的業務に臨時非常勤職員が働いている事実を放置し、新たな雇用問題をつくることにならないか。正規への任用を見据えた任用期間の制限撤廃を基本とした地公法の改正に向け取り組み強化を。

今年から独自暮しになった義母が認知症検査を受けた。かかりつけ医から「施設も考えた方がいい」と、説明を受け大学病院

確定方針に議論集中 第87回 本部大会 57人が発言、議案は可決

自治労第87回定期大会は、8月28、29日大分県別府市で開催された。議論は、「給与制度の総合的見直し」に対する取り組みや「新たな政治対応方針」などを中心に進められ、2日間で57本の発言があった。活発な討論の後、本部提案の4議案は賛成多数で可決された。

主な発言を記載する。「給与制度の総合的見直し」については、地方においては、給与水準の引き下げだけであり見直しの必要はないとの理論武装や、単組の力量による差が出ないよう中央段階での取り組み

本部大会の方針決定を受けるが、最大の課題である雇用問題は、改善がみられない。

今年から独自暮しになった義母が認知症検査を受けた。かかりつけ医から「施設も考えた方がいい」と、説明を受け大学病院

今年から独自暮しになった義母が認知症検査を受けた。かかりつけ医から「施設も考えた方がいい」と、説明を受け大学病院

いまいち屋
24時間開きますか。

地球人

9月26日
県本部大会

重点課題を尾西書記長に聞く

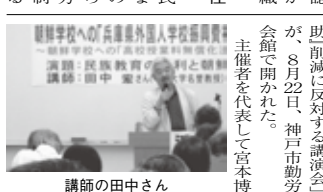
組合員がいなくてもできない

足元を固めることが大切

県本部の重点課題として3つあげています。1つは、「職場組合員を起点」とした組合運動の再構築です。人員確保と労働環境の改善を組合員と一緒に取り組みたいという基礎的活動



取っています。自信を持ってたたかいます。労働基本権の回復です。4月に週及させることで、政府の意向は、週6も値切るかもしれませんが、給与制度の見直しは、地方公務員賃金の引き下げを狙ったもので、15年4月から2%引き下げるなんて認められませんが、自治労の組織力で廃止を求めます。地域医療のあり方や子ども子育て支援新制度など、安心で信頼できる



講師の田中さん

社会保険制度の確立に向け取り組まず。
政治闘争
尾西 私たちの生活と政治は切り離せません。政治闘争の必要性を丁寧働きかや自衛隊のオフレイ配備

必要であればなりません。特に安倍首相は平和問題で憲法理念に逆行する政策を推し進めます。沖縄、辺野古への新基地建設強行を止めさせたいと述べた。

などとは到底認められません。来年の統一自治体選挙は、自公政治への意思を示す場でもあります。組織内、推せん議員の当選をめざして取り組みます。

教育の権利と朝鮮学校」を題して行った田中さんは、自らの運動経験を語り、朝鮮学校が長年の運動の中で教育を受ける権利を獲得してきた歴史を話し、現在進められている朝鮮学校への措置は差別であり認められないと厳しく指摘した。

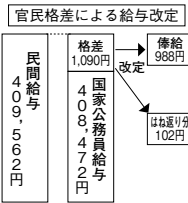
ことから、洲本南あわじ市職労阪神淡路ロックが要求書を提出し、労使協議を求めたが、当局は不誠実な対応に終始し、応じていない。この状況を打開するため、2単組とロックは、8月20日に兵庫県労働委員会に、団体交渉の実施を求めるあわせん申請を行った。現業労働者の「団体交渉権(労働協約権)」を蔑ろにする当局の対応を正す取り組みをさらに進めている。

14人勧と課題

人事院は本年の「給与改定に関する勧告」と「給与制度の総合的見直し」に関する勧告報告を行った。

給与改定 勧告

本年の給与改定に関する勧告



ともに組合員の期待を添う当然の結果であるが、育児休業者や非常勤職員に支給されない通勤手当に全てを配分したことは、社会的要請に配慮した点をお課題を残すこととなった。

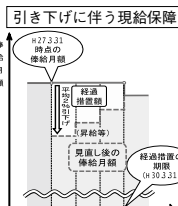
「総合的見直し」勧告報告
恣意的に生み出した格差を用

平均2%の「見直し」阻止

賃金、一時金、通勤手当の引き上げを

ば、官民格差の大部分を俸給表への配分とした結果は、生活維持のためのぎりぎりの到達点であるとの判断せざるを得ない。

金水準の確保、さらに期限付きではあるが現給保障の措置、(一)を上回る(二)水準引き下げの阻止、加えて寒冷手当などの基準維持と経過措置の獲得など当初案が一部押し戻すことができた。これは、人事院総



「見直し」行わずな 県人委員会に「総合的給与見直しは行わないこと」など5点を申し入れた。

神戸は「注視」に止める
神戸市人事委員会は9月10日、月例給与一時金とも引き上げるよう勧告した。月例給与は1014円(0.25%)、一時金0.15%で、20%と同様7年ぶりの引き上げ勧告となった。通勤手当も使用距離の区分に応じて引き上げるよう言及し、給与制度の総合的見直しは、国や他の政令指定都市の状況を注視していくとの内容に止めた。

公務員賠償責任保険制度
地方公務員の訴訟リスクは、ますます高まっています。
タイプS 7,440円, タイプA 6,240円, タイプB 5,040円, タイプC 3,840円

2013年度制度改定のお知らせ
加入対象者は自治労兵庫県連合組合かつ地方公務員団体または特定地方独立行政法人(公務員型)に所属する職員(特別職、教員、警察官職)となります。

自治ひろこ

1439号

2014. 10. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail: jhyogo@pchiro-hyogo.jp

当面の日程

- 4～5日 公契約条例セミナーinあまがさき
- 5日 防災訓練へのオスプレイ参加の中止を求める関西集会(和歌山)
- 11日 第5回自治研活動推進・財政分析講座 (共済会館)



但馬牛をめざして熱戦をくり広げた



60周年記念 ボウリング大会

県本部60周年事業の一環として、県内5カ所でボウリング大会を実施した。

団体優勝は香美B 賞品は抽選で豊岡Aが獲得

但丹ブロック

但丹ブロックは9月10日に豊岡市内のアーバンボウリングで開催し、11単組44人が親睦と交流を深めた。試合結果について、団体戦は香美町Bチームが優勝し、賞品を手にした。

芝さん個人・女子で優勝

2会場で延べ60人が楽しむ 播磨ブロック

播磨ブロックボウリング大会は9月16日に相生スカイライン、17日にランドウォン加古川で実施した。2会場合計で60人が参加した。各会場で団体戦個人戦、女子の部を実施し団体戦では佐用町職・小林永井国広(肥前)チームと小野市職(肥前)田岡上興芝チームがそれぞれ優勝した。



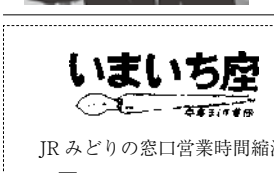
加古川の参加者

個人戦では、太子町職・石原貴史さん(2チームトータル336)、小野市職・末季李さん(366)、女子の部では佐用町職上谷麻由未さん(302)が優勝。個人戦優勝の芝さんが賞品を贈られた。

猪名川町職と淡路②が優勝 打ち上げも盛り上がる

阪淡ブロック

阪神淡路ブロックでは、9月5日に宝塚市で阪神地区大会、12日に南あわじ市で淡路地区大会を開催した。阪神地区8チーム、淡路地区7チームがエントリーした。両地区大会とも休日の開催だったため、優勝し



淡路②のメンバー

4項目の指標の前進を 現業・公企闘争

県本部は9月26日の定期大会において、2014年現業・公企闘争を産別闘争として取り組むことを確認した。24日には全国統一行動(1時間ストライキ)を配置し、要求実現をめざす。また、14日には県本部決起集会を兵庫県民会館において開催し、闘争勝利に向けた意思統一をはかる。各単組は要求書提出、交渉実施、書面協定締結との闘争サイクルの確立に向け取り組みを進めよう。

おいては、現業・公企闘争の迅速な柔軟な対応が、災害復旧と復興に大きな役割を果たしてきている。多様な市民ニーズに対応し、公共サービスの充実に向けて、現業・公企闘争の重要性は増している。退職者不補充、新規採用凍結といった厳しい状況の中、全国では15人の現業の正規職員採用

新規採用勝ち取る

10月24日 スト配置、全国行動

取り組み指標

- 1 現業・公企職場の直営を堅持し、公共サービスの拡充・質の向上に向けて人員と予算を確保する。
- 2 総務省通知や県の技術的な助言による国公行(二)の導入という現業差別賃金の復活・強化に反対する。
- 3 地域公共サービス労働者の組織化、臨時・非常勤職員等の組織化により全体の労働条件の底上げをはかる。
- 4 公共サービスの質を維持・向上させるために住民との共同運動を進める。

「政治を変えよう」 危険な安倍政権の動向を学ぶ

平和友好祭兵庫県実行委員会は9月6日、養父市内で第57回祭典を開いた。40人の青年女性に参加し、安倍政権下の政治情勢と原発、有罪法制問題などを考え合った。また、今年を「30年を迎える年」として、改めてリレー運動の意義を問う分科会も設定された。



分科会の発表を行う

将弘さん「Eースト透明」が、「安倍政権下の情勢」と題して行った。狩野さんは、集団的自衛権の問題や憲法における立憲主義を映像を交えてわかりやすく説明。「おかしなことをおかし」という意味があった。「さげんやう、さげんやう」の言葉になぜか今日も1日頑張ろうと意欲がわいてくる。これが毎朝聞けないとなると、ちよつと寂しいものがある。▼子どもの頃、何気なく「マンガでジブリの一本毛のアン」を見ていたのを思い出した。懐かしくDVDのBOXまで大人買いしてしまった。このアンは波乱万丈だったが、いつも「アンは、曲がり角をまわった先には何があるかわからない。でもさつと一番いいものに選んで、アン」のうたをうたう。この本は、つなぐ言葉だ。この本は勝者であるモンゴメリも曲がり角があるから人は成長する。私たちがモンゴメリの言葉を信じ、これからも頑張ろうと再認識した。

いまいち座

JRみどりの窓口営業時間縮減

10月21日(火) ひょうご共済会館

講師は高作正博さん(関西大学法政学部教授)。積極的な参加を。

ダブルバインド

集団的自衛権テーマに学習

国際反戦デーである10月21日から、館後6時30分共済会館が催される。

10月21日(火) ひょうご共済会館

講師は高作正博さん(関西大学法政学部教授)。積極的な参加を。

講演は明石で市民と一緒

に平和運動を取り組む

しこう

NHKの朝ドラ「花子とアン」が終ってしまっ。毎朝「さげんやう、さげんやう」と三輪明宏さんの語り。みなさん味があった。「さげんやう、さげんやう」の言葉になぜか今日も1日頑張ろうと意欲がわいてくる。これが毎朝聞けないとなると、ちよつと寂しいものがある。▼子どもの頃、何気なく「マンガでジブリの一本毛のアン」を見ていたのを思い出した。懐かしくDVDのBOXまで大人買いしてしまった。このアンは波乱万丈だったが、いつも「アンは、曲がり角をまわった先には何があるかわからない。でもさつと一番いいものに選んで、アン」のうたをうたう。この本は、つなぐ言葉だ。この本は勝者であるモンゴメリも曲がり角があるから人は成長する。私たちがモンゴメリの言葉を信じ、これからも頑張ろうと再認識した。

現状への不満や不安

変えるため一致団結



9月20日、青年部はひょうご共済会館で第18回定期総会を開催し、新副部長に岩田真幸さん（神戸交通労組）、岡野真聡さん（洲本市職労）、北村望さん（播磨町職）、新書記長に安井智士さん（香美町職）を選出した。

30単組47人が参加、冒頭藤原敏也青年部長がこの総会を次の1年、一緒に頑張るんだという意思統一がはかれる場とした」と述べた。

愛知県本部青年部の熊崎貴祥書記長を招き、講演をいただいた。「組織強化に鉄板、魔法はない。様々な方法を駆使しながら粘り強く取り組もう」と提起した。

現状を多く取得できないなど現状に対する不安、不満が数多く出された。

「水循環基本法制定後の活用」と題して、組織強化の活用と課題」の記念講演と2日目の「危機管理指針の活用」の公企政策の実現させる学習会では、本部分会評の黒川副議長が、〇

は、9月6〜7日に加西市

いこいの村はりまにおいて、第31回自治体に働く障害労働者のついで（障害評総会）を開催した。

温井昭彦事務局長の開会あいさつの後、尾西亮太郎書記長からは、「障害者の採用後の条件整備や相談できる場所が少ないことが問題」と三田市の事例を交えながら県本部を代表してあいさつを受けた。

総会では、14年度の活動報告、15年度活動方針、15年度役員体制を確認し、兵庫地方自治研究センター事務局長市春信弥さんを講師に招き学習会を行った。

2日目は、参加単組の状況や課題などを確認、議論し交流を深めた。

各評議会の総会報告

① 青年部総会

務員連絡会と十分な交渉、協議を行うこと、「給与制度の総合的見直し」に関する報告報告の実施を見送ることを求めている。また、「総合的見直し」に対する取り組みの基本的な考え方は、①

甘中堂一議長は「最近のグリコ豪雨では、県下の公企職場でも大きな被害が出た。日頃からライフラインを守るために危機管理体制の充実を、現業公企闘争で

9月20日、女性部は第18回定期総会をひょうご共済会館で開催し、新副部長に川上久美さん、豊岡市職労、書記長に前垣志穂さん（八鹿病院職組）を選出した。

29単組54人が参加、来月には1女性会議加納花枝

代表、本部長松澤洋子女性部長、県本部森藤守資議長が

今年度の総会では、思いを話し合える機会に分散会を設定。「社会人採用の人が公務員は恵まれている、女性には休暇制度が多く恵まれている」と話していた。

神戸市は、第1試合に若手県本部吉市職労と対戦し、エース津田の力投により6対0で勝利した。2回戦では、出雲市職労と対戦し、投手のなか、好機をいかせず1対3で敗れた。試合には神戸市役各支部から応援団がかけつけ大きな声援を送った。

14人勧と課題

「14人事院勧告 給与制度総合的見直し」への取り組み

今後は、政府による勧告の取り扱いが焦点となる。したがって、政府に対しては、まずは本年の官民格差に基づく給与引き上げを確実に実施することを求め、その上で「給与制度の総合的見直し」は、地方公務員の賃金引き下げにとどまらず、地域中小労働者と地域経済に大きな打撃を与える、景気回復に逆行するものであることを認識させる必要がある。政府は公務員の使用者として、自治労、公

務員連絡会と十分な交渉、協議を行うこと、「給与制度の総合的見直し」に関する報告報告の実施を見送ることを求めている。また、「総合的見直し」に対する取り組みの基本的な考え方は、①

「総合的見直し」に対する取り組みの基本的な考え方は、①

て、現業公企統一闘争と合わせて、10月23日を県本部要求書提出基準日として、「総合的見直し」を実施しない労働使合意を求める。また、確定闘争学習会資料を作成し、全単組オルグを確定闘争前段に実施し、ヤマ場に

29単組54人が参加、来月には1女性会議加納花枝

代表、本部長松澤洋子女性部長、県本部森藤守資議長が

今年度の総会では、思いを話し合える機会に分散会を設定。「社会人採用の人が公務員は恵まれている、女性には休暇制度が多く恵まれている」と話していた。

神戸市は、第1試合に若手県本部吉市職労と対戦し、エース津田の力投により6対0で勝利した。2回戦では、出雲市職労と対戦し、投手のなか、好機をいかせず1対3で敗れた。試合には神戸市役各支部から応援団がかけつけ大きな声援を送った。

「見直し」は実施させない

全単組オルグで意思統一

地方公務員給与について、15年4月からの公民比較に基づかない引き下げは実施させないことを基本とし②「総合的見直し」に関わる課題について、確定期日開催の自治労本部1回拡大闘争委員会が決定されるが、先行して「総合的見直し」に関し

ことは間違いないことから、第65回県本部大会で当面の闘争方針で提起のとおり、具体的な取り組み方針については、9月30日開催の自治労本部1回拡大闘争委員会が決定されるが、先行して「総合的見直し」に関し

政府、自民党による地方公務員へのさまざまな圧力に対し、組織の総力をあげて抗していかなければならない。今こそ、組織の結束力が問われている。そのため、組合活動の基本である

「自らの賃金労働条件は、労使交渉によって決定する」という原則を徹底し、産別統「闘争の再構築に向け、単組県本部本部が一体となった取り組みを全力で展開していく。

平成24年4月	平成27年4月	平成28年4月	平成29年4月	平成30年4月
世代別配分の見直し				
地域別配分の見直し				
		支給割合を段階的に引き上げ		
		引下げに伴う経費増減		
		支給割合は平成30年4月1日に確定		
		※90歳未満の10%増給		
		※支給額見直しも10%増給		

放置は認められない
「のりこえねっと」を結成

「朝鮮人を殺せ」などと街頭で叫ぶヘイトスピーチ。その放置は認められないと政府は国連から勧告を受けている。ヘイトデモは年間360件という凄まじい状況。こうした現実に対抗するため、「のりこえねっと」が結成された。自治労も「のりこえねっと」と協力して、差別を許さない取り組みを強める。

公式サイト
http://www.norikoenet.org/
Twitter
https://twitter.com/norikoenet

全国大会初勝利
神戸市役が健闘

自治労野球大会
第28回全日本自治体職員等野球選手権全国優勝大会が9月4〜7日にかけて、北海道札幌市江別市で開催され、兵庫からは神戸市従業員労働組合チームが2回目の出場を果たした。

神戸市役は、第1試合に若手県本部吉市職労と対戦し、エース津田の力投により6対0で勝利した。2回戦では、出雲市職労と対戦し、投手のなか、好機をいかせず1対3で敗れた。試合には神戸市役各支部から応援団がかけつけ大きな声援を送った。

権利取得のとりくみ
伝えることが課題

女性部総会

代表、本部長松澤洋子女性部長、県本部森藤守資議長が

今年度の総会では、思いを話し合える機会に分散会を設定。「社会人採用の人が公務員は恵まれている、女性には休暇制度が多く恵まれている」と話していた。

状況や課題を確認
議論し交流深める

障害評総会

いこいの村はりまにおいて、第31回自治体に働く障害労働者のついで（障害評総会）を開催した。

温井昭彦事務局長の開会あいさつの後、尾西亮太郎書記長からは、「障害者の採用後の条件整備や相談できる場所が少ないことが問題」と三田市の事例を交えながら県本部を代表してあいさつを受けた。

総会では、14年度の活動報告、15年度活動方針、15年度役員体制を確認し、兵庫地方自治研究センター事務局長市春信弥さんを講師に招き学習会を行った。

2日目は、参加単組の状況や課題などを確認、議論し交流を深めた。

ZENROSAI NEWS 1158057

いざというとき、大丈夫ですか？

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

自然災害共済 毎月加入できます！

大型タイプ

風水害などのケース
最高保障額 4,200万円
東風・台風・豪雨・洪水・地震・火災・盗難など

地震などのケース
最高保障額 1,800万円
地震・火災・盗難など

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生活と共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と命と財産を守る事を第一としています。お支払いをお支払いいただける組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

※自然災害共済は、火災共済に付帯しての契約となります。自然災害共済のみには加入することはできません。

※最高加入限度額：住宅40001～100000円、20001円以下の場合の保障内容

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。ご不明な点がございましたら、まずは組合員にお問い合わせください。

自治ひょうこ

1440号

第65回定期大会 特集号

2014. 10. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 E-mail: jhyogo@jchiro-hyogo.jp



賛成多数で提出議案は全て採択された

「給与制度見直し」阻止

確定闘争の方針確認

「直営堅持」現・公闘争の意思統一も

第65回県本部大会

県本部は9月26日、第65回定期大会を舞子ビラで開催した。大会では、活発な議論が行われ、「2015運動方針」や賃金確定闘争と現業・公企統一闘争に向けた「当面の闘争方針」「規約等の一部改正(離席専従役員の見直し)」など4議案が賛成多数で採択された。最後に「給与制度の総合的見直し」阻止や来年4月の統一自治体選挙勝利に向けた大会宣言を採択した。

大会は、議長に白髭徹朝(来市職労)、小坂安弘(栄栗市職労)の両代議員を選出した。森陸守委員長が執行部を代表してあいさつした。その後、近畿地連の古川友則議長、連合兵庫の辻芳治会長をはじめ行政機関、各級議員、組織内首長、福祉団体など

多くの来ひんからあいさつを受けた。報告の部では、丹波市職労から集中豪雨災害復旧に対する県本部ボランティア

へのお礼、臨時職員への取組など3人から発言があり、その後、一般経過報告、2014年度会計決算

報告、同会計監査報告は承認された。



方針討論では、「給与制度の総合的見直し」闘争に関する意見、三田市図書館指定管理反対、高砂市職の不当処分撤回闘争、マイナンバー法に対する課題、加西市公契約条例制定に向けた協力要請、県職労賃金カット復元の取組、組織内上野県会議員再選支援、臨時職員の取組、社会

あいさつする西村加西市長と自治労表彰のお礼を述べた。全国一般の徳山県本部執行委員

しこう

統計的に長寿に影響を与えていたのは、食や運動でなく高齢者の就業率が高いからだ。自由に使えるお金を得て、孫に小遣いをあげたり自分の楽しみに活用できる。これは「生きがい」につながる。健康長寿を実現するうえで欠かすことができないものだ。また、米国の研究でボランティア活動が約40%も高血圧リスクを低減する結果が出た。誰かのために何かしていることが、ストレスが緩和され、血圧が上がりにくいらしい。健康で長生きするためには、心を健康に人と人とのつながりを大切にすることが大切だ。そして人や自分を幸福にすることはそう難しいことではない。自分を幸福にするホルモン、セロトニンや「星がきれい」「おいはい」とか小さなことで感動するのがいそう。今日は家族や自分を幸せにするため早めに帰宅しよう。今日は早いね。どうしたの」といわれる覚悟で。

経過報告で3人が発言

交流が大きな力

1回が2回に、調理師は月8900円の給与改善ができた。この成果は、他単組との交流、比較が大きな力。非正規は倍増。今後は組織拡大、雇用止廃止、賃上げ、有休繰越、退職金を取り組みたい。「非正規の改善なくして、正規の改善なし」。未組織の組織化を。▼(答弁) 臨時職員の組織化の取組を強化したい。



170人の非正規、劣悪な賃金や権利、12人で臨時職評を結成。以降毎年秋に要求提出し交渉。解決できないときは執行部で取り組んだ。急引や病休の新設、雇用止期間を短縮させた。しかし賃金は「正規も下がり続け、10円で引き上げることができない」との当局に対し、粘り強く取り組み、時給60円改善、社会保険の継続(途切れてしまうも解決)、昇給年



8月16日からの局地的豪雨により、死者1、

支援に励まれた

丹波市職労 山本代議員

負傷者4、家屋損壊2540棟、林地崩壊116、道路崩落79、河川崩落26、電気水道等のライフラインも寸断など甚大な被害を受けた。

8月23、24日、のべ160人の自治労ボランティア、また、行政支援にも各自自治体から数多くかけつけていただいた。自治労の支援に励まれた。被災地ではまだまだ混乱が続いているが、組合員一丸となり復興に向けて歩みを進めている。今後も引き続きご支援、ご協力を。また、美しい紅葉を見に丹波へ来てほしい。▼組合員の健康対策の強化とボランティア受入れを担っ

委託の弊害をただす

加古川市職労 竹下代議員



13年前の突然の「行革緊急行動計画」の公表。保育所の民間移譲、学校給食の民間委託がねらわれた。特に、学校給食は毎年1校以上実施されている。

13年前には、3万7000人の反対署名を集めたが、民間委託中止を求めた議会請願も不採択。くやしい思い。それ以降は十分な取組みができなかった。あきらめてはいけないと考え直し、4年前から当該地域全戸ビラと校門前ビラ

を実施している。来年の委託予定に対して7.8月とビラ配布、第3波として10月に全戸ビラを予定している。民間委託によって、官製ワーキングプア、偽装請負が生じている。委託の弊害をただすことができるのは、給食を熟知している私たちではない。引き続き取組む。▼学校給食委託阻止へとも頑張ろう。

いまいち度
「頭を使って回せて」

大 植 賢
(豊岡市職労)

強化へ全力あげよう

生活改善、政治闘争の強化を



森岡守委員長

定期大会の開催にあたり、執行部を代表して、あいさつを申し上げます。

冒頭、丹波市での豪雨災害に對してお見舞いを申しあげるとともに、組合員のボランティア活動に感謝した。自治労の多くの組合員は自治体職員であり、災害が発生すれば住民の安心安全を優先しなければならぬ。しかし、行革で職場は厳しい人員体制となっている。本来、自治体が責任を持って住民の暮らしを守る体制整備が必要である。人員確保、地方自治を確立していかなばならない。

今年的人事院勧告は、春闘結果を受け7年ぶりに給与引き上げ勧告を行なった。一方で給与制度の総合的見直しが行われようとしている。政府と自民党の圧力に人事院が屈したものである。特に地域水準の見直しは、私たち地公にとっては直接資金削減となるもの。2%の引き下げには断固反対で、取り組みの強化をお願いしたい。

また、安倍政権の発足で政治が反動的になっていく。集団的自衛権行使容認の解釈改憲では、国民が議論に参加できない。閣議で決定され、非民主的なやり方である。兵庫においても競争をさせない1000人委員会一取り組みに積極的に参加していきたい。

今臨時国会では、労働者派遣法の改悪や、ホワイトカラーイグゼンション導入が議論されている。最後に、組織強化、拡大の課題について申しあげたい。労働基本権回復に向け、組合員の団結で、しっかりと要求交渉を結ぶ(協約締結)の交渉サイクルを確立し、当面する現業、公企統、闘争や確定闘争を、自治労に結集してともに頑張っていく。

加西市職も全力でサポートする予定である。その際には県本部をはじめ、各支部に協力をお願いする。▼公契約条例、やっと動き出した状況。県下に広げていきたい。市長があいさつをされた。しっかりと頑張っていきたい。

規定改正については、有利な方の適用をするように見えてならない。もう少し丁寧な説明を求めたい。▼マイナンバーは早急に検討して対応していきたい。休職と離職の違いは在職か退職か。休職専従は在職か退職か。出身単組に基づいて。離職専従は職場を退職し戻らないので県本部専従者(神戸市に準ずる)に合意したい。神戸市の組合員水準のレベルである。

規定改正の説明求める
南あわじ市 金山代議員
規正案では、離職専従者の賃金が上がるのではないか。県本部は借入金の返済もしている状況。どうしてこの時期に規正をするのか。今回の規正によって、何人の賃金がどう変わるのか具体的に教えてほしい。▼対象は3人。賃金を上げたいという提案ではない。離職者の賃金水準をそろえようというものである。

14人が発言し方針を豊富化

改善分の実施を

伊丹 浜野代議員
市職労



俸給表2%引き下げは、生活給に影響を与えるので実施させない取り組みを進めてもらいたい。が、地域手当については、全国一律で自治体サービスを行っているのに近隣地域で違う現状がある。県下同じ水準で目標を立て取り組みを進めるべきではないか。単身赴任手当、管理職特別勤務手当は国に遅れることなく実施を求めるべきではないか。

「人事評価制度」について、4原則は非常に重要だと思ふ。2要件は制度構築までは、必要かと思ふが、実施後は、地公法改正が行われている見大口で、専

責任を果たせ」と訴えた。抗議FAXの集中はうれしかった。交渉の結果、1年雇用の期限は取り除き、市職を選ばない者も本人希望で1年後雇用の確保はできた。19人の雇用の確保は1歩前進した。残った年休は7月から繰り越して使える。あきらめず、いい続けること。成果だと学んだ。これからは臨職となった仲間とともに、雇用不安と労働条件改善めざして取り組む。▼雇用を切り取られたのを継続させた。直営、継続雇用でたかかった行動、交渉の成果。しっかりと支援していきたい。

不当処分撤回せよ
高砂市職 石野代議員
高砂市職は、当局からマイナンバーの取り組みを

る。連合も労働法制改悪阻止の取り組みを開始した。私たちの命を守る労働者保護の改悪を許さない。取り組みを強化しなればならない。これからの政治闘争が重要になってくる。来年の統一自治体選挙では、私たちの代弁者を政治の場に送り出そう。

た。組合は不当処分は認服できないので撤回の申し入れを行い、公平委には「不利益処分に関する不服申し立て」を行った。その後、県本部ブロック、市職の三者で処分撤回闘争に取り組み、抗議FAX、公平委闘争、決起集会に取り組み、結果的には今年2月に県本部と市長の交渉で、市長から「労使合意に到らず、ストになったことはじくじたる思いで反省している」と謝罪を受け、労使正常化を確認することができた。公平委では、書面による審理を進めたいが、10月9日に第1回口頭審理が行われた。市職ブロックで傍聴行動をかねて、不当処分撤回の取り組みを進める。今後も支援を。▼当局の不当処分の法的根拠がなくなってきた。県本部もブロックとともに、勝利に向け支援していきたい。

加西市職 藤原代議員
官製ワーキングプアをなくし、働く者が安心して生活ができるよう2年前から公契約条例の制定に向け取り組んでいる。連絡会議をつくり、結成集会を開催。13年1月に3686筆の署名を市長に提出した。市もこれを受けて検討委員会を立ち上げ、来年3月議会に公契約条例の上限に向けて着実に動きはじめられている。公契約条例は、3本が制定されているが、1つの自治体だけでは効果は薄い。県下全体、全国で制定されなければ十分とはいえない。県本部と連携を

給与制度見直しをめぐっては、総務省が「検討会」の中間とりまとめを公表し、制度は国、水準は地域へと圧力をかけている。県本部、自治労全体の取り組み強化を要請する。▼確定闘争はまずは賃上げを確実に実施させ、総合的見直しは切り離して交渉する。総務省の圧力は問題。本部と連携して取り組む。

各評議会の総会報告②
臨評は9月23日、ひょうご共済会館で第20回定期総会を開催し、29組組62人の参加があった。

来ひんのあいはら参院議員(写真)は「兵庫の臨職評の運動を目標にしているところは多い。厳しい状況だが国会でも非正規問題は議論にもなっている。今後の処遇改善にも頑張ろう」とあいさつした。

組織

手前には、其の自治力も乏し、現況の中で、苦情の関与は厳しい。制度設計の中で、つちとちと当局に公平性をもった制度を確立させるのであれば必要ではないと思う。

「1年間のたたいで、一戸建てで職員の一時金を改善」「淡路で老人ホーム民営化に伴い、移譲先の民間業者への採用に向け取り組んだ」「加東で障害者雇用の嘱託職員の雇用止め攻撃。障勞評の応援ももらって継続させた」「朝来では産前休暇が一部有給、忌引き休暇を正規と同日数に改善」などの取り組みや成果が報告された。これからも力をあわせて取り組んでいくので支援を。▼臨職評の取り組みに敬意を表す。非正規の処遇改善

総会で総務省通知を学習

明船 前田代議員



臨職評 長の立場で発言する。大会に先立ち開催した総会では、「総務省通知」について学習し、事前に幹事が学習し、法律に基づいて各種休暇と休業を適切に整備すること、再度の任用であっても空自期間は必要ないことなどを説明。また総務省が勧める任期付職員制度は雇用不安があることから導入に反対し

ていくことを確認した。この1年間のたたいで「晋屋で嘱託・臨時職員の一時金を改善」「淡路で老人ホーム民営化に伴い、移譲先の民間業者への採用に向け取り組んだ」「加東で障害者雇用の嘱託職員の雇用止め攻撃。障勞評の応援ももらって継続させた」「朝来では産前休暇が一部有給、忌引き休暇を正規と同日数に改善」などの取り組みや成果が報告された。これからも力をあわせて取り組んでいくので支援を。▼臨職評の取り組みに敬意を表す。非正規の処遇改善

善は、正規も一緒に頑張って。取り組まなければならぬ。その意味で県本部も精いっぱい取り組む。分会から組織強化はかる 社会保険 庁解体に伴い、健康保険協会のできて6年、ねんきん機構ができて5年になる。分会活動の立て直し課題だが、仕事の繁忙、全国異動もあってなかなかうまくいかなかった。いい方法はないかと悩



分会から組織強化はかる 社会保険 庁解体に伴い、健康保険協会のできて6年、ねんきん機構ができて5年になる。分会活動の立て直し課題だが、仕事の繁忙、全国異動もあってなかなかうまくいかなかった。いい方法はないかと悩

「活動が弱い分会へ、支部が向う出張学習会を行った。また「辞めたい」と思っていた人が「戻る」と回答した人が73%を占め、主な理由としては「給料が安い」「人員不足」のため「やりがいが無い」で6割だった。この他にも国の基準を超える夜勤実態や労働組合や権利を認めない管理者の言動、休日の呼び出し、時間外の勉強会なども明らかにあった。今後アンケート報告などを行い、組織化に取り組み。▼県本部も産別建設センターを中心に病院の組織化に一緒に取り組む。

部とともに取り組んでいるが、この度アンケート調査を行ったその報告をする。8月19日に174人に調査票を配布し、55%の職員から回収した。勤続年数は1~5年が最も多く、定着していない実態がわかった。また「辞めたい」と思っていた人が「戻る」と回答した人が73%を占め、主な理由としては「給料が安い」「人員不足」のため「やりがいが無い」で6割だった。この他にも国の基準を超える夜勤実態や労働組合や権利を認めない管理者の言動、休日の呼び出し、時間外の勉強会なども明らかにあった。今後アンケート報告などを行い、組織化に取り組み。▼県本部も産別建設センターを中心に病院の組織化に一緒に取り組む。

再来年以降に施行されるマイナンバー法改訂。全国の市民窓口においてマイナンバーの取り組みを推進する。玉城代議員 市職 労働協会で決定した事項を反故に破壊し、戦争できる国づくりを進める政府に地域から反戦平和のたたかいを強めようとして8月に「標的の村」上映会に取り組んだ。会場満席となる200人が参加した。

昨年11月の神河町長選挙において、組織内の山名宗悟を支援いただき

上野県議の再選へ支援を

神河町職 平岡代議員

9月24日ひょうご共済会館において、23単組79人の参加のもと、現業評議会総会を開催した。主催者を代表して長谷川議長が、「私たち現業職員は、市民から必要とされるサービスの担い手として、安全安心できるサービスを提供を続けられるよう直営堅持を基本とし、新規採用獲得に取り組もう」と述べた。

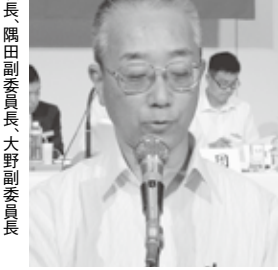
14年度の活動を確認。総括し、15年度の運動方針や役員体制を確認した。総会終了後は神戸副議長が講師となり、「現業労働者の権利と実践の取り組み」をテーマに記念講演を受けた。

直営堅持にこだわろう

現評



左上から時計回りで尾西書記長、西岡書記次長、隅田副委員長、大野副委員長



病院の組織化めざす 市職 大西代議員 六栗 六栗病院は県内の公立病院で唯一労働組合が組織されていない。市職労では、組織化に向け県本

「自治ひょうご」の活字を大きくする「こ」とを大会で確認し、今号から紙面を見直します。今後は県本部ホームページ (http://www.jichihyogo.jp/) に「自治ひょうご」紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

最重要課題は尼交問題

都市交評

都市公共交通評議会は9月22日、県本部において第2回総会を開催した。冒頭、五百旗頭議長より「昨年の統合以降、自治労働運動に積極的に参画し取り組みを進めてきた。県本部の中で公共交通の役割をさらに広げていきたい」とあいさつを述べ、県本部尾西亮太郎書記長が「尼崎交通の問題について、当局の姿勢に対して毅然とたたかっていたいかなければならない。しっかりとサポートしていきたい」と激励のあいさつを行った。

あいほら

臨職評



左下から時計回りで尾西書記長、西岡書記次長、隅田副委員長、大野副委員長



自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

最重要課題は尼交問題

都市交評

都市公共交通評議会は9月22日、県本部において第2回総会を開催した。冒頭、五百旗頭議長より「昨年の統合以降、自治労働運動に積極的に参画し取り組みを進めてきた。県本部の中で公共交通の役割をさらに広げていきたい」とあいさつを述べ、県本部尾西亮太郎書記長が「尼崎交通の問題について、当局の姿勢に対して毅然とたたかっていたいかなければならない。しっかりとサポートしていきたい」と激励のあいさつを行った。

あいほら

臨職評

最重要課題は尼交問題

都市交評

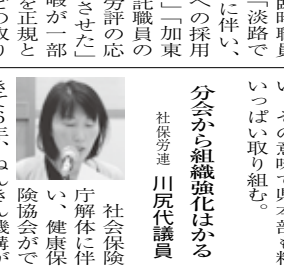
都市公共交通評議会は9月22日、県本部において第2回総会を開催した。冒頭、五百旗頭議長より「昨年の統合以降、自治労働運動に積極的に参画し取り組みを進めてきた。県本部の中で公共交通の役割をさらに広げていきたい」とあいさつを述べ、県本部尾西亮太郎書記長が「尼崎交通の問題について、当局の姿勢に対して毅然とたたかっていたいかなければならない。しっかりとサポートしていきたい」と激励のあいさつを行った。

あいほら

臨職評



左下から時計回りで尾西書記長、西岡書記次長、隅田副委員長、大野副委員長



自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

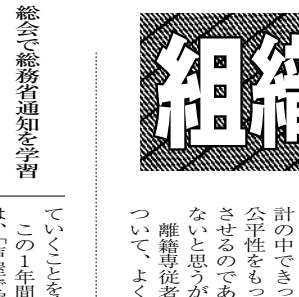
最重要課題は尼交問題

都市交評

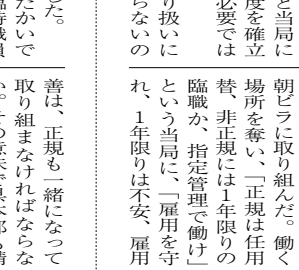
都市公共交通評議会は9月22日、県本部において第2回総会を開催した。冒頭、五百旗頭議長より「昨年の統合以降、自治労働運動に積極的に参画し取り組みを進めてきた。県本部の中で公共交通の役割をさらに広げていきたい」とあいさつを述べ、県本部尾西亮太郎書記長が「尼崎交通の問題について、当局の姿勢に対して毅然とたたかっていたいかなければならない。しっかりとサポートしていきたい」と激励のあいさつを行った。

あいほら

臨職評



左下から時計回りで尾西書記長、西岡書記次長、隅田副委員長、大野副委員長



自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

自治ひょうご紙面リニューアルのお知らせ

最重要課題は尼交問題

都市交評

都市公共交通評議会は9月22日、県本部において第2回総会を開催した。冒頭、五百旗頭議長より「昨年の統合以降、自治労働運動に積極的に参画し取り組みを進めてきた。県本部の中で公共交通の役割をさらに広げていきたい」とあいさつを述べ、県本部尾西亮太郎書記長が「尼崎交通の問題について、当局の姿勢に対して毅然とたたかっていたいかなければならない。しっかりとサポートしていきたい」と激励のあいさつを行った。

あいほら

臨職評



公契約条例の意義を2日間にわたって議論した

公契約条例へ 尼崎でセミナー

「残業代ゼロより過労死ゼロを」「働く者を犠牲にする成長戦略は許さない」「安倍政権の進める労働者保護ルールの改悪阻止の取り組みを強化する集会」

9月25日、全国47都道府県で一斉に開催された。兵庫会場では、連合兵庫の辻芳治会長が、「安倍政権の暴走を許さない。今取り組まないと将来に禍根を遺すこととなる。働く者を犠牲にした成長戦略は断じて許さない」と訴えた。中央会場では、古賀伸明連合会長が、残業代ゼロのホワイトカラーエグゼンプ

ワーキングプアの防止 公正契約に不可欠

全国に広まりかけた公契約条例をさらに広げ、内容の充実をめざす「公契約条例セミナーinあまがさき」が10月4・5日、同市内で開催された。西日本を中心に全国から、自治体職員や議員、労働組合員、研究者など260人が参加した。地元の実行委員会主催によるもので、5年前に全国に先駆けて同条例案を議員提案したものの、否決された

のを教訓に、学者や弁護士、経営者OB、議員らが呼びかけ開催にこぎつけた。1日目は基調提起と分科会、2日目は全国初の条例制定を果たした千葉県野田市の根本市長の講演を中心に進められた。福井大学の吉村教授による基調提起や2日間のまとめ、分科会討議では、官製ワーキングプアの防止と職場事業者や公正契約の確保

の目標を語った。町職連協第43回総会が、神戸・ひょうご共済会館で県内町職単組より13単組40人が参加し開催された。総会冒頭、恒例の町職連協の

のために公契約条例は不可欠。地域の実情により内容は様々になるが、施行時には労使自治を確保する審議会が必要などの討議がされた。

根本市長は、対象拡大や雇用継続の確保策等、毎年のように条例改正している状況を報告し、「国が法制化するべきだがやらないから」が、そのために条例化の広がりが必要とした。また冒頭、歓迎あいさつした尼崎市の稲村市長は、「未制定だが本セミナーの成果をいかす施策研究を開始する」旨を語った。

公民間協 36協定を比較 運動例の学習も

9月20日に神戸ポートタワーホテルで第14回総会を

労働者保護ルールの改悪阻止へ 連合が全国キャンペーン



「残業代ゼロより過労死ゼロを」「働く者を犠牲にする成長戦略は許さない」「安倍政権の進める労働者保護ルールの改悪阻止の取り組みを強化する集会」

9月25日、全国47都道府県で一斉に開催された。兵庫会場では、連合兵庫の辻芳治会長が、「安倍政権の暴走を許さない。今取り組まないと将来に禍根を遺すこととなる。働く者を犠牲にした成長戦略は断じて許さない」と訴えた。中央会場では、古賀伸明連合会長が、残業代ゼロのホワイトカラーエグゼンプ

残業代ゼロより過労死ゼロを

9月25日 全国一斉集会

道と沖繩からスタートした全国キャンペーン。各地からのメッセージを発信中 <http://appealrelay.jp/>

シオンについて「年収1000万円ならいいだろうと考えてはいけない。経団連は当初400万円といっていた。会社は成果のみを求めてくる。その先にあるのは、過労死だ」と地域・職場での積極的な行動を呼びかけた。

各評議会の総会報告

町職連協 確定で統一要求書

町職連協第43回総会が、神戸・ひょうご共済会館で県内町職単組より13単組40人が参加し開催された。総会冒頭、恒例の町職連協の歌をうたい総会を進めた。主催者を代表して野崎直



野崎議長

規町職連協議長より「人勧が勧告された。7年ぶりに月例給一時金を引き上げる内容だが、給与制度の総合の見直しの問題もある。町職単組が結集し取り組みを進めよう」とあいさつ。活動方針は参加者全員の手拍で確認。当面10月24日に開催される町職単組交流集会で再度、確定期に向けての統一要求書を確認し、取り組みを強化していく。

開催した。大野議長は、「自分たちの運動で協議会を盛り上げていこう」と熱く訴えた。総会には、4月に結成した近畿地連評議会から増田議長らも来ひん出席した。第2部では、参加単組の36協定を比較し、国保労組駒田書記長からの36協定をいかした取り組み報告を受けた。昼食交流会の後、ハーパールの「8時間労働発祥の地の碑」を見学し、交流を深めた。

囲碁・将棋大会の参加者募集中

申込期限は11月13日(木)

第34回囲碁・将棋大会を12月6日に行うにあたって、参加者を募集しています。初心者から経験者まで、多くの参加をお待ちしております。

- 【囲碁の部】 本因坊、A・B・C各クラス
- 【将棋の部】 名人位、A・B・C各クラス
- 【申込期限】 11月13日(木)
- ※詳しくは組合事務所まで

団体生命共済ご加入の組合員の皆さん

子どもが生まれました！
すぐ加入！
大切なことだから
お待たせしません

継続募集時期以外でも加入できますヨ

ZENROSAL NEWS
5113M267

親子共済

個人長期生命共済

- 将来の教育資金と「万一のとき」に備える積立型の共済です
- 年に一度、継続募集時期に加入できます
- 新生児の場合は継続募集時期以外でも加入できます
- 月々1口5,000円でお子さま1人につき4口まで加入できます
- お子さまの団体生命共済と一緒にご加入ください

ご不明な点があれば、
まずは組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全国自治体労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保険の形態として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金を必要ないたいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

*ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

自治ひょうこ

1441号

2014. 11. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 1～3日 第51回議大会(岐阜県)
- 4日 近畿地連第61回定期総会(神戸市内)
- 7日 秋季闘争勝利! 青年女性決起集会(県民会館)
- 7日 2014確定闘争勝利! 県本部決起集会(県庁2号館前)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

明石 現業職の採用へ

神戸 差別賃金認めない 直営堅持基本に交渉

現業・公企 統一闘争

現業・公企統一闘争、但馬丹波ブロックでは、公企評を結成、現業公企合同幹事会で統一要求書を確

認、決起集会と3地域別集

会を開催して意思統一をは

かつた。

県労は20日の交渉で、「各部局あり方交渉確認の順守」「事前協議制等の基

本ルール」等は「従来通り」

との回答を引き出し、賃金

課題は「確定交渉での協議

を確認した。

神戸市従では、24日午前

2時の交渉で、当局が「年

内に時間外勤務が発生しな

い勤務体系の確立ができな

い場合、年明けにも給料表

の見直しを提案せざるを得

ない」との考え方を示した。

それに対し市従は、「直営

を堅持すること、絶対的に差

別的な給料表は導入させな

いこと、そのために総務労

時間短縮に向けて効率化で

きることは取り組んでいく

が、残された課題について

は、事業予算闘争に向けて

十分協議すること」を強く



但丹波ブロックの決起集会

申し入れ確認した。

阪淡ブロックでは、交渉

子定17組中、23日に5単

組が交渉、南あわじ市職労

は、現業職員の昇格運用や

特養民営化に伴う職員の処

遇を協議、三田市職労は、

特別支援学校への校務員配

置の協議と、現業・公企職

場の直営堅持を確認した。

播磨ブロックでは、5単

組がスト配置。明石市職労

は、現業職の年次の計画

的な採用再開を確認、高砂

市職は、現業公企職場の人

員体制等を確認し、合意結

果の確認書を締結、加古川

市職労は当局の再回答に基

づき各職場交渉の実施を確

認した。

現業公企 賃金、配置換は労使協議

対県交渉

県本部現業公企闘争委

員会は10月10日、神戸市教

育会館にて市町振興課等と

対県交渉を行なった。市町

振興課交渉では、技能労務

職の賃金決定基準のあり方

を再度確認した。

また、7月4日に総務省

から出された「臨時職員に

対する総務省通知」につい

ては改めて各市町に助言を

行うことを確認した。

県教育委員会関係部課の

交渉では、「臨時非常勤の

職をもつて充てるべき職務

内容以外の職については、

正規職員をもつて充てるべ

き」と民間委託で生じる職員

の配置換えなどはまさに交

渉の対象であること」等

改めて確認を行ってきた。

また、学校の防災体制の

整備・充実にも努めることを

確認した。

公企関係部課の交渉で

は、36協定や苦情処理共同

調整会議等の法令順守を基

本に交渉を進め、労使協議

が基本であることの確認を

行った。

自治労臨職協 雇用上限突破へ全国集会 7.4総務省通知を学習

本部臨職協が主催した「臨

時非常勤等職員の雇用上限

突破!全国集会」が10月19

日、大阪で、全国約400

人の参加のもと開催された。

第1部雇用上限突破!全

国集会では、相原久美子参

議院議員が、「総務省通知が

出たが、これをどう使って

勝ち取るか、運動で勝ち取っ

てほしい」とあいさつした。

基調提起に続く事例報告

では、唐津市小中学校司書

労と昭島市社協労組から有

期雇用撤廃などの運動報告

があった。今回特別報告と

して、ねんきん機構労組か

ら、有期雇用職員の雇用上限

野角事務局長が「7月4日

題についての取り組み報告

もあった。質疑では明保労

の松山執行委員長が保育所

の民間委託から調理員の首

切問題と保育士の実態を訴

えた。

第2部均等待遇と雇用上限

を定める決起集会では、

付の総務省通知が良いス

タート。公共サービスの重

要さを住民に理解してもら

い、仲間を増やし運動をつ

くらう」と訴えた。



全国から大阪に400人が集まった

分科会では「処遇改善

総務省通知」仲間めぐり」

「初めての組合活動」の3つ

に分かれて学習し、運動へ

つなげよう」と確認した。

処分は違法無効 取り消しは当然

高砂公企委口頭審理

スト実施による「警告処

分」で、高砂市職委員長(当

時)が「処分は不服として

申立てた」件について、10

月9日高砂市公平委員会

は、口頭審理を開催した。

昨年9月27日に高砂市か

ら処分が発令されて以降

県本部を交えて不当処分撤

回闘争をたかづけてきた。

これまで書面による審理

が行われてきたが、組合側

は、①処分は憲法およびI

LO条約に違反し、無効で

ある②ストは当局の不誠実

かつ地公法に違反する賃金

決定に対するやむを得ない

自救行為である③ストに対

する処分は過去に前例があ

り裁量権を逸脱している④

処分手続に不備があり無

効である等主張してきた。

口頭審理でも組合側は、

「処分は、違法無効であり

取り消しを免れない」と強

く主張した。裁決は近々に

行われるとみられる。

口頭審理後の報告集会

いまいち屋

隣同士仲良く



大西英剛 (兵庫県職労)

しこう

10月17日、元

県本部委員長代

行の小田不二夫

さんが永眠され

た。小田さんは

播磨ブロック議

長としても92年

から11年の水きにわた

り先頭にたつて活躍されて

きた。「よっしゃ、よっしゃ、

わかった。それでい」播

磨ブロックぐるみのたたか

いには留まらなかった。「地域

の生活を守る」たたかいと

位置付け、03年には、当時

のブロック事務局長の上野

さん(現県議)が大河内

町長選挙に出馬して見事当

選▼その後、播磨プロ

内では、たたかいの中から

誕生する。06年には古谷福

美町長。09年山名神河町長

11年には西村加西市長が勝

りした▼こうした流れをつ

くりあげたのはまさに小田

さんだった。私たちは小田

さんの意思を後世につな

げなければならぬ。ご冥福

をお祈りします。(誠)

“働き方”見つめ直す

役場へのクレーム切り口に



13の分科会で議論を深めた

全国自治研 兵庫から40人が参加

「創ろう、市民自治のゆたかな社会」毎日の仕事、の、ちよつと先。さがしてみよう、わがまちの未来」をテーマに第35回地方自治研究全国集会在、10月17、18日、佐賀市で開催された。全国から自治労組員

や研究者、市民運動家など2000人が参加。兵庫からは40人が参加した。1日目は基調提起や記念講演、パネルディスカッション、2日目は終日、分科会が行われた。記念講演は九州大学の嶋田暁文准教授から「みんなが幸せになる、自治体職員の働き方」の標題で行われ、「この集会在が初心を取り戻し、日常の仕事を見つめ直す場」を旨に締めくくられた。パネルディスカッション

は、ジャーナリストの津田大介さんの他、嶋田准教授やNGO代表、自治体職員4人をパネリストに委嘱。仮設定した市役所へのクレームを切り口に討議を開始した。この討議にはツイッターが利用され、会場全体の参加者の参加が可能。舞台のスクリーンには、同時進行で次々に客席からの意見や感想が写し出された。基調提起は「目標とする働き方の実践が困難な現状で半歩先をめぐらそう」と提起。分科会には「住民と協働でつくる地域社会」など13分科会が開かれた。

阪神・淡路大震災20年の展示会

震災資料を展示しませんか?

主 催 人街ながた震災資料室

問い合わせ TEL078-579-2311

「現退一致」に全力会長に小島元委員長 退職者会総会

全日本自治体退職者会兵庫支部の第39回定期総会が10月21日、尼崎市内のホテルホッピンで開かれた。総会には県本部の森脇委員長、兵庫高退連の藤江会長、尼崎市の稲村市長など来賓11人と、役員代議員、傍聴など70人が参加した。一強他弱の国会状況を背

景に、集団的自衛権行使容認や原発再稼働、社会保障制度の切り捨て、労働法制改悪など暴走を続ける安倍政権に対し、高齢者や国民の生活と平和を守るため、全日本自治体退職者会に結集し、「現退一致」の活動に全力を尽くす方針を満場一致で決定した。

役員改選では、今年6月に急逝された黒田会長の後任に、小島元県本部委員長を選出、新副会長には大槻元県本部委員長が就任した。



淡路で行われた学習会 (10月20日)

引き上げと見直しは切り離し

全単組オルグで意思統一

県本部は秋季闘争の意思統一をはかるため、10月15、22日にかけて全単組オルグ、地域ブロックでの学習会に取り組んだ。現業、公企統一闘争では、「直営堅持」を基本に人員補充などのたたかいを強めるよう呼びかけた。14確定闘争では、人事院が14年の官民較差に基づく俸給表と一時金の引き上げと、15年4月実施の給与制度の総合的見直しを勧告しているが、切り離して交渉する

よう意思統一した。また、安倍政権による憲法や労働法制破壊攻撃に対しては、1000人委員会の賛同団体となること、統一自治体選挙に向けた取り組みを強めることを訴えた。

確定闘争をめぐっては、まだ当局と具体的な協議を行っていないところが多かったが、町職を中心にした「総合的見直し」の「1号抑制実施」をちらつかせるところがあった。「総合的見直しを実施しない」とい

秋季闘争交渉

沖縄は明確に拒否 意思受け止め運動を

国際反戦デー 新基地建設考える



会場を埋め尽した参加者

平和憲法を守る兵庫県連総会(事務局自治労兵庫支部本部は、10、21日国際反戦デー兵庫集會をひょうご共済会館で開催し1000人を超える参加者があった。集會では、関西大学の高

と「取りになる」をよくも悪くも人勧準拠でやってきた」と追られている単組もあり、切り離して交渉でき

るかどうかが14確定の正念場となる。この他には、「人事評価の動向手当への反映が実施されてい」る現実職員が減少し、取り組めないなど、悩みや意見も出された。▼県人勧の情報はHP

正博教授が「沖縄と集団的自衛権」と題し講演を行った。高作教授は、沖縄で推し進められている辺野古新基地建設問題について詳しく述べ、集団的自衛権「行使容認」と運動した動

きとしてとらえる必要性を指摘した。その上で沖縄県民が明確に拒否する新基地建設を私たちがぎっつりと受け止め運動を進めていくことの重要性を強調した。

最後に「沖縄県民とともに新基地建設を拒否し、集団的自衛権容認に反対に全力をあげよう」と集會アピールを採択し、県本部大野義政副委員長の団結ガンパローで閉会した。

いざというとき、大丈夫ですか?

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

自然災害共済

毎月加入できます!

大型タイプ

風水害などのケース	
最高保障額	4,200万円
保障対象	台風・台風・洪水・雪害・火災・津波など

地震などのケース	
最高保障額	1,800万円
保障対象	地震・噴火・津波など

全労済は、実利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いただいたり総会議員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

※自然災害共済は、火災共済に付帯しての契約となります。自然災害共済のみ加入することはできません。

※最高加入限度は敷住宅400㎡・専財200㎡で加入の場合の保障内容

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。ご不明な点がございましたら必ず組合にお問い合わせください。

自治ひろこ

1442号

2014. 11. 15

月2回(1日,15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 15日 人権教育ひょうご青年交流会(ラッセホール)
- 19日 ビース・セミナー「朝日新聞報道と『慰安婦』問題をめぐる現状」(神戸勤労会館)
- 22日 部落解放研究第35回兵庫県集會(新長田ビブレホール)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

2014確定

「給与見直し」平行線

県交渉 労使交渉が原則 再確認

県本部は5日、人事院勧告の取り扱いなど今確定闘争の課題について県市町振興課交渉を行った。県本部は、「給与制度の総合的見直し」については、国家公務員給与配分の問題であることから県として助言しないよう強く求めた。しかし、県は、給与改定と同様に国における取り扱いを基本に対処すべきとの考えに終始した。労使交渉が基本との原則は改めて確認した。



給与制度見直しの取り扱いについて追及する県本部交渉団

県本部は、官民格差に基づく賃金改定は、4月週及適用、年内差額支給もあることから、12月議会条例化が必要であるが、「給与制度見直し」は、地方では給与水準の引き下げに即つながるため12月議会は見送るべきと主張した。

個別課題として、①号給の増設については、4級の増設など各団体の実情を考慮すべき②現給保障については、終期を求めないこと③1号昇給抑制について

は、国の「給与制度見直し」初年度の原資確保であることから給与水準の下がる地

方には求めないこと④「見直し」実施時期は2015年4月にこだわらないことなどで追及した。

しかし、県は、「人事院勧告の取り扱いは一休で行うべき」との総務省の見解に終始した。個別課題についても、号給の増設については理解を示したが、その他は国通りとした。

県本部は生活の維持向上の観点から、独自カット

賃金を得るために新たな命を失う均衡点の意となり、「子どもを産み育てるのは

そんなにも悪いことか？」と女性に感じさせる社会環境にある。環境を変えていけば生まれた命はもつとあったのでは？」と指摘した。

労使交渉の課題に

評価制度導入単組から報告

町職連協交流会

町職連協は確定闘争に向けて町職単組交流会をたつ市で13単組36人が参加し開催した。野崎直規議長は、「今回の集會、2つの課題を設定した。1つは確

定交渉、2つは人事評価制度。町職単組、同じ仲間として団結して取り組んでいこう」と力強いあいさつを行った。

として、太子町職から「12町の中では早い段階で取り組んでいる。評価制度が管理運営事項」になるのが攻防になった。播磨町職からは「組合員アンケート

でも制度に不信感が満載している」との報告があった。引き続き町職単組代表者会議を実施。北川寿一事務

局長が、今回の確定交渉について、「給与制度の見直し」についての対応方針や町職連協要求書を利用し統一交渉日々に全町職単組が結束し、取り組みを強化しよう」と提起した。また、参加単組からは確定交渉への取り組みや人事評価制度の状況、独自課題について報告があり、各単組の状況を共有した。

冒頭、あいさつに立った辻芳治会長は、「どこを向き、誰のための政治なのか」と安倍政権を批判「世界一

成長戦略に反対

連合兵庫は10月30日、神戸市ラッセホールにおいて第28回地方委員会を開催した。会議では、格差是正、労働者保護ルールの改悪阻止などについて方針を補強。また、来年4月の統一自治体選挙について推せん候補の必勝に向けた取り組みを確認した。

産み育てることを悪いと感じさせる社会

働く女性の交流集會 マタハラの実状から考える

「声をあげよう！職場も社会もかえるために」がんばりかたの転換を」を

集會では労働経済ジャーナリストの小林美希さんによる講演が行われた。

講演は「雇用崩壊から社会の在り方を見る」をテーマに、雇用形態や企業の規模、一般企業・公務員を問わず、様々な職場でのマタハラの実態について述べ、WLBは今やワーク・ライフ・バランスではなく、ウェッジ(Wedge)・L・B

の仲間、指定管理導入による雇用確保をたたかった自治労の仲間など集會では官民を超えた交流も行われた。

創成に逆行するような「総合的見直し」は見送りますとのメッセージですが、みんなに甘くないこと。今はわかってはいるが、知事が本気で地方の創成を考えているのなら、国からどういれようが貫いていただきたいものだ。



講演する小林さん

解雇撤回をたたかう民間の仲間、指定管理導入による雇用確保をたたかった自治労の仲間など集會では官民を超えた交流も行われた。

引き上げが勧告され、久しぶりに差額が出そうだ。地方の創成。東京一極集中させないこと。東京に集中した若者を地方に分散させる政策が大切」とあいさつ。これら、都市部と地方の格差をさらに広げ、地方の創成に逆行するような「総合的見直し」は見送りますとのメッセージですが、みんなに甘くないこと。今はわかってはいるが、知事が本気で地方の創成を考えているのなら、国からどういれようが貫いていただきたいものだ。



おやすみ漫

「見直し」阻止を意思統一

播磨、阪淡ブロックで定期総会

臨職実態調査と組織化

人勧引き上げ分の反映を

阪淡ブロック

阪神淡路ブロックは10月27日、三田市において定期総会を開催した。23単組57人が参加し、総括、方針について討議を深め、全単組



あいさつを行う酒井議長

団結して取り組みを進めていくことを確認した。活動方針案に対し以下の意見が述べられたのをはじめ、若尾指導員労組の森口さんからは、「臨時職員の実態調査と組織化の取り組み強化の要望」が出され、尼崎市職労の森さんからは、「団体交渉の結果が非組合員にもおよぶことに対する対策や組合事務所費の問題」が、同じく尼崎市職労の水口さんからは、「狭山裁判支援の具体的取り組みについて要望」が出された。また、川西市職労の山下さんからは、今後の「給与制度の総合的見直し」に対する取り組みについて質問があった。

からは、「人勧で出された一時金の引き上げを、嘱託も勝ち取りたい」という決意が述べられたのをはじめ、若尾指導員労組の森口さんからは、「臨時職員の実態調査と組織化の取り組み強化の要望」が出され、尼崎市職労の森さんからは、「団体交渉の結果が非組合員にもおよぶことに対する対策や組合事務所費の問題」が、同じく尼崎市職労の水口さんからは、「狭山裁判支援の具体的取り組みについて要望」が出された。また、川西市職労の山下さんからは、今後の「給与制度の総合的見直し」に対する取り組みについて質問があった。

組織内議員の紹介

兵庫県会議員(神戸市垂水区)

黒田一美さん



来年の統一自治体選挙の県本部組織内推せん議員を紹介する。黒田一美さんは垂水で生まれ育った。神戸市役所で家庭評価員として働き、地域では解放運動、平和運動に取り組んだ。その中で市民の生活の実情や、地域の様々な課題に接し、行政に

反映したい、県と神戸市のつながりになりたいと思いはじめた。震災の時「家が潰れた、どうすればいいのかが」と多くの相談がありはじめた。「よす相談」は、あれから毎年2月に続けている。県会常任委員の視察で気になった児童相談センターの改築や警署内の死体安置所設置など、県に要望あげて実現された。「財源、権限、責任」を地方に任せたい、「地方主権」を訴えていきたい、と県本部議員連合会長の黒田さんは語った。

www.kurioda-kazumi.jp

黒豆収穫祭に400人



親子での参加も多く、収穫祭は盛り上がった

10月26日、組合員と家族ら400人が参加して、篠山において県本部第8回黒豆収穫祭が行われた。左川忍副委員長は、「今日は1日楽しんでいただき、明日からの仕事や組合活動を頑張っていたらいい」とあいさつした。豆ごはん、枝豆と豚汁を楽しんだ後、抽選会を実施。新米や栗が贈呈された。子ども向けビンゴも行われた。

新事務局長に足立さん

公契約条例など課題持ち寄り

播磨ブロック

播磨ブロック定期総会は、10月31日姫路市勤労市民会館において、37単組97人の参加で開催された。冒頭、宮本誠之議長は、

播磨ブロック第44回定



就任の決意を述べる足立事務局長

「公賃金確定闘争の課題は、給与制度の総合的見直し」の12月議会条例阻止であり、ブロックとして意思統一してたたかおう」とあいさつした。

報告議案の部では、「現業闘争で合理化対策を撤回させたがスト延期で継続してたたかう。アスベスト公

連合兵庫
おもち交換
ビンゴゲーム
各種出店

12月14日(日)
11:30 開場
12:00 開会

神戸ポートアイランド
CATパーク

問い合わせは組合事務所まで

ZENROSAI NEWS 51138057

いざというとき、大丈夫ですか?

風水害から盗難まで保障、地震にも備える

自然災害共済 自然災害共済

大型タイプ

毎月加入できます!

風水害などのケース
最高保障額 4,200万円
地震・台風・暴風・洪水
火災・高圧電線など

地震などのケース
最高保障額 1,800万円
地震・噴火・津波など

全労済は、安楽を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

※自然災害共済は、火災共済に付帯しての契約となります。自然災害共済のみに入会することはできません。
※最高加入限度は敷住宅400㎡・家財200万円
加入の場合の保障内容
ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。ご不明な点がございましたら、まずは組合にお問い合わせください。

自治ひょうこ

1443号

2014. 12. 1

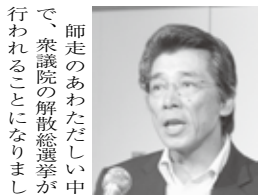
月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 6日 第34回県本部囲碁・将棋大会 (共済会館)
- 13日 第25回連合兵庫もちつきフェア (ポートアイランド)
- 14日 戦争をさせない1000人委員会・ひょうご学習会 (ラッセホール)
- 14日 衆議院選挙投票開票日



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



森委員長 私たちの代表を国会へ

師走のあわただしい中で、衆議院の解散総選挙が行われることになりました。兵庫3区からは、自治労組織内の「よこはた和幸」さんが、再び民主党公認候補として立候補します。マスクミは、今回の解散に大義がないと報道しました。しかし、解散に踏み切った安倍首相の思惑は、選挙で過半数を維持し、原発

再稼働や集団的自衛権の解釈変更などの信任を得たものにしようとするものです。私たちの職場では、給与制度の総合的見直しが行われ、来年4月から平均2%もの賃金削減が行われるとして、景気の回復には労働者の賃上げが

兵庫3区 よこはたさんを推せん



【よこはた和幸さんのプロフィール】
1971年生まれ。民主党兵庫県第3区総支部長。2003年神戸市会議員初当選、3期務める。2012年の第46回衆議院選挙に出馬も惜敗。家族は妻・長男(5歳)、長女(1歳)

11月19日、安倍首相は衆議院を解散。この間進めてきたアベノミクスの信を問うのだという。秘密保護法や、集団的自衛権行使容認など憲法に関わる重要事項の信を問うのではないらしい。きしくも公務員賃金引き下げを強行しようとしている。今こそ、働く者の怒りで鉄槌を下すときだ。

雇用破壊する安倍にNO 憲法改悪、原発再稼働は反対

自治労兵庫県本部は、前回に引き続き、兵庫第3選挙区(垂水・須磨区)の候補者として、よこはた和幸(神戸市従特別執行委員)さんの推せんを決定した。この選挙で、現在の政権

衆議院選挙
口など労働者を使い捨てるような政策にフリーハンドを与えてしまうことになる。首相は雇用が増えたとおそぶく。正規雇用が減少し非正規労働者が増大しているにもかかわらず、「雇用が拡大した」と。前回の自民党の公約である公務員賃金抑制も、いま現場で厳しい交渉を行っている。働く者を大切にする政治を取り戻そう。政治に無

- ### 県本部推せん候補 職場・地域で広げよう
- 第2区 兵庫区・北区・長田区 向山好一
 - 第3区 須磨区・垂水区 よこはた和幸
 - 第6区 川西市・宝塚市・伊丹市 辻泰弘
 - 第7区 西宮市・芦屋市 石井登志郎
 - 第11区 姫路市 松本剛明



タスキが兵庫入り 労働規制緩和はアカン

連合兵庫は労働者派遣法改悪など、労働者保護ルールの改悪に反対し、連合が展開している「全国縦断アピール」を連合徳島からタスキを引き継ぎ、11月7日〜9日に県内を縦断した。神戸では7日に大丸

前で、辻労委会長がマイクを持って訴えた。西播から北阪神の各地域協議会が中心となってタスキをつなぎ、「生涯派遣で低賃金を払拭」「残業代ゼロより、過労死ゼロ」を合言葉に、安倍自民政権が押し進めようとしている改悪に反対し、「働く者の権利を守るための強めよう」とアピール、タスキは連合和歌山へ引き継いだ。

お詫びと訂正

自治ひょうこ1442号(11月15日付)に、連合もちつきフェアを12月14日と案内していましたが、正しくは12月13日(土)です。お詫びし訂正いたします。

しこう

「驚くなよ」「何?」「悲しみなよ」「何?」「おもちゃ屋さん今月で閉店」「えーっ!」大げさに倒れたまま息子は動かない。商店街のおもちゃ屋閉店の寂しいニュースで、原因をいろいろ話し合った。ネット通販、量販店の品揃えに負けたら? いろいろ考えた結果か? いろいろ考えた結果一番は「子どもが減った」小学校は4校統合。見つめ続けるだけで、ミニカーグッズは多売でしか成り立たない。息子が商店街を歩けば、串カツ屋でラムネ菓子を買って、豆腐屋で「赤ちゃんやうど、あげるわ」とヤクルトを受け取る。将来の購買層は厚遇されている。シャッター商店街が多い中、よく通る売り声と、元気なお年寄り、何とかならう。いろんな世代が変わり、それぞれの地域で暮らし続けられないか。働く人を犠牲にしながらの成長戦略はもういらない。



確定闘争第1波

阪淡中心に切り離し

「総合的見直し」が焦点に

確定闘争は、11月14日に神戸市労連は、11日の交渉第1波の県本部統一行動を配置して交渉が行われた。阪神淡路ブロックでは、



第1波交渉日にあわせ、15単組が交渉を設定。芦屋水労が、14年官民較差解消と給与制度の総合的見直しと同時に提案されたが、(提案内容に誤りがあり、白紙撤回)、その他の単組は、総合的見直しは切り離し別途協議、給与改定は実施することを確認した。

但丹ブロック 定期総会 一丸となって確定たたかう



但馬丹波ブロック第44回定期総会が11単組46人の参加により11月11日に養父公民館で開催された。総会冒頭あいさつに立った隅田龍議長は「安倍総理は女性閣僚の不祥事による内閣不信を払拭するため、消費税引き上げ判断の

審判という理由を付け年内解散に出る可能性もあり、政治状況は予断を許さない状況となっている。当面する確定闘争では、給与制度の総合的見直しと格差是正は切り離してたたかいを進めよう」と述べた。

戦後70年を前に 安倍政権の姿勢問う

第51回護憲大会でシンポ

11月1〜3日、岐阜市内で第51回護憲大会が開催された。戦後70年を前に歴史認識を問うシンポジウム



集会後のデモ

などが行われた。シンポジウムで内田雅敏弁護士は、「政府の行為によって国民を戦争の惨禍に巻き込まない」という戦後

んだ。結果、高砂市職や太子町職で給与改定の12月条例化と、総合的見直しについて3月議会までの継続協議を確認した。その他の単組でも第2波を背景に総合的見直し先送り交渉を進めている。但丹ブロックでは、臨時単組代表者会議や総会で意思統一し、第2波に結集して取り組みを進めている。神戸市労連は、14年官民

「慰安婦」の苦しみも人権回復の視点重要 11月10日一スセミナー 憲法ひょうご(事務局、自治労兵庫本部)が主催するピース・セミナーが、11月19日、神戸勤労会館で行われた。朝日新聞報道と「慰安婦」問題をテーマにした方清子さんの講演に学んだ。朝日新聞の吉田証言の取り消しが「慰安婦」問題がなかったこととする論調に

組織内議員の紹介

兵庫県議会議員(神崎郡) 上野 英一さん



「町の将来を町民とともに考える」と03年、市町合併を機に大河内町長に。「住民投票の実施や本庁舎の場所など、住民と議論し、弊害の少ない合併ができた」と政治家になったきっかけを話す。合併後、07年に県議選に出馬。現在二期目。

郡部では空き家を利用した「空き家バンク」に取り組むところも多いが、県内では神河町の契約成立が圧倒的だ。「山名宗悟町長(組織内)と連携し、田舎生活の宣伝、町づくりの提案を行っている」と活動を紹介する。 福崎には柳田國男の生家、市川はゴルフクラブ製造の技術があり、情熱を持った人々がいる。「地域創生という、過大なインフラは求めない。地域資源を生かすと、住民の意思決定が重要なこと」

Advertisement for ZENROSAI NEWS 5113A274. Features a superhero character and lists 4 points: 1. Long-term, no-accident good driver up to 22nd grade - 64% discount. 2. For members only, industry association and 10% group discount to reduce membership burden. 3. Peace of mind spreads! Membership fee also becomes a benefit! Various special discounts and rates. 4. Weekends and nights, 24-hour 365-day安心のサポート体制. Text: なるほど納得! ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。全労済 自治労共済本部

自治ひょうこ

1444号

2014. 12. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 18日 第2回ピース・セミナー (神戸勤労会館)
- 20日 障害者問題を考える兵庫県連絡会議 (障間連) 第34回総会とシンポジウム (あすてっふ神戸)
- 21日 第7回 女性部・臨職評合同学習会 (共済会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp



「何としても勝つぞ」とこぶしをあげる「よこはた」さん

「夢持てる社会へ」

よこはたはたさる訴える

庶民切り捨てる政治に決別を

第47回衆議院選挙

14日投票でたたかわれる第47回衆議院選挙が大詰めを迎えている。県本部は兵庫3区(須磨・垂水)のよこはた和幸さん(組織内候補)の勝利に向け全力をあげている。4日、5日には、須磨と垂水で演説会が行われ、よこはたさんは「働く者や社会的に弱い立場におかれている人が、夢を持てる社会にしたい」と決意を述べた。県本部が推せんする各候補も各地で奮闘している。

選挙区で20の労働組合がよこはたさんを支援している。関係者が埋め尽くす会場によこはたさんが入場すると「頑張れ！頑張れ！」と声援が飛んだ。兵庫3区でよこはたさんの選挙対策委員長を務める

黒田一美県議員が冒頭にあいさつ。医療の後退、競争の道へ進む安倍政権に懸念を示し、「子、孫の世代のために、何としてもよこはたさんを国会に送ろう」と訴えた。政界におけるよこはたさんの師、石井一元参議院議員も激励にかけつけた。「長

【県本部の推せん候補】

- 第2区(兵庫区・北区・長田区) 向山 好一(57歳・元職)
- 第3区(須磨区・垂水区) よこはた和幸(43歳・新人)
- 第6区(川西市・宝塚市・伊丹市) 辻 泰弘(58歳・新人)
- 第7区(西宮市・芦屋市) 石井登志郎(43歳・元職)
- 第11区(姫路市) 松本 剛明(59歳・5期)

職場改善、人員確保を 「総合的見直し」は先送りに

反行革・予算要求闘争

県本部は昨年1月23日に1時間ストライキを配置し、反行革・予算要求闘争を取り組む。6月の人員確保闘争からスタートした一連のたたかいは決着の場と

して、①公共サービスの拡充のため人員と予算の確保、②公共サービスの外部委託反対、③高齢者再任用制度の確立と運用改善、④臨時・非常勤職員等の雇用継続と待

遇改善など職場要求を踏まえたたたかいを進める。今回は特に、賃金確定闘争から継続課題となつている「給与制度の総合的見直し」が、来年度予算の関係

予算要求闘争の日程	
要求書提出基準日	12月15日(月)
第1集中行動期間	12月中
第2次集中期間	1月19~22日
統一行動日	1月23日(金)

から3月議会を見据え大きな課題となつてくる。「総合的見直し」については、国家公務員内部の給

増額改正をめざす。

あなただにもできる活動
知人に会ったら
選挙期間中に、友人、知人に電話で投票依頼することは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。

選挙期間中に、友人、知人に会ったり、訪問する機会に「○○さん」と投票依頼することとは自由です。ぜひお願いして下さい。



いまいち屋

寒波到来

さて、今年も余すところ2週間となつてきた。毎年のことながら流行語大賞なるものが某企業から発表されていく。今年も「ダメダメ」と「集団的自衛権」だった。この2つの流行語、関連性があるなど、もしかして、標榜的？2つを連続させると、「ダメダメ」グループの自衛権だ。この新聞が発行されるころには衆議院議員選挙も大詰めを迎え、結果が決まってしまう。結果がわからないが、経済政策も大事だが平和憲法を守るといふことでこの流行語大賞の言葉を使えないだろうか？▼14年、賃金が7年ぶりにペースアップとなったを念頭に取り組みを進める。県本部としては、①実施時期の2015年4月以降への先送り②組合員レベルの号給の増設③現給保障に終期を設けないことや、退職手当調整額についても増額改正をめざす。

地球人

確定闘争第2波

多くの単組で1号抑制なし

明石はラス抑制提案で紛糾

県本部は、14確定第2波闘争を11月21日をヤマ場にたたかった。

阪淡ブロックでは、第1波で、「総合的見直し」の切り離しを確認した9単組(宝塚、宝塚臨闘、三田、洲本、伊丹市労連、南あわ



交渉待機者に状況を説明する執行部 (高砂市職)

じ)が、統一行動日を前後して交渉を行い、官民較差の解消や交通費改定、臨職の改善などの積み残し課題を当局に迫った。結果、「総合的見直し」は全単組で越え、3月議会に向け、たたか

独自カット縮小、地域手当国並み見直し阻止、現給保障継続

県職 労

県職労は25日に第5回交渉。「総合的見直し」導入阻止できなかったが、地域手当の「国並み見直し」を阻止し、現給保障を継続させ、昇給の1号抑制は来年度改めて協議とした。

6分科会で活発な議論

部落解放研究第37回県集会

11月22日、新長田勤労市民センター・ピフレホールで部落解放研究第37回兵庫県集会所が開催された。

ノ化が、「本来50年、100年先を考えなければならぬ政治を目的の利害関係にとどめ、社会の価値観を狭めていく」と強調した。



分科会は6つにわかれて行われ、兵庫県における被差別部落の実態、地域から

播磨ブロックでは、明石3単組、加古川、三木、加西が1時間ストを構えての交渉を実施した。独自課題として明石ではラス抑制のため1月昇給2号抑制提案

で紛糾した。三木では職務の等級、特殊勤務手当、退職手当調整額の廃止提案について継続協議となった。

「総合的見直し」の取り扱いは、地域によって結果が

わかれることとなった。但丹ブロックは、豊岡病院が1時間ストを配置して交渉した。6単組(香美、新温泉、養父、朝来、丹波、篠山)は、月例給の遅及および一時引き上げで妥結。1号抑制については実施しないことで合意し、通勤手当についても現行額が

国を下回る部分については国並みに引き上げることが確認した。豊岡、豊病、八鹿病院、南但広域が継続交渉となった。

局は全く譲歩する姿勢を示さなかったため、5級の号給延長等、高齢層職員の士気の確保を確認、26日午前3時20分妥結した。

なお現交渉では、給料表と独自の現給保障の継続を確認、県病労課題の「看護職4級への任用上の措置」は「今年度と同様の取り扱いを基本」を確認した。

臨時評 芦屋で経験加算を新設

臨職評結集の単組では、人助の賃金一時金引き上げを背景に交渉を行った。

なかでも大きく前進したのが芦屋非正規3単組。年末一時金は2・0月で妥結。

長年訴え続けてきた経験年数に同じ報酬額を加算。週及にはならないが、来年度から賃金一時金を引き上げる成果を確認した。

青年女性 9地区で確定学習会

青年部女性部では確定闘争期に合わせて学習会を開催。25単組99人が参加した。

県内を9地区にわけ11月5・12日の間で行い、人助の単組の幹事が務めた。

単組交流では、いくつかの単組で、独自学習会を行った。職場改善の悩みを吸い上げ、単組要求に反映させるなど、職場改善に向けて取り組んでいる例が報告された。また、人員削減による部員減少などの悩みも出された。

淡路地区ではグループ交流も行った

組織内議員の紹介

神戸市議員(北区) 伊藤 めぐみ さん



伊藤めぐみさんは、故田中健造神戸市議の長女、「父の選挙を手伝い、ウケイス歴20数年」

兵庫中学校教員の時に震災、避難所運営に携わる。子育てで退職、その後は非正規等として働く。「経験した教育子育て、非正規の問題、変えていくのは

政治」と立候補を決意。議会では中学校給食実現に取り組み、来春から全校実施に。「子どもが中学生。昼食をもってこれない生徒もいる。給食は絶対必要。また、バツカー車の安全問題も質問。「給食も清掃も重要が大切」

昨年の神戸フルマラソンを完走、市役の丹波市災害支援ボランティアにも参加した伊藤めぐみさんは、「現場を見てないんだメ」教育子育て支援、地域力活性がライフワーク」と語る。

www.tomegu.com

Advertisement for 'My Car Mutual' (マイカー共済) insurance. It features a cartoon car with a driver and text describing the benefits of the insurance, including compensation for vehicle damage and other expenses. The slogan is 'Recommended安心タイプ' (Recommended安心Type).

現場の教訓を考える

阪神・淡路大震災から20年

95年1月の阪神淡路大震災、それ以降も震災、台風、集中豪雨等による大災害が起こっている。災害による被災者の苦難、被災自治体での財政悪化、そして自治体現場での復旧・復興や支援の取り組みと多くの問題、それらの点をもう一度見つめ直してみたいと、宮城県山元町に派遣された神河町職の平岡民雄さん、震災後の市民の移動手段確保に努めた神戸交通労組集中豪雨災害支援ボランティア活動の事務局を担った丹波市社協のみなさんに話を伺った。

2013年4月から1年間、宮城県山元町に派遣された。当時、防災の担当をしていたこともあり、家族の理解もあつたので私が行くことになった。

山元町の職員数は170人余り、そこに全国から100人程度が派遣されていた。業務としては復旧復興業務の他、通常業務にも



震災時は営業所の車庫も被害を受けた



左から加地さんと藤崎さん

神戸交通 公共交通は福祉の一環

加地幸夫書記長(地下鉄)と藤崎眞二執行委員(市バス)に話をうかがった。震災当日は市バスの営業所に家を失くした多くの人が、加地を求めて集まってきた。外は寒い、車庫のバス車内に入れてあげ、組合の指示で動くバスはエンジンかけ、暖房を入れた。

地下鉄の構内で、組合員が余震の揺れに怯えながら復旧作業にあつた。市バス・地下鉄が走っている、安心感がある。市民の大切な移動手段を1日も早く再開させよう

地震のもたらした財政面



平岡さんが派遣された山元町の仮設庁舎

配属されている。私は、産業振興課で農業委員会の職員に配属された。

山元町は通常50億円ほどの予算規模だが、復興で500億円になり、予算で

東日本 派遣 仲間からのメール励みに

は10倍の人手が要るわけで増員を要求していたが、結果1.6倍ほどの配置にとどまっていた。部署によっては毎晩残業をしているところもあるが、一方で「もっと仕事をまわしてほしい」といっている人もあつた。全国から集まった自治体職員の方が効率よく活用するため、一部の部署の職員に業務が

集中しないよう調整する機能も必要かと思う。現地で困ったのは、住民、特にお年寄りの方との



平岡さん・神河町職

コミュニケーション。方言やなまりで話されていることが理解できないことがしばしばあつた。また、電話の応対で「あなた本当に役場の人?」といわれたことも。震災から復興というイレギュラーな業務の中で、精神的に疲れて2、3カ月休職する現地の職員もいた。職員の仲間が次々休んでいく姿を見るのは大変つらかったが、自分自身も現地の同僚に非常に親切にしてく

い、また神河町職の仲間からもメールなどたくさん励ましもらい元気に過ごすことができた。

「震災の教訓を地元にも伝えてほしい」と、地域の住民から大変な被災の体験談を聞かせてもらった。神河町に帰ってきてから被災地の様子を伝える機会を度々与えられている。経験できないことを経験し、全国の自治体職員との繋がりができ、「一生の宝」ができたと感じている。

と、組合と交通局が一体となつて取り組んだ。走らせるのは組合支部が専門、震災翌日から運行可能な路線を設定し、組合員が中心になってダイヤを組んで運行を進めていった。バスは家が潰れ、がれきの山、渋滞で走れない。普通20分の距離を何時間もかけて走つた。市バスは6月に全路線の運行を再開することができた。

地下鉄は夕方から試運転、翌日から一部の運行を開始、1カ月で全線開通(三宮等は通過)、日替わりで変わるダイヤを作成し、混乱するホームの整理にあたり、1日3交代勤務にして進めた。全国の都市交の仲間からは、施設の点検等の援助と膨大な支援金を送ってもらつた。

2人は震災を振り返って「不眠不休で市民の移動手段確保に努めた。公共交通は収支だけで判断できるのか。市バス、地下鉄は福祉行政の一環」と。

“地域”の力を生かした

丹波市協 丹波市社協



災害復旧に全国から集まったボランティア

昨年8月、丹波市で発生した豪雨災害に、県本部はボランティアを募り、延べ160人に参加いただいた。丹波市社協協会の松浪豊さん(ボランティアセンター長)にうかがった。

災害発生時、ボランティアの受付や現状把握を社会



ボランティアセンターの松浪さん

福祉協議会(社協)が行う自治体が大半。丹波豪雨災害でも私たち社協職員が第一線で活動した。被災当時、市島町前山地区のコミュニティセンターが自主避難場になり、今はボランティアセンター(ボラセン)として機能している。泥のかき出しなど、まだ終わっていない。

社協では、日頃から地域福祉活動を担うボランティア育成やコーディネート

業順番などを決めた。要望とボランティアをつなげることをマッチング」というが、これには地元ボランティア団体「まごころ」と連携をとった。「まごころ」は東日本大震災を支援していた住民で構成されていて、その経験が丹波にも生きた。

市からは現在、災害復旧に5人(正規1、臨時4)が配置されている。丹波の場合、「ボラセン」の運営経費は市が負担する」という後ろ盾があること。「相談できる態勢」があることが心強い。要望や復旧する力は現場にあり、市は現場が活躍しやすい条件を整えるという形がうまく機能していると思う。

当初、社協が担ったのは、全国各地のボランティア受付け、被災地の要望把握、ボラセンの活動先決定だったが、自治会長と社協職員の連携が生きた。自治体では、各世帯の家族構成や状況をよく知っている。その情報をもとに要望や作

「震災の教訓を地元にも伝えてほしい」と、地域の住民から大変な被災の体験談を聞かせてもらった。神河町に帰ってきてから被災地の様子を伝える機会を度々与えられている。経験できないことを経験し、全国の自治体職員との繋がりができ、「一生の宝」ができたと感じている。

養父市大屋町 天滝を生かす会 天滝を守り、魅力を発信

養父市大屋町後にある「天滝」。天から勢いよくあふれる水しぶきは壮大だ。その落差は県内最大の98メートル。天滝までの道のりは自然豊かな渓谷が続く。「森林浴の森100選」にも選ばれている。昔から地域住民に愛されてきた天滝は、近年の登山ブームもあって観光客は増加している。「天滝の自然を守ろう」「訪問者を楽しんでもらおう」と地域住民でつくる天滝を生かす会が奮闘している。



生かす会の中尾会長
1990年、「日本の滝100選」に選定された。伝説とは、弘法大師が仏運興隆の地を求めて全国行脚したさい、滝の霊氣に打たれて「この



天から勢いよく降り注ぐ姿は迫力がある

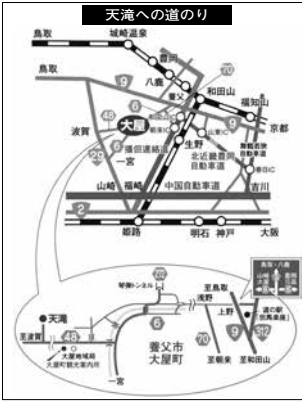
落差98メートル 県内最大

渓谷ハイキングは心癒す

地こそ仏陀の我に恵み給いし聖地」と、谷の数をかぞえたところ、千に1つたかなったため、居を高野山に求めたというものである。古くから愛された天滝で、昔から4月に祭りが開

かれてきた。そのさい、大屋町後区の人たちは、村全体で祭りの準備はもちろ

「都市部では寺や神社でない」と紅葉が楽しめるが、天滝周辺は自然な形で紅葉が楽しめる」と話す中尾会長。1990年から毎年11月にもみじ祭りをはじめた



男子12人で結成された天滝を生かす会。キャンプ施設ができるかと町外からも人がたくさん来る。しかし当初、登山道はごみで埋もれ

ていた。「後の住民が協力して登山道をきれいにしよう」というのがきっかけだった

女子部が運営するレストハウスも好評だ。手作りの「よまのおやき」は名物料理ととなり、市内や近隣自治体のイベントにも出店するほど。だんご餅の中間のような食感で、甘さ控えめのあんこが入っている。まとめて買って帰るお客も多く、癖になる一品。



登山口付近にあるレストハウス天滝。生かす会の女性で運営している。名物「よまのおやき」(写真上)は、近隣自治体のイベントにも出店する人気ぶり

「昔は、遠足といえば天滝お参りしたり住民に愛されてきた場所。「村の天滝」を後世に伝えたい」と中尾会長が思いを語った。

私たちが自治労とともに頑張ります

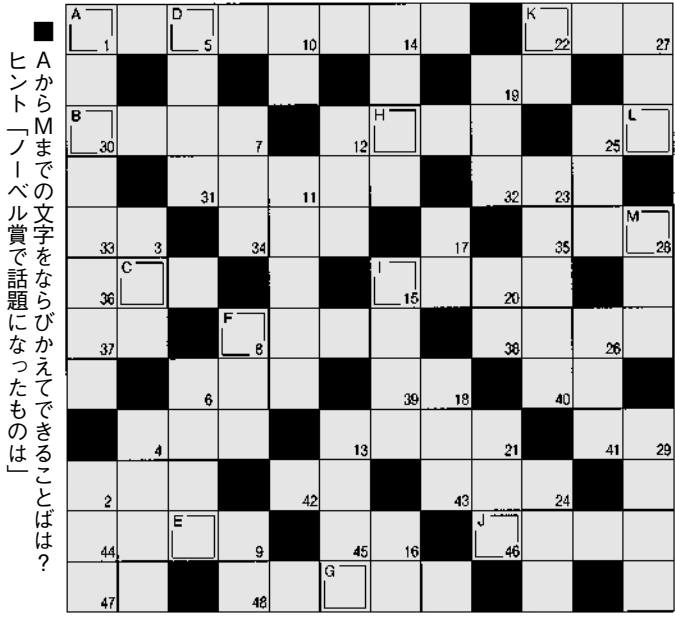
共済県支部	事務局長 西田 浩樹	職員 堀岡有美子	職員 高木さつき	職員 飯田 美佳
自治研センター	理事長 坪田 眞樹	副理事長 木谷 晋市	理事 丹治 初彦	理事 伊藤 弘孝
事務局長 市来 信弥	事務局長 兵藤 利澄	事務局長 高山 博司	事務局長 清水 誠一	事務局長 米澤 正紀
事務局長 塩見 幸治	事務局長 小和田敏晴	事務局長 西村 和平	事務局長 古谷 博	事務局長 山名 宗悟
事務局長 黒田 一美	事務局長 上野 英一	事務局長 芝野 照久	事務局長 伊藤めぐみ	事務局長 横畑 和幸
事務局長 山口みさえ	事務局長 永井 俊作	事務局長 松崎 雅彦	事務局長 村井 正信	事務局長 大畑 利明
事務局長 前川 豊市	事務局長 梶川みさお	事務局長 久保 宗一		

組織内首長・議員

みんなでチャレンジ

新春 クイズ どーぞ応募下さい

自治ひよう「新春クロスワードクイズ」に挑戦して下さい。クイズを解き、A～Mの文字を埋め、並び替えてできる言葉をお答え下さい。正解者から抽選で5人に5,000円商品券、10人に1,000円図書カードを贈呈します。1月16日(金)までに県本部「教宣部」宛に、はがき、FAX、Eメールで応募下さい(宛先は本紙1面を参照)。①答え②組合名③名前④住所(景品の届け先)を必ず明記して下さい。連名での応募、複数回答は無効となります。当選者は2月15日号に掲載します。



■ AからMまでの文字をならびかえてできることは？
ヒント「ノーベル賞で話題になったものは？」

- 授業
- 11 時間に沿って物事を整理し並べること
- 12 食器類を拭くための布
- 13 紫陽花
- 14 筋道の通った正しい議論
- 15 物事の道理
- 16 フェイス
- 17 寺院にある多層の建物
- 18 串を通していわしなどの干物
- 19 君の〇〇〇は一万ボルト
- 20 〇〇一髪
- 21 武術などを習い練習すること
- 22 家の中で地面のままになった所
- 23 ある問題についての考え方をまとめた書
- 24 区切りをつけた地域
- 25 水柱
- 26 ダイヤモンド☆〇〇〇
- 27 移り動くこと
- 28 積極的に行動をとる心
- 29 タバコ10箱を詰めた箱
- 30 無事安全で何の危険もないこと
- 31 一時かぎり支給される金
- 32 木乃伊
- 33 自分だけの利益をはかること
- 34 勝馬投票券
- 35 君主に忠誠を誓って仕える者
- 36 静かな〇〇〇の森のかけら
- 37 学校や会社の宿舎に住むこと
- 38 予定の価格
- 39 能ある鷹は〇を隠す
- 40 鳥賊
- 41 伯母
- 42 動物を飼育育てること
- 43 傾斜している道
- 44 波
- 45 〇〇〇よ、僕は旅に立つ
- 46 屋根の雨水を集めて地上に流すしかけ
- 47 陽イオン
- 48
- 1 底に重りをつけた、だるまの人形
- 2 ↓セーフ
- 3 琥珀
- 4 組織などを動かして機能を発揮させること
- 5 共通の目的で集まって作った集団
- 6 ボウリングで3回連続のストライク
- 7 マーケット
- 8 油
- 9 浮標
- 10 セミナール、少人数の
- 1 寒冷前線
- 2 そらで覚えること
- 4 羊毛
- 6 伸縮性のある布で作られた腰から下を覆う衣服
- 8 みかん科に属するダイダイの一種
- 12 ホテルの受付
- 13 もち米に麴をませて作った甘い飲み物
- 15 勤務先に通うこと
- 19 手があいている時間、状態
- 22 ↓ウエント
- 25 〇〇と言えばカー
- 30 無事安全で何の危険もないこと
- 31 一時かぎり支給される金
- 32 木乃伊
- 33 自分だけの利益をはかること
- 35 勝馬投票券
- 36 静かな〇〇〇の森のかけら
- 37 学校や会社の宿舎に住むこと
- 38 予定の価格
- 39 能ある鷹は〇を隠す
- 41 鳥賊
- 42 伯母
- 43 動物を飼育育てること
- 44 波
- 45 〇〇〇よ、僕は旅に立つ
- 46 屋根の雨水を集めて地上に流すしかけ
- 47 陽イオン
- 48
- 1 底に重りをつけた、だるまの人形
- 2 ↓セーフ
- 3 琥珀
- 4 組織などを動かして機能を発揮させること
- 5 共通の目的で集まって作った集団
- 6 ボウリングで3回連続のストライク
- 7 マーケット
- 8 油
- 9 浮標
- 10 セミナール、少人数の

組織内候補の勝利をめざそう

今年4月は統一自治体選挙が実施されます。県本部組織内候補の勝利をめざして取り組もう。



【兵庫県議会】現職・垂水区
黒田 一美



【兵庫県議会】現職・神崎郡
上野ひでかず



【神戸市議会】現職・北区
伊藤 めぐみ



【芦屋市議会】現職
山口 みさえ



【明石市議会】現職
永井 俊作



【宝塚市議会】元職
梶川 みさお

22 家の中で地面のままになった所

23 ある問題についての考え方をまとめた書

24 区切りをつけた地域

25 水柱

26 ダイヤモンド☆〇〇〇

27 移り動くこと

28 積極的に行動をとる心

29 タバコ10箱を詰めた箱

30 無事安全で何の危険もないこと

31 一時かぎり支給される金

32 木乃伊

33 自分だけの利益をはかること

34 勝馬投票券

35 君主に忠誠を誓って仕える者

36 静かな〇〇〇の森のかけら

37 学校や会社の宿舎に住むこと

38 予定の価格

39 能ある鷹は〇を隠す

40 鳥賊

41 伯母

42 動物を飼育育てること

43 傾斜している道

44 波

45 〇〇〇よ、僕は旅に立つ

46 屋根の雨水を集めて地上に流すしかけ

47 陽イオン

48

1 寒冷前線

2 そらで覚えること

4 羊毛

6 伸縮性のある布で作られた腰から下を覆う衣服

8 みかん科に属するダイダイの一種

12 ホテルの受付

13 もち米に麴をませて作った甘い飲み物

15 勤務先に通うこと

19 手があいている時間、状態

22 ↓ウエント

25 〇〇と言えばカー

30 無事安全で何の危険もないこと

31 一時かぎり支給される金

32 木乃伊

33 自分だけの利益をはかること

35 勝馬投票券

36 静かな〇〇〇の森のかけら

37 学校や会社の宿舎に住むこと

38 予定の価格

39 能ある鷹は〇を隠す

41 鳥賊

42 伯母

43 動物を飼育育てること

44 波

45 〇〇〇よ、僕は旅に立つ

46 屋根の雨水を集めて地上に流すしかけ

47 陽イオン

48

ご支援に感謝します

総選挙、よこはたさんは惜敗

12月14日に実施された衆議院選挙は、暴走する自公政権に歯止めをかけることができず、安否多数を許す結果となりました。県本部組織内としてたかつたよこはた和幸さん(兵庫3区)は、組合員のみなさまのご支援にもかかわらず、議席獲得にいたりませんでした。県内各地で、推せん候補の勝利に向け取り組んだ組合員のみなさまに、選挙戦で培った団結で、統一自治体選挙の前進を勝ち取りましょう。

は、あらためて感謝いたします。「信任を得た」と評する安倍首相は、憲法改正に向けた議論に言及しています。まさに大儀のない、争点隠しの選挙であったといわざるを得ません。現在の政治の流れは、人権や民主主義、平和を脅かすものです。今

団体生命共済ご加入の組合員の皆さん

大切なことだから
お待たせしません

子どもが
生まれたら
すぐ加入!

継続募集時期以外でも加入できますヨ

親子共済

個人長期生命共済

- 将来の教育資金と「万一のとき」に備える積立型の共済です
- 年に一度、継続募集時期に加入できます
- 新生児の場合は継続募集時期以外でも加入できます
- 月々1口5,000円でお子さま1人につき4口まで加入できます
- お子さまの団体生命共済と一緒に加入ください

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

自治労共済本部

全労済は、営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいた組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ZENROSAINNEWS
5113M267

自治ひょうご

1446号

2015. 2. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 2日 2015年度第5回執行委員会 (県本部)
- 7日 青年女性2015年春闘討論集会 (共済会館)
- 10日 県本部第197回中央委員会 (中央労働センター)
- 11日 県本部2015春闘討論集会 (共済会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



新年のあいさつを述べる森薩委員長

県本部旗開き 節目の年、団結強化を

県本部は1月7日、ラッセホールで新春旗開きを開催し200人が参加した。森薩守委員長は、「戦後70年、阪神淡路大震災から20年の節目の年。団結を固めて頑張ろう」とあいさつした。(詳細はネットワーク情報に掲載)

豊病 臨職の時給引き上げ



単組代表者会議での意思統一した

「見直し」は第2波へ継続 職場改善、人員補充求める

反行革・予算要求闘争

「公共サービスの拡充」「予算人員の確保」を指標とした反行革・予算要求闘争が1月23日をヤマ場にした。また、給与制度の総合的見直しの第3次闘争第1波と位置づけ、14確定を越年した単組を中心に交渉を行った。2波は2月6日がヤマ場となる。県本部は1月7日、単組代表者会議を行い、これらの闘争に向けた意思統一を行っている。

阪神淡路ブロックでは、統一日程にあわせ7単組伊丹、宝塚、三田が、職場の実態を訴え改善を求めたほか、各単組独自の課題解決に向けて交渉を行なった。給与制度見直しについては、それぞれ単組で提案を受け、決断に向けて交渉を行なった。

連合は12月2日、東京都内で中央委員会を開き、15春闘で2%以上のベースアップを要求することを柱とする闘争方針を決定した。連合のべア要求は2年連続で、水準は14春闘の1%以上を上回る。

12月22日、兵庫県中央労働センターで連合兵庫主催の15春闘方針説明集会が開催された。連合の春闘方針のポイントや、たたかひの進め方について意思統一するもので、連合本部の須田孝総合労働局長が提起した。連合兵庫の闘争日程を福永明事務局長が説明、「12月25日開催の連合兵庫中小労働対策委員会」で春闘方針を協議し、2月4日開催の執行委員会の方針確認、お

べア要求2%以上 民間大手は3月18日ヤマ場

連合春闘方針

よび闘争開始宣言を行う」と述べた。また闘争本部の下に、構成組織の自主的な

参加による「中小共闘センター」を設置し、賃上げ集計、情報の共有化を行い、中小・地場労組への闘争支援を行う。最大のヤマ場を3月18日に設定して、大手の決着をはかる。

自治労の春闘方針は、1

春闘期の各種集會

- | | |
|-------------|-----------------|
| 青年女性 春闘討論集会 | とき 2月7日(土) |
| | 午前10時30分開会 |
| ところ | ひょうご共済会館 |
| 内容 | 要求づくり、模擬交渉 |
| 県本部春闘討論集会 | とき 2月11日(水・祝) |
| | 午前9時30分開会 |
| ところ | ひょうご共済会館 |
| 内容 | 2015春闘情勢学習会 分科会 |
| 公共民間協 春闘学習会 | とき 3月7日(土) |
| | 午後2時開会 |
| ところ | 自治労兵庫県本部 |
| 内容 | 講演「見つけ直そう 労働相談」 |



連合の春闘方針を説明する須田さんと兵庫のたたかひを話す福永さん

ネットワーキング情報145号に「戦争をさせない1000人委員会学習会」「開基将棋大会」14号に「県本部旗開き」単組代表者会議等を掲載しています。自治労兵庫県本部のホームページから参照下さい。

けたが、2月のヤマ場に向けて継続交渉となった。播磨ブロックでは、明石が行政職は退職者を大きく上回る採用と臨時保育士の療養休暇制度改善を確認。高砂は人員配置・欠員補充について確認。また福利厚生制度の拡充やハラスメント対策について具体的方策を引き出した。西脇、加西でも採用人員を確認した。宗粟では係長試験導入問題で断続的に交渉を続けている。

総合的給与見直しは多くの単組で継続協議となった。但馬丹波ブロックは、確定闘争で給与制度の総合的見直しについては全ての単組で妥結、予算要求闘争では、残された単組の課題は、非正規職員の賃金改善と均等待遇・安定雇用の実現に向け取り組んだ。豊岡病院労組では、臨時職員の時給10円引き上げ、嘱託介護士の経験年数区分の改善などを勝ち取った。

神戸市職労と市従は、12月にヤマ場を設定して人員配置の交渉を行った。市職

いまいち屋

ダブルバインド

くも安倍首相は憲法改正をいい出した▼その動きに私たちはどう対決するのか。対外的には反核平和の火り、レーや平和フォーラムなどが企画する集会に参加し、これまで以上に認識を高めて、ときには街頭ビラ配布行動もいざ行う▼では内部的にどうするのか。県本部は09年2月に「戦争非協力宣言」を採択決議している。この宣言を県本部傘下の全単組で決議する。その上で少なくとも1回は宣言に基づく単組集会を開催して全組合員に周知するのはどうだろうか▼宣言では①いかなる「戦争協力」にも応じない②「戦争協力」は通常業務ではないなどと決議されている。この決議は非常に重い▼私たちの意思は内外に示されている。自治労組合員は立ち上がる。

月29〜30日の本部中央委員会確定、県本部は2月10日の中央委員会春闘方針を議論し、翌11日には春闘討論集会で議論を深める。賃金闘争のスタートである春闘に結集しよう。

しこう

年末の衆議院選挙は、アベノミクスに対する国民の評価を受けるといった名目であったはずだが、選挙後、早くも安倍首相は憲法改正をいい出した▼その動きに私たちはどう対決するのか。対外的には反核平和の火り、レーや平和フォーラムなどが企画する集会に参加し、これまで以上に認識を高めて、ときには街頭ビラ配布行動もいざ行う▼では内部的にどうするのか。県本部は09年2月に「戦争非協力宣言」を採択決議している。この宣言を県本部傘下の全単組で決議する。その上で少なくとも1回は宣言に基づく単組集会を開催して全組合員に周知するのはどうだろうか▼宣言では①いかなる「戦争協力」にも応じない②「戦争協力」は通常業務ではないなどと決議されている。この決議は非常に重い▼私たちの意思は内外に示されている。自治労組合員は立ち上がる。

低かった危険性の認識

20~30年後 発生の可能性ある



パネリストの広瀬さんと南さん

「震災とアスベストリスクを考えるシンポジウム」が、1月12日、神戸市勤労

会館で開催された。主催者を代表して、ひょうご労働安全衛生センター

震災とアスベストリスクを考えるシンポジウム

の神田雅之理事長は、「震災20年を迎え震災体験のない世代が増えてきている。アスベスト問題など多くの課題が残っており、研究者、医師、地域運動などで行政を動かす、これからの災害にどのように備えるかを」とも考えるシンポジウムとした」とあいさつ。

記念講演では、東京女子大学名誉教授の広瀬弘忠さんより「アスベスト災害―体内時限爆弾の脅威」と題した講演を受け、その後、基調報告やパネルディスカッションで、アスベストの危険性について学んだ。

女性部と臨職評は12月21日、7回目となる合同学習会を共済会館で開催した。安倍首相が成長戦略の一環として掲げる「女性の活躍」として掲げる「女性の活躍促進」の内容や問題点を学習。また、出産、子育てなどに関わる権利・制度について交流を深めた。

選では副議長に森蔭守委員長、事務局長に西岡裕書記次長、幹事に森哲二執行委員が選任された。

池田啓子議長は、「統一自治体選挙で三田から県議会に挑戦することとなった。議会の場で人権課題を取り組みたい」と決意表明。後任には、川原芳和さん(兵教組)を確認した。



市職の処分撤回集会 (2013年11月)

「ストライキ実施による「戒告処分」で、高砂市職委員(当時)が「処分は不服」として申立てた件について、12月22日付で高砂市公平委員会は、「懲戒処分を取り消す」との裁決を行った。

付も事実上市当局が行った自主的に文書が作成、交付された経緯もない。(任命権者である)農業委員会が意思決定を行ったという実質も存在せず、本件処分が農業委員会による決定とは到底言うことはできない。本件処分は、懲戒処分を行う要件を欠くものであり、これを取り消すべき法令に違反した重大な瑕疵があるものと判断する」としている。今回の裁決は、組合側の「処分には、手続きに不備があり、無効である」と

組合主張認める 「手続き不備、無効」

高砂公平委

懲戒処分を取り消す

「女性の活躍促進」とは

「安倍政権の『女性の活躍』から考える」をテーマに本部の松澤佳子女性部長が問題提起。「女性は資本にとって都合のいい働き方を強いられてきた。そして今、女性の活躍」という響きのいい言葉で、働き方を迫られていく。女性が力をあわせて権利を守るための「行おう」と呼びかけた。

組織内議員の紹介

芦屋市会議員

山口みさえさん



山口みさえさんが小学生の時に解放同盟が結成され、隣保館での勉強やレク活動、生活指導に通い、集会などへ参加して差別、人権について学んだ。非常勤嘱託の学童保育指導員になって職場では改善の要望がたくさんあり、不安を持って

るのを知り、組合結成を呼びかけ指導員組を結成、書記長に。思い出すのは双子を出産、産休が年をまたがって首になり1年間のたたかいで復帰できたこと。退職金闘争で、市役所前の座り込みで自治労の仲間が駆けつけてくれて団結を感じた。非正規の改善、差別をなくすには政治の場で行うことが必要と考へ議員に。議会では弱者に視点をあて、働く者の権利を守る、常に非正規の問題を取り上げてきた。」と山口みさえさんは語った。

組合員のみならずに充実した内容の共済をご提供いたします

総合共済 団体生命共済 長期共済/税制適格年金 親子共済 火災共済+自然災害共済 マイカー共済

ご不明な点はお気軽にお電話ください

全労済 全日本自治労共済生活協同組合連合会

全労済 全日本自治労共済生活協同組合

全労済 全日本自治労共済生活協同組合

自治ひろこ

1447号

2015春闘 討議資料

2015. 2. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

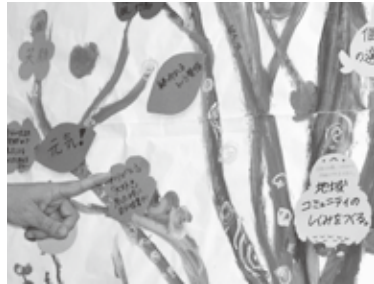
震災の教訓次代へ

市民社会の課題、若者が議論

KOBE市民フォーラム

1月17日、阪神・淡路大震災から20年を迎えた。24日には、「KOBEM市民とNGOフォーラム2015」が神戸・元町で開かれ、震災の経験や次世代に伝え、若い世代がメッセージ(宣言)を作成する営みがあった。同フォーラムは県本部も実行委員団体として参加、高校生、大学生らが中心になって、震災体験者の想いやボランティア経験から、「未来に何を発信するのか」話し合った。

市民フォーラムは95年に「被災者自身が、語り、学び、決めるための行動を、新しい社会システムを創造する力を養おう」との「神戸宣言」を発表している。今フォーラムは、震災を経験していない世代とともにメッセージを作成するために開かれたもの。



あいさつを行う頼政さん(左)未来に発信するキーワードを出し合った(右)

「私たちは若者が震災の教訓を身近なところから考え、伝えていきたい」とフォーラムを準備してきた頼政良太さん(被災地NGO)が開会のあいさつを行った。

I部は若者が大切にしたいことなどを話し合い、II部は震災体験者が次世代に伝えたい「想い」を出し合い、III部では、全員参加のディスカッションを行った。

I部では、「人間関係が希薄になり、つながりの中で(震災体験が)継承されていないのではなか」と、II部では、「震災の中で生み出されたのは、既存の価値観や損得勘定に縛られない人間らしく生きるための価値観ではなかったか」などの意見が出された。

「見直し」の現状持ち寄る

自治労 中央委 春闘への結集意思統一

自治労第148回中央委員会が、1月29〜30日東京で開催された。委員会では、春闘方針や当面の闘争方針などが議論され、2日間で34

本の発言があった。活発な討論の後、本部提案の5議案は賛成多数で可決された。なお、16年の参議院選挙比例代表選挙の組織内候補

補として江崎孝現参議院議員を擁立することを確認した。冒頭あいさつで氏家常雄委員長は、今春闘は連合

に結集し、働く者の底上げをはかる②「給与制度の総合の見直し」は半数以上が継続闘争、2月6日の統一行動を背景に全力でたたかう③非正規処遇改善や労働者派遣法改正阻止④集团的自衛権や脱原発の取り組み⑤地方創生の動向に注視していく等当面の課題に取り組む決意を述べた。

各県支部からは①春闘では、自治労も賃上げ(率)で要求するべき②「見直し」で国同様の引き下げをさせない成果を得た③臨時非常勤職員の組織化、処遇改善で成果④統一自治体選で組織内候補擁立を追求⑤沖縄知事選で勝利、反戦争、反基地のたたかひの強化などの発言が出された。

重点課題は組織拡大 三宮で春闘街宣も

臨職評が冬季合宿

1月24〜25日、神戸で臨職評が冬季合宿が開催された。臨時非常勤職員向けの共済制度「シンプルバック」の誕生を受け、西田全労済県支部事務局長から説明を受けた。その後、幹事会では県ネット・パートキャラバンでのアクション行動仲間つくりキャンペーンの推進や組織拡大の取り組みなどを協議した。その後単組報告に入り、26単組から現状報告がされた。2日目の



合宿後は三宮で街頭宣伝を行った

は、模擬団交を行った。今後の協議に備えたり、将来の幹事を担う心構えを養うため①年体練り越し②休暇制度について③賃金一時金アップについての事例を3班に分かれ、全員参加で模擬団交を行った。

集会后は三宮マルイ前で街宣行動、15春闘ピラとティッシュを配布した。

県会補欠選挙 おくのさん次点

西宮選挙区

1月25日投開票で行われた県会議員補欠選挙(西宮市)において、県本部推薦の①の尚美候補(新人、民主党)は1万5436票と善戦したが次点。おののさんは、4月の統一自治体選をめざして取り組みを進めていく。

障勞評 電話相談

障害労働者評議会による電話相談を実施します。秘密は厳守します。どんな悩みでもご連絡下さい。

期間 3月2日(月)〜7日(土)

受付時間午前9時〜午後5時30分

連絡先 TEL 078-392-0820

FAX 078-392-0920

E-mail k-yamanaka@jichi-hyogo.jp

県本部まんが集団例会

とき 2月21日(土)

午後2時〜午後5時

ところ 自治労兵庫県本部会議室

しこう

預貯金や株式、投資信託などの金融資産を1億円以上持つ「富裕層世帯」は、100万世帯を超えた(13年野村総合研究所)。前回11年より2割増えた。一方で、資産を持たない「ゼロ世帯」は3割にも上る。資産の増加は株価の値上がりによるもの。アベノミクスは、富裕層はますます富み、貧困層はいつまでも抜け出せない「格差拡大社会」をつくりあげた。企業の純資産も13年には550兆円を超え年々増加の一方だ。大企業内部に蓄積された膨大な資産は、デフレ化のもと金融資産にまわる「カネ余り」状態だ。15春闘もスタートを切った。働く者は正当な労働力の対価としての賃上げを行い、格差是正のためにも社会全体の底上げをはかっていかなければならない。企業の資産は、労働者の生み出したもの。今春闘は、企業資産を社会に還元させるたたかひでもある。

いまいち度

システムの一部...

大植 賢(豊岡市職労)

3月20日がヤマ場

格差是正、賃金の引き上げを

安倍政権の失政による勤労国民の生活悪化、労働者保護ルールの改悪攻撃と決する15春闘がスタート。連合は「底上げ」「格差是正」に向け、2%以上の賃金引き上げ、非正規は「誰もが時給1000円」をめざして取り組み、継続となっている「総合的見直し」に対する取り組み、組合員の生活の維持・改善、非正規の雇用と処遇の改善をめざし、スト批准投票を成功させ、県本部決起集会への結集、春闘要求書を提出、交渉を実施し15春闘を取り組もう。

1 15春闘をめぐる情勢と課題

安倍政権は、アベノミクスの成果を強調してきたが、国民生活を圧迫している。14年10月、IMF(国際通貨基金)は、日本の成長率の見直しを大幅に下方修正した。

こうした状況下において、10月31日、日銀は追加の金融緩和を決定し、これとタイミングをあわせるように、GPIFは年金積立金運用比率に関し、国債比率を引き下げ、国内外の株式を2倍にする見直しを行う決定をした。

12月8日、内閣府は、7〜9月期の国内総生産(GDP)について、実質GDPが4〜6月期に比べて0.5%減と2四半期連続のマイナス、年率換算で1.9%マイナスと公表した。また、最終的な14年度の実質GDP成長率についても、前年度比で小幅のマイナス成長となることを見込んでいる。

厚生労働省の毎月勤労統計(14年11月)によると、現金給与総額は前年同月

比で、1.5%減(一般労働者は1.5%減、パートタイム1.2%減)、常用雇用は前年同月に比べ1.3%増(一般労働者1.4%増、パートタイム労働者1.2%増)となつている。ただし、物価変動を考慮した実質賃金は前年比4.3%減と17カ月連続マイナスで、下げ幅も拡大している。賃金上昇が物価上昇に追いつかず低迷が続く一方、企業の内部留保は増え続けている。

安倍総理はこうした悪化を理由に10%への増税を1年半先送りするという判断を示し、国民に真意を問うため、解散、総選挙を行った。自公与党で3分の2の議席を獲得する圧勝となったが、消費増税の先送りも、アベノミクスの失敗を自ら認めたと等しいものといえる。

厚生労働省の毎月勤労統計(14年11月)によると、現金給与総額は前年同月

さらに、正社員に限った有効求人倍率は0.69倍にとどまり雇用環境が改善したとはいえない状況にある。

また、安倍総理は「女性の活躍」を成長戦略の1つに掲げ、女性労働力の活用を進めるようたう一方、労働者の「非正規化」を加速拡大させる労働者派遣法の改悪を進めようとしている。

労働政策審議会においては、労働時間規制の見直し「ホワイトカラー・エグゼンプション」について議論が進められている。そのほか、解雇の金銭解決制度など、労働者保護ルールの改悪も検討されているが、これらの見直しは、働く者の犠牲の上に、企業利益の拡大をはかるとういものであり、改悪阻止に向け、一

連合兵庫

2015春闘決起集会

と き 3月7日(土) 午前11時開会

ところ 神戸・東遊園地

官公部門連絡会決起集会

官公予集 会位 官公予集 会位

会集事 会集事

前集事 前集事

段集事 段集事

の集事 集事

決起集 決起集

集事集 集事集

会集集 会集集

決起集 決起集

集事集 集事集

会集集 会集集

これらの動きを踏まえ、人事評価制度の勤務実績等の給与への反映は「職場に差別と分断を持ち込む」との基本的認識のもとで以下の取り組みを進める。

① 本部は、これまでの総務省等との協議において人事評価結果の活用等は交渉事項であることを確認していることから、単組は制度設計や運用については、公平・客観性・透明性を保ち、公正な評価を行うこととする。

また、運用に支障のない形で条例化をはかる。② 公表方法についても、具体的な労使協議を行い、一方的な公表を行わずに、一定の取り組みを進めたい。

③ 技能労働に関しは、法律上等級別基準職務表の条例化および等級別職名(職制上の段階)義務付けられていないことから、安易に条例化公表を行わないこととする。

【連合春闘のポイント】

連合は、社会経済の源泉である「働くこと」の価値を削ぐ政策に対し警鐘を鳴らすとともに、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現と、「フフレからの脱却」と「経済の好循環実現」をはかり、「働くこと」を軸とする安心社会の実現をめざす。

賃金引上げについては、定期昇給賃金カーブ維持相当分の確保を前提とし、2%以上(定期昇給相当額と賃上げ額を加えた要求は4%以上の獲得をめざし、取り組みをすすめる。非正規については、正規職員との格差是正に向け、「誰もが時給1000円」をめざし取り組みを展開する。

【自治労の基本的考え方】

地方公務員給与は、地域の中小企業等と働く労働者の賃金にも影響をおよぼす

【取り組みの進め方】

15春闘は、2月5日の連合闘争開始宣言集会を起点に諸行動が展開され、民間大手のヤマ場は3月第3週(3月16、20日)を回答ゾーンとし、最大のヤマ場は18日に設定されるが、自治

【春闘の進め方】

19日(要求書提出の翌日)、第2次全国統一行動3月12日(中央行動に連動)、第3次全国統一行動3月25日(回答指定日)翌日、公務労働協及び公務員連絡会が開催する3月12日の全国行動に全国体制で参加する。その後も3月の国家公務員担当大臣、総務大臣および人事院総裁回答まで闘争態勢を維持し、地域春闘との連携をはかり公共民間、

2 具体的な取り組み

可能性はある。また、民間賃金の動向が公務員賃金に大きな影響を与えることを踏まえ、連合に結集して取り組みを進める。

交渉にあたっては、「労働関係に関する基本的要求書および単組独自要求書(国会請願デモ)」に全国動員体制で参加する。

公務員連絡会全国統一行動2月19日(要求書提出の翌日)、第2次全国統一行動3月12日(中央行動に連動)、第3次全国統一行動3月25日(回答指定日)翌日、公務労働協及び公務員連絡会が開催する3月12日の全国行動に全国体制で参加する。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

【県本部の取り組み】

県本部は、3月7日に開催される連合兵庫の決起集会とあわせて、官公部門連絡会決起集会に結集し、「要求書」を2月末までに全単組で提出し、「要求書」の確立に向け、連合が2月24日に東京で開催するシンポジウムおよび決起集会(国会請願デモ)に全国動員体制で参加する。

公務員連絡会全国統一行動2月19日(要求書提出の翌日)、第2次全国統一行動3月12日(中央行動に連動)、第3次全国統一行動3月25日(回答指定日)翌日、公務労働協及び公務員連絡会が開催する3月12日の全国行動に全国体制で参加する。

その後も3月の国家公務員担当大臣、総務大臣および人事院総裁回答まで闘争態勢を維持し、地域春闘との連携をはかり公共民間、

決定することが基本であり、この見直しを地方へ押し付けることは許されるものではない。春闘期においても「総合的見直し」も含め、自治体の交渉が尊重されるよう対策を強める必要がある。

14年7月4日、総務省は

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。



情勢および動向

総務省が示した15年4月からの試行開始、16年4月から本格実施を行うというスケジュールを受け、当局からの提案等導入に向けた動きが顕在化している。

なお、国家公務員は給与構造改革と並行する形で06

3 人事評価制度に対する取り組み

通知を發出し①各地方公共団体の任命権者は、改正法の趣旨を踏まえ人事評価制度に関する規定等の整備を行うこと②その規定等においては国の人事評価制度などを参考に必要な規定を設けること、③規定等の整備にあたっては、職員への十分な説明と理解を得ることを必要とする。また、公平・客観性・透明性を保ち、公正な評価を行うこととする。

用を通じ必要に応じて改善していくことが重要などとし、人事評価の定義と評価手法、標準職務進行能力、人事評価の実施および評価結果の活用については基本的に国の制度に準じた運用を求めている。なお、着目すべき点として、評価結果の活用については、公平・客観性・透明性を保ち、公正な評価を行うこととする。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

また、年度末の雇止め問題の解決に向けて、雇用継続をはかる取り組みを強化しなければならぬ。

春闘期にたたかいは1年のスタートである。改めて県本部に結集した取り組みの強化を進めたいかなければならない。

1月13日(金)～18日(木)

2月(木)～20日(金)

3月(金)～20日(金)

4月(木)～18日(木)

3-20全国統一行動指標

労働協及び公務員連絡会が実施する取り組み

生活水準を確保すること

賃金、労働条件の変更については、十分な労使協議を前提とする

非常勤等職員の雇用の処遇改善をはかること

非常勤等職員の雇用の安定・改善をはかること

等級別基準職務表と職員数の公表イメージ (総務省資料)

等級	職務(例)
9級	本庁の困難な業務を行う部長の職務
8級	本庁の部長の職務 本庁の困難な業務を行う部の次長の職務
7級	本庁の次長の職務 本庁の困難な業務を行う課長の職務 困難な業務を行う出先機関の長の職務
6級	本庁の課長の職務 出先機関の長の職務
5級	本庁の困難な業務を行う課長補佐の職務 出先機関の次長又は困難な業務を行う出先機関の課長の職務
4級	本庁の課長補佐又は主幹の職務 出先機関の課長の職務
3級	本庁の係長又は主査の職務
2級	主任の職務 高度な知識又は経験を必要とする業務を行う職務
1級	定型的な業務を行う職務

等級	合計		内訳					
	人数	(%)	職名	人数	職名	人数	職名	人数
9級	10	0.2%	部長	...				
8級	27	0.6%	部長	...	次長			
7級	54	1.3%	次長	...	課長	...	支庁長	...
6級	260	6.1%	課長	...	総合事務所長	...		
5級	871	20.4%	課長補佐	...	総合事務所次長	...	支庁の課長	...
4級	1044	24.4%	課長補佐	...	主幹	...	総合事務所の課長	...
3級	1392	32.6%	係長	...	主査	...		
2級	339	7.9%	主任	...	主事	...		
1級	277	6.5%	主事	...				

運用通知の発出
総務省は8月15日に運用

へき点として、評価結果の活用に関し、特に勤勉手当の反映に関するトーンが強いことに留意して対応する必要があります。

取り組みの考え方

改正法には、「職員との給与は、その職務の責任の重さ、その職務の複雑さ、その職務の程度に比例して決定される」とある。これは、給与の決定に「職務の責任の重さ、その職務の複雑さ、その職務の程度」が関係していることを示している。

① 条例化にあたっては、自治労「等級別基準職務表」モデルを参考に現在の運用について点検し、少

② 導入にあたっては、本部が作成した「単組交渉指針」を活用し、交渉・合意を前提に労働組合の十分な制度構築運用への関与と、4原則(公平・公正性・透明性、客観性、納得性)2要件(労働組合の関与・参加、苦情解決制度の構築)の確保をめざす。

③ 県本部単組は、評価結果の活用にあたって②の到達点を踏まえ、十分に労使交渉を行い、特に給与・処遇への拙速な反映は行わないよう取り組みを

④ すでに人事評価制度が導入されている単組においては、今回の法改正を機に改めて制度運用を検証し、労使交渉・協議によって必要な改善を行う。

⑤ 単組は、本部が6月に開催する「第5回全国交流集会」に積極的に参加する。

度と言え、逐月にしては十分な労使協議による労使合意を尊重するよう当局に求める。

4 格差是正の取り組み

(1) 非正規労働者の処遇改善

臨時・非常勤職員3人の1人が臨時・非常勤職員となっており、雇用契約では3ヵ月、半年、1年などの短期契約で極めて不安定であり、その処遇は、時給で8,000円台、月給では14万6千円ほどで、まさに「官製ワーキングプア」といわれる実態である。

この間、県本部は、臨時・非常勤等職員の雇用安定と処遇改善に向け全力をあげてきた。しかし、いまだに多くの仲間が未組織の状態にあり引き続き取り組みを強めていかねばならない。

自治労は全国的な取り組みを進め、政府・総務省に対して改善を求め、14年7月4日には、総務省が「臨時・非常勤職員及び任期付職員の任用等について」を発出し、①通勤費用や時間外手当についての適切な取り扱い②空白期間と社会保険等との関係性を明記した厚生労働省通知も引用し、育児など各種休業制度の整備や業務研修の実施などについて各自自治体で適切な対応を行うことを求めた。

各単組では、本部が作成した「総務省通知「臨時・非常勤職員及び任期付職員

(2) 労働者保護ルールの改悪阻止

政府は産業競争力会議等での議論を踏まえ、「日本再興戦略」改訂2014(14年6月24日閣議決定)の中で、「解雇の金銭解決」の導入や「労働時間法のあり方」について検討すべくであるとした。労働政策審議会労働条件分科会では、政府方針を受け、①長時間労働抑制策、年次有給休暇の取得促進策②新たな労働時間制度(ホワイトカラー・エグゼンプション)の創設、③裁量労働制の新たな枠組みの構築④フレックスタイム制の見直しを重点に議論を行った。

政府は次期通常国会で「年取1000万円以上」「高度な職業能力を持つ人」を対象にした残業代ゼロ制度の関連法改正案の成立を目論んでいるが、高い年取

(3) 民間・中小の底上げ

春闘期の労使交渉で決定された地域の民間労働者の賃金相場は、公共サービス労働者の賃金に大きな影響を与えていることから、県本部は、地域組織・関係単組の共同の取り組みを進め、地域中小民間労働者の賃金引き上げ、大手企業との格差是正、労働諸条件改善をめざす。

政府は、アベノミクスが中小企業を苦境に追い込んでいる現状を踏まえ、12月16日の政労使会議において、「高収益の企業は、下請け企業に支払う価格についても配慮を求めたい」と申し出た。しかし、中小企業経営団体からは、「大手企業が(実際に配慮)してられるかは別問題」とされ、アベノミクスが「経済の好循環」を生みだしているとはいえない。

いずれにしても、賃金や労働条件等の処遇改善は、政府が介入することによって、あくまでも労使によって決められていくものである。使用者側の「支払い能力論」や「業績の還元は一時金で」との流れに飲み込まれることなく、賃金は労働力の再生産費であり、

多岐に及ぶ併用・互換性のないこととする。また、公表等の内容については労働協約を締結する。

2015春闘の提出
①要求 2月12日も遅くとも3月5日
②春闘 3月16日
③集中 3月16日
④全国 3月20日
15春闘の3
①賃金水準
②地方財政
③格差是正を確立
2015春闘3
(1)公務員実質賃金向上
① ことあたりに
② 合意を前
臨時・処
(2)民間労働組合の
① 非正規
② 処遇改善

常勤職員の年度変わりによる雇用止め防止
2 雇用更新制限や雇用の空白期間の設定の廃止
処遇改善の取り組み
1 全単組でモデル要求の「最低到達条件」の実現
2 労働基準法や総務省通知を最低基準とした通勤手当(費用弁償)、時間外勤務手当の全額支払い、病欠休暇、忌引休暇など諸休暇制度の整備

春闘期の労使交渉で決定された地域の民間労働者の賃金相場は、公共サービス労働者の賃金に大きな影響を与えていることから、県本部は、地域組織・関係単組の共同の取り組みを進め、地域中小民間労働者の賃金引き上げ、大手企業との格差是正、労働諸条件改善をめざす。

政府は、アベノミクスが中小企業を苦境に追い込んでいる現状を踏まえ、12月16日の政労使会議において、「高収益の企業は、下請け企業に支払う価格についても配慮を求めたい」と申し出た。しかし、中小企業経営団体からは、「大手企業が(実際に配慮)してられるかは別問題」とされ、アベノミクスが「経済の好循環」を生みだしているとはいえない。

いずれにしても、賃金や労働条件等の処遇改善は、政府が介入することによって、あくまでも労使によって決められていくものである。使用者側の「支払い能力論」や「業績の還元は一時金で」との流れに飲み込まれることなく、賃金は労働力の再生産費であり、

策推進法をもとに過労死等の撲滅に向けた取り組みを行うとともに、「労働時間規制の緩和」に反対する社会的気運を高める。

「企業業績に対する配分ではない」との認識に立って、しっかりと賃上げを要求し、粘り強い交渉、納得のできる妥結をはかるために組織が「丸」となって15春闘をたたかていく。

【全国一般賃金要求基準】
①賃金カーブ維持分4.5%以上
②生活維持・向上3%以上
③7200円以上
④格差是正配分込みは正分18000円以上④パート労働者の時給引き上げ50円以上。

【公共民間労組統一基準】
春闘学習会(3月7日)に結集し、全単組で要求書提出を行う。職場内最低賃金(月額15万1800円以上、日額7590円以上、時間給980円以上)を協約化する。

【自治体連携単組】
公務員における「給与制度の総合的見直し」の影響を受ける形の賃金引き下げ防止【介護関係単組】
介護職員処遇改善分の反映【非正規パート職員】
正社員との均等措置として37円/h+2%(物価上昇+格差是正)の実施。

安倍政権の暴走をくい止めよう

5 政治活動の推進

昨年の衆議院議員選挙の結果は、民主党が73議席、社民党が2議席にとどまり、極めて厳しい結果といわざるを得ない。

与党が引き続き、衆議院の3分の2を超える326議席を確保し、自民党が単独で291議席を確保したことについて、深刻に受け止めなければならぬ。今後、安倍

政権が「選挙で信任を得た」として、労働法制の規制緩和や法人税減税など大企業優先の政策を推進し、原発再稼働や集団的自衛権行使の一部容認の安保法制など国民の多数が反対する政策、公務員人件費、地方交付税などの削減を、強硬に押し進めようとすることは明らかである。

安倍首相は総選挙後の会見において、「(集団的自衛権行使を容認した)閣議決定に基づき、切目のない安全保障法制を速やかに整備」すること等を明らかにした選挙公約に関し、有権者の理解が得られたとして、15年通常国会において関連法案の成立を期す考えを強調した。さらには、憲

6 平和・人権を守る取り組み

総選挙に先立って、11月に投票が行われた沖縄県知事選挙では、辺野古新基地建設反対の翁長前那覇市長が3選をめぐり仲井真知事を破り初当選。そして総選挙では全ての選挙区で普天間基地の県外移設を求める候補者が当選し、沖縄県民の意思は明確に示される形となった。しかし政府は、「立場は全く変わらず粛々と進める」と強気の姿勢を示し、辺野古での基地建設を強行している。

辺野古の現地では、平和と自然を守るため、まさに体を張ったたたかいが続けられていく。民意を踏みにじって軍事化を進めようとする政府を許さないたたかいを地域で実践していくことが求められる。現地が緊

追化する中、県本部として単組・ブロックからの運動強化と具体的な支援行動を追求し、連帯をはかる。

13年12月に強行採決された特定秘密保護法が、昨年12月10日に施行された。国民の知る権利を真っ向から否定するものであり、引き続き、法律の廃止を求めていく必要がある。

こうした動きに対して、戦争をさせない1000人委員会が発足し、兵庫でも

7 県本部4万人体制確立の取り組み

県本部は第193回中央委員会において「組織強化・拡大のための12年次推進計画」を策定し、12年7月から16年6月までの4年間を対象とし、「単組の強化」と「組織拡大」に総力をあげて取り組みを進めてきた。

しかし、一時の急激な減少はおさまらずあるものの基礎自治体正規職員の減少が続いており、14年6月

の調査では県本部組合員数は本部納入人員が初めて4万人を切る事態となっており大変厳しい状態といえる。

一方、政治をめぐる情勢は、昨年末の衆議院解散総選挙によって第3次安倍政権が発足するとともに、自治労を敵視する政治勢力の台頭により、自治労産別に

勢となっている。こうした中で、県本部4万人体制の維持は、組織的な影響力を発揮するためにも大変重要といえる。そのためにも県本部組織が総力をあげて組織強化・拡大を進めていかなければならない。

団塊の世代の退職はピークを越え、市町合併後の職員削減が止まりつつある。当然に組織すべき新採職員

統一自治体選組織内候補

- 【兵庫県議会】現職・垂水区
黒田 一美
- 【兵庫県議会】現職・神崎郡
上野ひでかず
- 【神戸市議会】現職・北区
伊藤 めぐみ
- 【芦屋市議会】現職
山口 みさえ
- 【明石市議会】現職
永井 俊作
- 【宝塚市議会】元職
梶川 みさお

新春クイズ 「青色発光ダイオード」

- 自治ひろこクロソワードクイズの解答は、「青色発光ダイオード」でした。応募総数は328人。当選者は次の通りです。
- 【商品券】
- 小畑 博史 (神戸市職労)
 - 横山 貴里 (尼崎市職労)
 - 郡 智代 (洲本市職労)
 - 塚原 小百合 (赤穂市職労)
 - 徳岡 泰 (丹波市職労)
 - 【図書カード】
 - 川見 宏美 (県職労)
 - 子安 和宣 (神戸市職労)
 - 大平 素子 (尼崎市職労)
 - 関 智子 (尼崎競艇労組)
 - 山井 孝行 (南あわじ市職労)
 - 土野ひさみ (加西調校労組)
 - 萩原 和真 (姫路市職)
 - 宮本 峰幸 (赤穂市職)
 - 高木 正和 (新温泉町職労)

㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	㊮	㊯	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	
キ	ン	タ	イ	フ	㊰	ト	ツ	㊱																		
ガ	イ	チ	ジ	キ	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿							
コ	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿											
シ	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿											
ウ	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿											
ア	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿											
ウ	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿											
ト	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿											

基本補償(標準型) + 特典・割引 = あんしん共済

特典をプラスして、さらに広がる安心!
家計にうれしい割引制度で、掛金がおトクに!

じちろう マイカー共済

自動車総合補償共済

カーライフを応援する、頼れる補償

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

自治労共済本部

全労連 全国労働者共済生活協同組合連合会

全労連 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治ひょうこ

1448号

2015. 3. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 5日 県本部春闘地域宣伝行動(テッシュ配布行動) 全労済県支部単組共済担当役員学習会(全労済)
- 7日 連合兵庫官公部門決起集会-県本部2015春闘総決起集会(神戸・東遊園地) 県青年女性団結集会(県民会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920 http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

「見直し」交渉強化、春闘方針

明石 公災認定支援を確認

県本部第197回中央委

県本部は2月10日、神戸市内で第197回中央委員会を開き、「14現業公企闘争中間総括」「15春闘方針及び当面の闘争方針」など、6本の議案を提起、承認された。明石の環境局職員が阪神大震災時の業務が原因で中皮腫を発症したとする公務災害認定闘争では、遺族から「公務外とした基金支部の認定は納得できない」との訴えがあり、県本部として運動を支えることを確認した。

閉会あいさつで森蔭守委の賃金を求めてきた私たちが、は、「総合的見直し」の産別運動への攻撃。生活は、どこで働いても同水準 実態を基本にした春闘を精



春闘方針を提起する尾西書記長

いっばいたたかおう」と述べた。現実「公企闘争総括、春闘方針の他」「14確定一時金闘争中間総括」「15年度一般会計特別会計補正予算」「第18回統一自治体選挙の推進」「執行委員の交代」の6議案が執行部から提起された。

中央委員からは、「基金支部の『公務外認定』は不服。認定闘争をたたかう態勢を整えるため、3月には支える会を結成する」「(明石)、『非正規の処遇改善に

向け、今春闘では連合を巻き込んだ取り組みを行って

いる。県内運動では非正規の組織化が課題。協力を」「(明給労)県本部臨職評、「公契約条例が3月議会で成立予定。政治闘争を頑張る」「(加西)、「補正予算の詳しい説明を」「見直し」や人事評価制度で取り組んでいる。県本部には、振興課の見解や県内の情報発信してほしい」「(高砂)との発言があった。

執行部は、「運動支援をする」「単組が孤立しないよう、情報発信、交流を行う」と答弁を行った。中央委員会には、4月に統一自治体選挙をたたかう組織内候補予定者、5月の加西市長選挙を控えた組織内の西村和乎市長がかけつけ、連帯して運動を強化する決意を述べた。

要求書のつくり方 交渉のノウハウ学ぶ

青年女性15春闘討論集会



グループで模擬交渉の準備。女性グループは実態討論から要求内容を絞り込み要求書にまとめた。その後、青年女性部3役員が当局役となり交渉を実施した。当局側が財政難を理由に人員配置の要求に応じられないと回答すると、財政難をつくり出した責任を追及す

るなど、当局を追い詰める場面も見られた。一方、実態に基づかないこと、要求に自分の本音が盛り込まれないと当局から簡単に押し込まれることも明らかとなり、改めて実態に基づく討論要求が重要であることが分かった。

藤原潤子女性部長がまともな働き、藤原敏也青年部長の団結ガンバローで終了した。

合理化セットで紛糾 「見直し」第2波

県職労 人員交渉 技術継承の執行体制確認

県職労の人員・職場要求闘争は、12月から各職能協

「人員配置、超勤業務縮減」では、技術継承や将来不安の声も踏まえた執行体制を構築すると確認した。

「公務上の訴訟負担の軽減」では、訴訟等支援チームを設置して対応するとし、具体的には弁護士を紹介、訴訟遂行に係る助言、裁判資

料作成の支援などを行うとした。この他にも、各庁舎の整備や非正規職員の処遇改善でも前進回答が示され交渉に区切りをつけた。

「見直し」で6日行動配置。県本部は2月6日、給与制度の総合的見直しの第2波統一行動を配置、単組によつては、その後も断続的に交渉を継続した。

阪淡ブロックでは、淡路3市、猪名川が人動どおりで妥結。伊丹は昇給延伸を復元させる一方、国を上回る引き下げ率となった。

播磨では、加古川が現給保障の取り扱いに同意。たらず、高砂は給与改定と地域手当引き上げを切り離そうとする当局の姿勢を正した。

4級50歳、25年勤続 調整額3万2500円

2月13日退職手当調整額の改定等について、県本部退職手当共済会議は退職手当組合(19市12町)と交渉を行った(2月23日退職手当組合協議会提案)。

であることに関連し、06年3月27日付確認書の以下の履行を条件に合意した。第6号区分(現行2万5000円)において、国公基準(5級)より上乗せ(50歳かつ勤続25年を条件として、国公4級在職者を対象)で労使合意しているにも関わらず、国公どおりとして構成市町が受け止めている事例(確認書は参考)が判明したことから再度の確認書の履行を条件とした。

いまいち度

助けて!!

非正規労働者

大西 英剛 (兵庫県職労)

15春闘討論集会 分科会報告 ①

「改正地公法の取り組み」
 昨年の地公法改正に伴い、評価制度が義務付けられたことから、それらに対する取り組み方針や単組の取り組みを交流することを目的に討論を深めた。

はじめに座長の尾西亮太郎書記長が「16年4月に向け各単組で評価制度の正式導入や、級別定数の公表に関し取り組みが重要な時期をむかえる。問題点を把握し、交渉を強化しよう」と課題を説明。その後、自治労本部の森本正宏労働条件局長から改正地公法に関し、単組での取り組みポイントの説明を受けた。

当局から人事評価制度

「公務員賃金の確立に向けて」
 19人が参加し、15年4月から実施される「給与制度の総合の見直し」による、賃金水準引き上げに対して議論を行った。

15春闘の動向も踏まえながら、15春闘期までを闘争期間とした取り組みを進めようというメッセージを通じた確認した。

参加者全員より、各単組の14確定の取り組みと第2波の取り組みの報告を受け、それぞれ単組の課題を共有しつつ座長の服部圭司副委員長の助言を受けた。各単組の交渉過程の中で、県職の交渉状況や周辺自治体の状況が影響する傾向がみられ、但丹ブロックで

熱心に講演を聞く参加者



能力で賃金決めていいのか 人事評価を目前に控え学習

県本部は15春闘討論集会を2月11日、共済会館で開催し33単組90人が参加した。自治体職場への人事評価制度導入が目前と迫る中、労働問題研究会の津和崇代表を講師に、「成果主義を根底から問う」をテーマに提起を受けた。また4つの分科会も行った。開会にあたって森蔭守委

労組が賃金に 関与を 課題別に分科会も実施

15春闘 討論集会

員長は、「安倍首相のトリクルダウンではなく、生活から賃金を求めていかなければならない」と春闘の意義を強調した。

「まずは全体像をつかむことが大切」と切り出した津和さんは、先進国の経済は成熟段階に入っており、高成長は不可能。低成長時代に入っている、と述べた。

組織内議員の紹介 ⑤ 明石市議員 永井俊作さん



組合役員時代はどんな活動を？
 組合役員歴は約20年。明石市職の書記長や委員長の時、は、現業差別賃金撤廃や、ヘルパーや臨時調理員の労組結成、正規職員化等に取り組んだ。

議員活動の柱は？
 人員削減と民間委託の「行革」に反対し、福祉・教育・医療の拡

「見直し」の取り組み交流
 は官民格差と制度見直しの切り離しはできなかつたものの、1号抑制は阻止できた。阪淡ブロックでは切り離しはできたものの、新たな合理化案の提示、播磨ブロックでは独自カットとの兼ね合いや、地域手当の対応などの報告があった。

この確定期において、闘争サイクルの確立のために交渉参加者と書面協定ができていないかどうかの約7単組ができていたが、議会対策のためにしない単組もあった。

「シンプルバック」が登場

共済 非正規の福利厚生に
 共済連携シナジー化組は、臨時・非常勤共済員を取り入れた。4月からは、臨時・非常勤共済員が、単組単位で加入し、福利厚生も取り入れる。

「シンプルバック」は、全労連のバックアップから、15年4月開始する。県本部は、単組単位で加入し、福利厚生も取り入れる。

証拠リスト開示 再審へ大きな一歩

狭山事件は再審での証拠開示の重要性から、弁護士は証拠物の一覧表の開示を求めた。

東京高等検察庁（高検）は1月22日、高検にある279点の証拠物の名前と数量を記載した一覧表を開示した。これにより証拠物の名前がわかるが、内容や経緯が不明のももあり、弁護士は23日の東京高裁高



じちろう
マイカー共済
 カーライフを応援する、頼れる補償

詳しくは組合までお問い合わせください
自治労共済本部
全日本自治労連 兵庫県本部

特典をプラスして、さらに広がる安心!
 家計にうれしい割引制度で、掛金がおトクに!

自治ひょうこ

1449号

2015. 3. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 21日 県本部病院集会(姫路市民会館)
- 23日 県本部公営競技評2015春闘学習会(尼崎)
- 30日 2015年度第7回執行委員会(県本部)
- 4日 2015障害者春闘(県民会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



政治活動の大切さを説明する西岡書記次長

播磨ブロック神崎郡連が、統一自治体選挙を前に、役員等を対象に政治学

神崎郡連学習会

政治活動禁止は誤り 地公法の制限は地位利用

習会を開催し約40人が参加した。大阪市などが、不当にも政治活動を制限する条例を制定したことで、マスコミなどでは「公務員は選挙運動が禁止」と誤った報道を

野英一候補の必勝に向けて全力をあげようと訴えた。また、「告示後に地公法で制限を受けるのは、あくまで勤務先の自治体での選挙運動であり、友人や知人に働きかけることまで制限してはいない。工夫すればできることは多くある」と説明した。

「総合的見直し」交渉は継続。阪大ブロックでは、三田は積み上げてきた賃金表と地域手当引き上げ、猪名川は現業の号給継ぎ足しと地域手当引き上げ、淡路広域水労は合理化を継続、宝塚は平均△2.6%、地域手当引き上げ、合理化は継続で妥結した。

播磨ブロックでは、古川は再交渉で今後、現給保障は継続協議、三木は現給保障の年限は継続協議および独自の給与制度見直し阻止で取り組み継続、高砂は地域手当支給率と4級分割を見送り、地域手当は継続、姫路は現給保障は2年半後に再協議、赤穂は地域手当引き上げと行政職・技労職とも号給継ぎ足しを確認、現給保障は終期を設け3年後に再協議となった。

私たちの声を届けよう

統一自治体選 組織内候補の勝利めざす



黒田一美さん

兵庫県議会・垂水



上野ひでかずさん

兵庫県議会・神崎



伊藤めぐみさん

神戸市議会



永井俊作さん

明石市議会



山口みさえさん

芦屋市議会



梶川みさおさん

宝塚市議会

今年統一自治体選挙。4月12日には前半戦(兵庫県会、神戸市議会、26日には後半戦)が実施される。県本部は6人の組織内候補を確認し、勝利に向け全力をあげている。組織内、推薦候補の詳細はネットワーク情報に掲載

不当な圧力に抗する 大阪の取り組みに学ぶ

現業闘争交流会

県本部現業評議会は2月20日、いこいの村はりまにおいて現業闘争2015交流会を開催した。長谷川現評議長は、「現業職場は、市民に直結しており安心・安全な市民サービスを提供するために直営堅持は守っていかたい。新規採用についても、粘り強く交渉を続けてもらいたい」とあいさつ。



あいさつを行う長谷川さん

総合的見直し 粘り強く交渉

2・6統一行動以降も、「総合的見直し」交渉は継続。阪大ブロックでは、三田は積み上げてきた賃金表と地域手当引き上げ、猪名川は現業の号給継ぎ足しと地域手当引き上げ、淡路広域水労は合理化を継続、宝塚は平均△2.6%、地域手当引き上げ、合理化は継続で妥結した。

県本部推せん候補(県内)

名前	議会名	選挙区
前田 朋己	兵庫県議会	東灘区
石井健一郎	兵庫県議会	灘区
小池ひろのり	兵庫県議会	中央区
向山 好一	兵庫県議会	北区
山井 秀武	兵庫県議会	西区
山本 千恵	兵庫県議会	伊丹市
越田謙治郎	兵庫県議会	川西市 猪名川町
奥野 尚美	兵庫県議会	西宮市
池田 啓子	兵庫県議会	三田市
岸口 実	兵庫県議会	明石市
迎山 志保	兵庫県議会	加古川
団 秀樹	神戸市議会	東灘区
永江 一之	神戸市議会	灘区
平木 博美	神戸市議会	中央区
池田林太郎	神戸市議会	北区
崎元 祐治	神戸市議会	須磨区
藤原 武光	神戸市議会	垂水区
川内 清尚	神戸市議会	垂水区
岩田 嘉晃	神戸市議会	西区
重点候補		
西村 政明	伊丹市議会	
川上 八郎	伊丹市議会	
岩下 彰	西宮市議会	
石堂 大輔	姫路市議会	
古田ひろあき	三木市議会	

兵庫の批准率向上

自治労は2月26日の拡大闘争委員会で、スト批准投票の結果が74.44%であり、ストライキ体制と闘争指令権の確立を宣言した。兵庫の批准率は、74.63%と昨年を3.17ポイント上回った。攻撃が厳しくなる中、自治労に團結してたたかおう。

	2015年	2014年
全国	74.44%	73.94%
兵庫	74.63%	71.46%

いまいち屋
おやすみ漫

しこう

春先になると、花粉症で鼻がきかなくなる。思えば、いろいろ便利になって街や生活の中から「におい」が消えていつているような気がする。▼駅のトイレは、便器は自動水洗になり、手洗いはセンサーで水が出てくる。エアードライヤーも、床もキレイになり、においもほとんどしない。便所という言葉も似合わない。ウォシュレットに驚いていた祖母は、湿布薬と線香、タンスの防虫剤のにおいがした。▼酒やタバコ、汗のにおいのする小うるさいオジサンも少なくなった。深酒するほどの余裕がなくなつて、家でフアブリーズでもかけられていないか心配だ。▼3月は、津波の被災地の磯の香りに混じったへドロのよなにおいを感じる。映像や写真では伝わらない現実を嗅いだ。あのおい、消えただろうか。においの後の街はどうなつたのだろうか。あのおいだけは忘れないようにしたい。

15春闘 井戸知事へ申し入れ

交付税使った介入排除 自律的労使関係、地方創生

県本部は3月6日、井戸兵庫県知事に対し春闘期の申し入れを行った。県本部は、「給与制度の総合的見直しについては、国は配分の見直しに過ぎないが、地方では給与水準の引き下げに利用されている。特に交付税を背景にした国からの圧力は、地方へ



井戸知事へ春闘要求書を渡す森蔭委員長(左)連合兵庫春闘総決起集会

2015春闘 分科会報告②

臨職 雇用、処遇改善・組織化を議論

増え続ける臨時・非常勤職員等(以下、非正規)の処遇改善と組織化について議論した。各自治体で非正規が増大し、正規職員の人員確保と並行して非正規の処遇改善、雇用確保の対策が求められている。そんな各職場の現状を報告しあった。報告では豊岡病院労組から臨職評議会の65歳までの雇用延



報告する豊岡病院

組織内候補の紹介⑥

宝塚市会議員 元職 梶川 みさおさん



宝塚市職労は約40年、組織内議員を選出して活動してきた。全国に先駆けて嘱託職員の退職金制度を確立したとき私は執行委員だったが、組織内議員の大切さを実感した。私が委員長の時、古谷議員が退任、後継者の決意をしたのも単組での経験があったから。

神戸市職労が連覇 準優勝は姫路市職

第10回県本部卓球大会



12チームが熱戦を繰り広げた

決勝は、連覇をめざす神戸市職労と2年ぶりの優勝をめざす姫路市職との戦いになり、神戸市職労が接戦を勝ち抜き連覇した。第3位六栗市職労、第4位神戸市従となった。

第10回県本部卓球大会は、2月28日、南あわじ市三原健康広場で南あわじ市職労が行われた。決勝は、連覇をめざす神戸市職労と2年ぶりの優勝をめざす姫路市職との戦いになり、神戸市職労が接戦を勝ち抜き連覇した。第3位六栗市職労、第4位神戸市従となった。

じちろう マイカー共済

カーライフを応援する、頼れる補償

Advertisement for 'My Car Mutual Insurance' (マイカー共済) featuring cartoon characters and text: '基本補償(標準型) + 特約・割引 = あんしん 共済'. It highlights '安心' (peace of mind) and '掛金がおトク!' (premiums are a benefit!).

詳しくは組合までお問い合わせください 自治労共済本部

自治ひょうこ

1450号

2015. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

当面の日程

- 4日 障害者春闘2015 (県民会館)
- 12日 県会・神戸市会選投票日
- 26日 各市議選投票日
- 29日 第86回兵庫県メーデー (大倉山公園野球場)
- 3日 憲法68年 53兵庫憲法集会 (神戸勤労会館)

県交渉に挑む県本部メンバー① 中央行動で人事院交渉を支援



県本部 振興課交渉

拙速な人事評価導入助言するな 「組合・職員への周知と理解は重要」

民間先行 定昇込みで7497円、2.43% 組合回答 連合 中小、非正規・未組織に広げる

2015春闘

県本部は3月18日、県市町振興課と交渉。公務員連絡会は中央交渉で組合の意見を聞く姿勢を確認、人勤期に向け態勢を継続強化していく。先行組合は平均7497円、2.43% (昨年比1006円、0.27%増) の回答。連合は中小、非正規・未組織に確実に広げていくたかを強める。

県本部は3月18日、県市町振興課と春闘期の交渉を行った。

県本部は、今年度の大きな課題である「給与制度の総合の見直し」については、3団体が制度導入を見送っており、労使の自主交渉を尊重し安易に制度導入について助言しないよう求めた。

市町振興課は、また結果を正確に把握しておらず、

国、県、地域の状況を踏まえて対応されるものと考えたとの回答に留まった。

また、地域手当について一部自治体で国と異なる不適切な運用がなされていることについては、正すよう申し入れた。

地公法改正による人事評価制度について、管理運営事項にこだわっているのは、導入は難しいとの指摘に対応

人事院 意見聞く姿勢を確認

大臣交渉

公務員連絡会は賃上げ、超勤削減、定年延長、臨職の処遇改善などを求めて中央行動交渉を重ね、3月24日に一宮人事院総裁、有村国家公務員制度担当大臣と春闘期最終交渉を行った。

交渉で人事院総裁は①賃金等は、情勢適応の原則に基づき、必要な勧告を行う②より実効性のある超勤削減策を検討する③臨職給与の適正かつ円滑な運用に取

り組み、休暇について検討していく④雇用と年金の接続は適切な制度が整備されるよう必要な対応を行う、と回答した。また、有村大臣は①15年度賃金は、組合の意見を聞く②臨職の処遇改善は、組合の意見を聞きながら検討していく③超勤削減を含む「働き方改革」を進める④再任用を着実に推進し、定年の引き上げを含め速やかに検討する⑤公

交流 職場訪問で 団結の重要性学ぶ

各評議会が春闘学習

15春闘の取り組みを強めようと、各評議会が学習や交流会が行われた。

青年部・女性部は3月7日、第38回団結集会を実施。全港湾山陽バス分会の仲間から、合理化で進む職場環境破壊と、それに抗するた

めには団結が必要との問題提起を受けた。分散会では、同僚、公共民間協も学習など、職場実態を交流した。

ネットワーク情報の案内。衛生医療評の対県交渉、病院集会を掲載しています。

なぜ死ななければならなかったのか

明石 鳥谷さん支える会結成

3月16日、明石市において、鳥谷さんの公務災害認定闘争を支える会設立総会が開催された。開会にあたり、大岡久典明石市労連議長＝写真は、「中皮腫発症の



原因は公務にあると確信している。認定闘争の結果を必要なら補償を届けるまでやりきると決意を述べた。続いて経過報告、会則と世話人体制の提案があり、確認された。遺族である鳥谷さんは、「夫がなぜ中皮腫になっただけで死ななければならなかったのか、夫の代わりに見極めたいと思う。これまで以上に協力をお願いしたい」と訴えた。

今年私たちが老後にとって重要なことが起きる。それは年金制度が大きく変わる。若い方たちには「年金」でまだ実感が無いと思うが、私もあまり関心が無かった。しかし、アラフィフともなると意識しはじめてざるを得ない。今年の10月から厚生年金と共済年金が統合され、職域部分が廃止される。その分「年金払い退職給付」が創設されるのでそんなに変わらないといわれているが、その反面ますます公務員パッシングが強まる可能性がある。兵庫県内の75歳以上は12.3%で、65歳以上になると26.3%だが、年々約5万人増加しており、年金支給年齢が引き上がるか、支給額が引き下がるか、そうとうな年金も同じというわけにもいかない。4階立て部分を自分で若いうちから確保しておいたほうがよかったが、今からでもお小遣いの一部をそっちにまわそうか。

いまいち庶

この世界の常識?



吉田ノボ

しこう

今年私たちが老後にとって重要なことが起きる。それは年金制度が大きく変わる。若い方たちには「年金」でまだ実感が無いと思うが、私もあまり関心が無かった。しかし、アラフィフともなると意識しはじめてざるを得ない。今年の10月から厚生年金と共済年金が統合され、職域部分が廃止される。その分「年金払い退職給付」が創設されるのでそんなに変わらないといわれているが、その反面ますます公務員パッシングが強まる可能性がある。兵庫

カンボジア寺子屋を訪問



支援した文具で勉強する子どもたち

県本部では60周年記念事業として、自治労がつくったNGOエフアジヤパンを通じてカンボジアの寺子屋に文具を今年から3年かけて支援している。1回目の文具配布を行ったことを機に、3月9日に尾西亮太郎書記長と藤原敏也青年部長が現地を訪問した。前日夜、空港近くのホテルに到着。翌日3時間かけて現地入りした。2人の宿泊した市街地からは200

支援した文具で勉強 子どもたちの教育環境充実を

場所によっては壁もない決していいとはいえない学習環境の中でも、みんな支援した文具を利用して、先生の板書を書き写すなどして一生懸命勉強していた。県本部の2人があいさつすると子どもたちは元気なこたえ、歓迎の歌を披露した。すぐに打ち解けることができ、短時間ではあったが楽しい時間を過ごすことができた。

2015春闘討論集会 分科会報告③

町職単組の運動強化を主眼において分科会を実施し、9単組の代表者が出席し議論した。分科会の冒頭、町職連協議長・事務局局長を歴任した森藤守原本部長委員より、これまでの町村会統一交渉に至る町職連協の歩みについて説明を受けた。町村会統一交渉は1961年にはじまり、全国でも唯一だったが「平成の大合併」により45年の歴史を終焉した。歴史がある。



この統一交渉により「労則」を確認し、賃金労働条件の最低基準として各町の水準引き上げを実現してきた。背景には全組合員署名など多くの取り組みに支えられてきた。歴史がある。

町村会交渉教訓に 運動の課題を交流

分科会では、統一交渉再開に向けて、まずは現状把握をするため、各単組の交渉状況や取り組み課題を交流した。単組独自でアンケートやオルグを通じて独自要求を作成し、交渉実施をしている単組が多いことが改めて確認できた。

おわり

4月12日前半戦、26日後半戦



黒田一美さん

上野ひでかずさん

兵庫県議会・垂水

兵庫県議会・神崎



伊藤めぐみさん

永井俊作さん

神戸市議会 (北区)

明石市議会



山口みさえさん

梶川みさおさん

芦屋市議会

宝塚市議会

統一自治体選挙で県本部は6人の組織内候補の勝利をめざしている。厳しい政治情勢だからこそ、私たちの代表を何としても届けなければならない。

統一自治体選挙で 私たちの声を届けよう

兵庫県内の推せん候補				大阪府内各種選挙の推せん候補			
名前	議会名・選挙区	名前	議会名・選挙区	名前	議会名・選挙区	名前	議会名・選挙区
山向 好一	兵庫県議会 北区	池田 林太郎	神戸市議会 北区	森 みどり	大阪府議会	茨木市	
石井 秀武	兵庫県議会 西区	崎元 祐治	神戸市議会 須磨区	吉田やすぞう	大阪府議会	高槻市・三島郡島本町	
山本 千恵	兵庫県議会 伊丹市	藤原 武光	神戸市議会 垂水区	※組織内候補 前田 佳嗣	大阪府議会	箕面・豊能郡	
越田 謙治郎	兵庫県議会 川西市 猪名川町	川内 清尚	神戸市議会 垂水区	白岩 正三	大阪府議会	豊中市	
奥野 尚美	兵庫県議会 西宮市	岩田 嘉晃	神戸市議会 西区	濱田 剛史	高槻市長		
池田 啓子	兵庫県議会 三田市	※重点候補 西村 政明	伊丹市議会	※組織内候補 中浜みのる	高槻市議会		
岸口 実	兵庫県議会 明石市	川上 八郎	伊丹市議会	木村 裕	吹田市議会		
迎山 志保	兵庫県議会 加古川	岩下 彰	西宮市議会	※組織内候補 中野 修	豊中市議会		
団 秀樹	神戸市議会 東灘区	石堂 大輔	姫路市議会	※組織内候補 酒井 弘行	豊中市議会		
永江 一之	神戸市議会 灘区	古田ひろあき	三木市議会				
平本 博美	神戸市議会 中央区						

公務員賠償責任保険制度

自治労共済生協の (公務員賠償責任保険、医師賠償責任保険)

地方公務員の訴訟リスクは、ますます高まっています。

◆保険料・補償内容(支払総額)

種類	タイプS(1万円)	タイプA(5,000円)	タイプB(5,000円)	タイプC(3,000円)
年費保険料	7,440円	6,240円	5,040円	3,840円
法律上の損害賠償金および弁護士費用	3億円	1億円	5,000万円	3,000万円
訴訟対応費用	500万円			
初級対応費用	500万円			

2013年度制度改定のお知らせ

- 国民生活保障請求による賠償請求(裁判所の決定)
- 地方自治法243条の2第1項による賠償請求
- 国家賠償法2条2項による賠償請求(行政訴訟)
- 裁判官の賠償請求(裁判官の賠償責任)
- 裁判官の賠償請求(裁判官の賠償責任)
- 裁判官の賠償請求(裁判官の賠償責任)

◆加入対象者
加入対象者は自治労共済生協組合員かつ地方公共団体または特定地方独立行政法人(公務員型)に所属する職員(特別職、教育、警察職)に限ります。市町村職は加入できません。(「知事・副知事・市長・副市長・議員」以外の特別職は各該代理店または引受保険会社までお問い合わせください。)

◆加入期間
2013年10月1日午後4時～
2014年10月1日午後4時まで

◆加入受付期日
2013年9月13日(金)

お問い合わせ先
株式会社 自治労共済生協 0120-786-756

自治ひょうこ

1451号

2015. 4. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

当面の日程

- 26日 統一自治体選後半戦投票日
- 3日 憲法68年 5.3兵庫憲法集会 (神戸市勤労会館)
- 8~9日 県本部書記会議研修会 (豊岡ブルーリッジホテル)
- 9~10日 県本部青年女性反合理化交流集会 (新たんば荘)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

統一自治体選・前半戦

後半戦
26日投票

山口、梶川、永井の必勝を

県会黒田、上野が当選

12日投票の統一自治体選前半戦、県本部組織内3候補は県会の黒田一美、上野ひでかずは当選を果たしたが、神戸市会の伊藤めぐみは次点で惜敗した。続く26日の後半戦、山口みさえ(芦屋市会)、梶川みさお(宝塚市会)、永井俊作(明石市会)の組織内3候補と推せん候補に全力を。私たちの声を届けるために。

公共サービスの維持、拡充と地方自治を守り、安倍政権の暴走を食い止め、平和を守る統一自治体選。前半戦では県本部組織内3候補をはじめ推薦候補は



花束を抱えて喜ぶ黒田さん(左)支援者と当選を祝う上野さん(写真右)

黒田一美(垂水区)は、5党と元職の6人立候補の混戦、1万5412票を獲得して5期目の当選。

上野ひでかず(神崎郡)は、1万2212票を獲得し1人区で自民党との対決を制して3選を果たした。神戸市会では伊藤めぐみ

当	県会(垂水区)	15,412票
当	黒田一美(神崎郡)	12,212票
次	上野英一(北区)	3,884票
	神戸市会	伊藤めぐみ

欠員、超勤の職場討議を

人員確保
男女平等

6月5日統一行動日

県本部は、2015年人員確保男女平等等差別闘争について、6月5日に統一行動(1時間ストライキ)を配置してたたかいを進める。また、夏季一時金闘争

多様化する行政ニーズや業務量の増加に十分対応できない実態や、高まる社会保障のニーズなど必要な人員確保増員が求められている。人員確保闘争は、4月の人員配置を踏まえた職場実態の点検、6月から7月の新規採用の公募時期を考慮し、5月上旬に要求書を提出し、6月5日を統一行動日として取り組みを進めていく。

お詫びと訂正

しこう

桜前線の北上が、毎日放送されている。横目で見ながら、週末は花見に行こう、と思いつく季節。春の明らかな汗ばむ日差しと、満開の桜だけでなく、町中に色々々花が咲いている。そして駅や町中で見かけるスーツ姿も初々しい新社会人。毎日仕事に追われる自分を見つめ自嘲気味になる。▼これから1日1日と仕事を覚えるのみ込み、こなし度に行ける自信と引き換えに、その輝きがなくなるのだろうか。自信ができて

働きやすい職場環境を

2015反行革・組織集会を加西で開催

とき 5月22日(金)~23日(土)

ところ いこいの村はりま

1日目	講演 自治労本部 川本書記長 全労済自治労共済本部からの提起 基調提起
分散会	
2日目	分科会
A)	単組強化の課題
B)	組織拡大にむけた課題
C)	反行革・人員確保
D)	共済推進活動

後半戦は4月26日投票



永井俊作さん
明石市議会選



山口みさえさん
芦屋市議会選



梶川みさおさん
宝塚市議会選

兵庫県内の推せん候補

名前	議会名・選挙区
※重点候補 西村 政明	伊丹市議会
川上 八郎	伊丹市議会
岩下 彰	西宮市議会
石堂 大輔	姫路市議会
古田 ひろあき	三木市議会

大阪府内の推せん候補

濱田 剛史	高槻市長
※組織内候補 中浜 みのる	高槻市議会
木村 裕	吹田市議会
※組織内候補 中野 修	豊中市議会
※組織内候補 酒井 弘行	豊中市議会



5月10日告示、17日投票日で行われる加西市長選挙で県本部は、2期目をめざす。5月17日市長選挙

西村市長と加西の未来をつくりあげよう

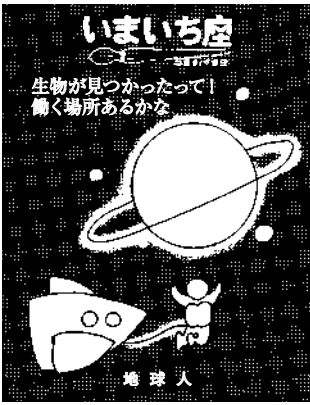
す現職組織内の西村和乎市長を推せんし、当選に向けて取り組みを進めている。

男女平等闘争

ワークライフバランスの

あつた西村市長は4年前、市民職員不在の市政の転換を求め、「ふるさと加西」の再生に向け立候補、見事に当選を果たした。西村市長の再選で加西市の未来を市民とともに作りあげていこう。

も謙虚さはほしいものだ。安倍さん、あなたも新人の頃はあつたよね。世界で一番企業が活動しやすい国? それって労働者の犠牲の上に成り立っているんじゃないの。労働法改悪や集団的自衛権、沖縄新基地建設の強行など安倍政権は暴走を続けている。▼自信満々よく分かるが、新人の頃の謙虚さを、思い出してほしいものだ。桜はすぐ散るから。◎





カンボジアのシムリアップは古代文明と日本の昭和初期の雰囲気と活気にあふれた町でした。車で3時間ほど走ったタイとの国境地帯は電気も水道もない街が広がっており、その中に学校が建てられていました。壁も下駄箱もない(裸足の子どもも多数)教室で元気に勉強をしている子どもたちを見てみると逆にとっても元気ももらうことができました。

カンボジアに行くのも不安になる世界情勢ではあるが、子どもたちの輝く目を見てみると救われます。このような子どもたちをどんどん増やすことができれば

今回初めての海外で、しかもカンボジアということ、今まで経験したことのないことはかりでした。まづ、着いたシムリアップの街はバイクの多さに驚きました。宿泊していたホテルはとて大きくきれいで、近くにはショッピングセンターやコンビニ等もあり、滞在中も不自由なく暮らしていました。一方で今視

察した寺子屋には電気も水道もなく、そして、場所によっては壁もない高床式の住居の床下を使って授業をしていました。わずか200

「自分だけではできないことも、団結すれば何でもできる気がする。さあ、繋がる。1人はみんなのために、みんなは1人のために」(洲本市職労Oさん)

「人と接するときはいつも最初がいいところから見えてみる。(バイイナス)」私が以前、研修で出会った言葉です。新たな出会いに感謝して、お互いを思い

「組合って何? と思うかも

「若さがあればなんでもできるーやればわかるさー!」(神戸交通労組Iさん)

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」



子どもたちの自撮機能でスマホの自撮機能で子どもたちと楽しんだ

「若さがあればなんでもできるーやればわかるさー!」(神戸交通労組Iさん)

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

支援の輪を広げたい 尾西亮太郎・書記長

戦争なんて起こるはずもありません。エフアジバンのような海外支援の重要性は、子どもたちを救うことが国を救うことになり、世界平和へ

「若さがあればなんでもできるーやればわかるさー!」(神戸交通労組Iさん)

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」



集会で職場実態を交流

「若さがあればなんでもできるーやればわかるさー!」(神戸交通労組Iさん)

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

先輩組合員から 歓迎のメッセージ

「自分だけではできないことも、団結すれば何でもできる気がする。さあ、繋がる。1人はみんなのために、みんなは1人のために」(洲本市職労Oさん)

「人と接するときはいつも最初がいいところから見えてみる。(バイイナス)」私が以前、研修で出会った言葉です。新たな出会いに感謝して、お互いを思い

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

教育とは楽しいもの 藤原敏也・青年部長

「若さがあればなんでもできるーやればわかるさー!」(神戸交通労組Iさん)

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

「7月に1泊で交流会を開催」

就労支援の 現状と課題学ぶ 障害者春闘2015

4月4日神戸で「県下の障害者の雇用現状・雇用における差別解消の課題」をテーマに「障害者春闘2015」が開催された。



学習の後はデモを行った

新入組合員のみなさん自治労へようこそ

「自分だけではできないことも、団結すれば何でもできる気がする。さあ、繋がる。1人はみんなのために、みんなは1人のために」(洲本市職労Oさん)

「人と接するときはいつも最初がいいところから見えてみる。(バイイナス)」私が以前、研修で出会った言葉です。新たな出会いに感謝して、お互いを思い

「6月にブロック内4カ所で地域別学習会を開催」

基本補償(標準型) + 特約・割引 = あんしん 共済

特約をプラスして、さらに広がる安心!
家計にうれしい割引制度で、掛金がおトクに!

じちろう
マイカー共済
カーライフを応援する、頼れる補償

詳しくは組合までお問い合わせください
自治労共済本部

自治ひょうこ

1452号

2015. 5. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

22～23日 県本部反行革・組織集會

(いこいの村はりま)

28～29日 自治労第149回中央委員会(盛岡)

30日 人権教育ひょうこ第18回総会(ラッセホール)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

憲法の3原則取り戻そう 許すな壊憲国民投票

5・3兵庫憲法集會に450人

「憲法集會」が神戸で「戦後70年。今こそ9条1項許すな壊憲国民投票」をテーマに450人の参加で開かれた。「70年前に戻そう」という権力に反対し、憲法の基本3原則(恒久平和、基本的人権の尊重、主権在民)を取り戻そう、事務局長の提起「憲法を守る、地域に訴える、一人ひとりが考えよ

う、戦争の動きに反対して「いこう」の後、屋良朝博、沖縄タイムズ元記者の講演を受けた。



屋良さんは、「沖縄の米軍基地は本土での反基地運動によりおられなくなつて、銃剣とブルドーザーで家を

米軍基地の現状から「抑止力にはならない」と強調する屋良さん
押し倒してつくつた「沖縄米軍の主力は海兵隊(兵力の6割基地面積の75%)海兵隊は沖縄でなくとも機能する、日本駐留の必要性はない、抑止力は虚構」と強調、辺野古基地建設反対、集団的自衛権反対の取り組み強化を訴えた。

続いて県弁護士会から「6・21大集會」の訴え、「生涯派遣、8時間労働制破壊の労働法制改悪は生存権の否定」(ヘイトスピーチを許さないため自分のこととして抗議行動「朝鮮学校への高校無償化適用を求める朝鮮高校生への思い」の報告を受け「集会アピール」を採択、終了後はデモ行進し「許すな壊憲国民投票」と訴えた。

振り返りを喜ぶ梶川さん(左)と支援者から花束を受け取る永井さん



組織内候補の結果
梶川みさお・宝塚市議選 2219票 (17位・当選)
山口みさえ・芦屋市議選 995票 (22位・次点)
永井俊作・明石市議選 3484票 (11位・当選)

梶川さんは、前回の悔しい結果をばねに、「暮らせる、育てる、働ける」をスローガンに、地元自治会や推せん労組員への支持拡大に努め勝利を手にした。宝塚も維新が増えたが、梶川さんの中川市政を支え市民生活を守る議会活動に期待する。
永井さんは、後援会活動を積極的に取り組むとともに、地域の労働組合や所属政党の支援で支持者を拡大、地域への浸透をはかる

2015年版

戦争をさせない全国署名



集団的自衛権、戦争法案に反対!

1人5筆
第1次集約 5月15日

続いて県弁護士会から「6・21大集會」の訴え、「生涯派遣、8時間労働制破壊の労働法制改悪は生存権の否定」(ヘイトスピーチを許さないため自分のこととして抗議行動「朝鮮学校への高校無償化適用を求める朝鮮高校生への思い」の報告を受け「集会アピール」を採択、終了後はデモ行進し「許すな壊憲国民投票」と訴えた。

念を確認したい。(誠)

統一自治体選・後半戦

梶川 振り返り咲き、永井6選

山口は惜しくも次点に

4月26日投開票で実施された統一自治体選挙後半戦に、県本部は3人の組織内候補を擁立した。宝塚市議選の梶川みさおさんは、17位で当選、見事振り返りを果たした。明石市議選の永井俊作さんも6選を果たした。一方、芦屋市議選で5期目に挑戦した山口みさえさんは、次点に終わった。今回の統一自治体選挙に、県本部は6人の組織内候補を擁立したが2議席を失う厳しい結果となった。

梶川さんは、前回の悔しい結果をばねに、「暮らせる、育てる、働ける」をスローガンに、地元自治会や推せん労組員への支持拡大に努め勝利を手にした。宝塚も維新が増えたが、梶川さんの中川市政を支え市民生活を守る議会活動に期待する。
永井さんは、後援会活動を積極的に取り組むとともに、地域の労働組合や所属政党の支援で支持者を拡大、地域への浸透をはかる

加西市は3月議会で公契約条例を制定。9月以降に締結する公契約で、条例が適用される。西村和乎市長の公約で、任期中の実現と

公契約条例を制定
西村加西市長の公約
加西市は3月議会で公契約条例を制定。9月以降に締結する公契約で、条例が適用される。西村和乎市長の公約で、任期中の実現と

加西市は3月議会で公契約条例を制定。9月以降に締結する公契約で、条例が適用される。西村和乎市長の公約で、任期中の実現と

2015年度ナースアクション

とき 5月30日(土)
午後1時30分開会
ところ 私学会館
テーマ 地域医療と処遇改善

平和・人権・環境を考える集い

とき 6月6日(土)
午後1時30分開会
ところ 神戸市教育会館
講演 ヘイト・スピーチを許さない社会づくり

第32回保育を考えるつどい

とき 6月14日(日)
午前10時
ところ たつの市総合文化会館
講演 絵本の持つ力

いまいち屋
描く、強いつよ
だぶるぼいんど

しこう

5月の大型連休も終わったが、仕事の疲れを十分癒せたのだろうか。連休中の3日は恒例の憲法記念日。憲法集會が各地で開催された。これまでもあった改憲論議は国会での自民党の安定多数もあって、動きも加速化してきた。7日からは衆議院で憲法審査会が開催されている。▼集団的自衛権行使容認など解釈改憲を進めてきた安倍政権のもと、戦争放棄をうたう9条は岐路に立つ▼改憲容認の中には、近年近くなつて憲法が社会情勢にマッチしていないというそれらしい理屈や、環境権などという理屈も出回っている▼しかしながら、9条のおかげで70年にわたつて戦争に巻き込まれることもなかったのは、まさにもなく大きな事実である▼「積極的平和主義」の名のもと戦争にかりだされようとしている今こそ、99条の「権力側に憲法尊重擁護義務」を課している憲法の理念を確認したい。(誠)

臨職雇止め 撤回せよ

県本部 裁判闘争の支援を確認

小野市 一方的に通告 ハラスメント対策協議中に

小野市のいじめ等相談員として働く組合員がハラスメント被害を訴えた結果、3月末で雇止めとなり、県本部は裁判闘争を支援していくことを4月執行委員会を確認した。

小野市は、いじめ防止条例を定め、いじめ等相談員、女性のための相談員の長期任用を想定し、一般職非常勤職員として配置している。組合員は、上司の威圧的な発言や不利益取扱等

ハラスメント対策協議中に
のハラスメントが業務の連携、市民対応に支障をきたすため、管理職や人事課に対応を求めた。



平和を守り、雇用を立て直す 県内17地区でメーデー

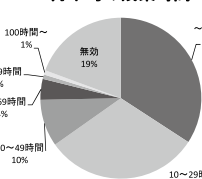
県内17地区3万人が参加したメーデー。神戸では賃金の「底上げ」「格差是正」、労働者保護ルール改悪ないとの宣言を採択、デモ行進で訴えた。

2015 人員確保闘争に向けて (上)

阪神淡路ブロックでは、毎年春闘期に、構成単組の「権利・職場実態」が429全組合員を対象とした「権利・職場実態」「生活実態・賃金要求」の2種類のアンケートを実施している。このアンケートを通じて、組合員の置かれている生活・職場の実態や、必要な賃金や手当額を把握し、ブロック統一要求書やブロック活動に反映させている。今年も1月19日から30日

超勤30時間以上が16%

月平均の残業時間



「6日」が1位となり、昨年1位の「7日」は3位となった。この間、阪神間「超勤」の日数である「5日」で夏期休暇の日数削減の状況である。また、時間数についても、平均30時間以上を占めるなど、増加傾向にある。(グラフ参照)

合理化提案がなされた結果が反映されたかたちとなった。「超勤」については、「あり」が7割近くを占め、高止まりしている状況である。また、時間数についても、平均30時間以上を占めるなど、増加傾向にある。(グラフ参照)

おえが似顔絵 県本部まんがコンクール作品募集

テーマ
にが おえ
似顔絵

作成対象は、①森蔭守県本部委員長、②えさきたかし参議院議員、③あいはらくみこ参議院議員のいずれか。詳しくは単組に問い合わせを

必着
7月10日
似顔絵作成には、自治労本部 自治労兵庫県本部のホームページを参照下さい

労働法制改悪に反対 過重労働許さない運動を

県本部労安委

暴走を続ける安倍政権は、「過重労働の解消」と称する一方、4月3日には、成長戦略の目玉の1つとして労働基準法など関連法の改正案を閣議決定した。ホワイトカラーエグゼン

午後1時30分開会
と き 6月23日(火)
ところ ひょうご共済会館

自治労カップ 今年4年生以下も

県本部は昨年の60周年を機に、自治労カップ全日本少年軟式野球大会(中学生の大会)に特別協賛し、支



表彰式でメダルを渡す尾西書記長

援している。今年からは、出場機会の少ない小学4年生以下にも出場機会を」と、県本部の呼びかけで学童軟式野球大会も開催されることとなり、支援を行った。5月3・5日に尼崎市内5会場で開催が繰り広げられた。3日にベコム野球場で開催された開会式には、県本部から森蔭守委員長が出席し、「選手のみならず頑張ってください」と激励した。今後も、次代を担う青少年の健全育成に県本部は取り組んでいく。

団体生命共済 + 長期共済 で

在職中から退職後の一生涯の保障を

自治労共済生協組合員だから利用できる共済です。



ご不明な点があれは、必ずお電話にてご連絡ください。
全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

ご契約にあたっては、パンフレットをご覧ください。
全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

保障のことなら
全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
全労済は、定額を目的とした「保障の生活」として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりを暮らしを支えています。専ら、お金の心配を軽減するための「保障の生活」を、皆様と共に創りだす。

自治ひょうご

1453号

2015. 6. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 5日 平和友好祭 労組・地区代表者会議 (神戸勤労会館)
- 6日 第18回平和・人権・環境を考える集い (神戸市教育会館)
- 13日 県本部女子バレーボール大会 (佐用町)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

単組の運動課題交流

2015反行革・組織集会を加西で開く



問題提起を行う本部の川本書記長

6・5統一行動 欠員補充、超勤の縮減を

県本部は5月22、23日、加西市において反行革・組織集会を開催した。基調講演では、川本書記長から「組織強化に向けて」また、金芳自治労共済の三角義男常務から「共済活動の強化について」講演を受けた。1日目は8つの分散会で組織強化について、2日目は人員確保など4つの分科会で議論がなされた。集会では来年の参議院選挙に向け、組織内の「えさきたかし」現参議院議員の必勝に向けた取り組み強化を確認した。分科会は別途連載。

川本書記長は、今春闘の結果を受けた今後の人勤期闘争の課題、今国会で焦点

となつている安全保障法制や労働者保護ルールの改悪に対する自治労としての取り組み課題をあげ、「これらをつたかう中で組織を強めていこう」と提起した。三角常務は「自治労共済の商品は、営利を目的としていないので組合員にとって大きなメリットがある」としたうえで、「組合員の共同救済」相互扶助を制度化した労働者自主福祉事業を推進しよう。組合員の参加が増えればさらに制度が充実していく」と各単組での共済活動の強化を求めた。県本部では現在、人員確保男女平等差別闘争を取り組んでおり、本集会を契機に要求・交渉・交渉書面協定」の交渉サイクルを基本にたたかいて進めていくことを確認した。

人件費抑制の評価制度 職場改善にはつながらない

青年女性反合集会

青年部 女性部は5月9、10日、篠山市の新たんば荘で青年女性2015反合理化交流集会を18単組37人の参加で開催した。学習会では本部青年部常任委員の谷西健司さん(徳

の導入は人件費抑制のため。職場の改善にはつながらない」と問題点を指摘。仲間生活・職場実態に根ざしたたたかいを進めよう」と提起した。その後2日間にわたって分散会を実施。生活・職場実態を交流し、問題点を討論した。参加者からは、「今

反行革 組織集会 分科会報告①

〔反行革〕人員確保の取り組みでは、各単組から新規職員の採用状況と人員要求の取り組みについて報告を受けた。

この間の「集中改革プラン」などにより職員は大幅に減員されたが、業務量の増大もあり、行政職については退職者補充の方向性が出てき



た。しかし現業職は不採用が続いている。その中、姫路市では、技能労働者の「あり方」を議論する中、必要な職場の新規採用を確認してきてい

る。厳しい職場実態の中で、退職者不補充による技術の継承ができない問題や若者の離職・メンタル問題、募集しても応募がない状況など、人員不足の実態が報告された。人員確保については、高砂市職から報告を受けた。3月と4月に個人対象のアンケートを実施。集約後、職場懇談会で職員間の意思統一を、人員確保闘争期に要求交渉を行い、書面協定まで行っている。

最後に人員確保闘争を労働安全衛生、人材育成など様々な観点からとらえ、取り組みを進めていくことを確認した。

姫路市 現業の新採を確認

西村加西市長が再選

4年の実績に圧倒的支援



当選を喜ぶ西村さん

5月17日投票で行われた加西市長選挙は、現職組織内の西村和平候補が2期目の当選を果たした。西村さんは、4年間の実績を訴えとともに今後4年間の88項目のマニフェストを示し、具体的な市政の方向性を訴えたことで市民からの圧倒的支援を受けた。

調査では都構想否決が良くなかったが「良かっただけ上回った」と今回は何とか凌げたと、事態は既に第2、第3の「都構想」へと動き出している。真の意味での「地方自治」「住民自治」とは何なのか。我々にも突きつけられた課題である。



講演する西谷さん

労働学校受講者募集

日程 7月3日(金) ~4日(土)
場所 ひょうご共済会館

詳細は組合事務所に問い合わせを

- <第1講義> 労働組合は何のためにある?
- <第2講義> これだけは知っておこう!賃金の基本知識
- <第3講義> 組合員は何を考えている?企画・運営のヒント
- <第4講義> 憲法カフェ。平和問題を考える

県本部 まんがコンクール



大植 賢(豊岡市職労)

しこう

「二重行政解消」が焦点に行われた。大阪都構想、住民投票は、0.8%の僅差で否決された。「二重行政」は何だ?府と市が近距離に類似の施設を造つてどちらもガラガラだというが、もしもどちらの施設も繁盛していたら、果たして「二重行政」の引き合いにされたのか。ただのこじつけにしか聞けない!今回の結果を労働組合や特定の政党の「エゴ」問題にすり替えたり、次世代の意思を高齢者が押しつづけた。70歳以上は投票権を剥奪すべき」となど平然と語っている。キヤスターまで現れる始末である。また、直近の世論調査では「都構想否決」が良くなかったが「良かっただけ上回った」と今回は何とか凌げたと、事態は既に第2、第3の「都構想」へと動き出している。真の意味での「地方自治」「住民自治」とは何なのか。我々にも突きつけられた課題である。

「平和捨てないで」

戦後70年 空襲体験から訴える

内橋克人講演会

「神戸空襲を記録する会」は5月17日神戸文化ホールにおいて内橋克人講演会を開催した。講演会には7



自身の空襲体験を通し、平和の大切さを訴える内橋さん

〇〇人が参加、主催者の中田政子代表は「空襲で亡くなった8000人の名を碑に刻みたい。平和を守りぬ

いていくため、講演を聞いて何かを見つけて帰ってほしい」とあいさつ。映画「炎の証言―大空襲の記録」の神戸部分の上映の後、内橋克人さんが「戦後70年を抱きしめて」再び「暗い時代」を許さない」と題して講演した。



県民大会にも参加 沖縄平和行進に兵庫から3人

沖縄平和行進に県本部から3人が参加した。初日(5月14日)は結団式。2日目、3日目は、キャンプシュワブ前、普天間基地周辺を経由し、宜野湾まで行進を行った。4日目は、3万5000人が結集した県民大会に参加した。神戸市従青年部の参加者は、「沖縄地元住民の民意は、戦争経験のある高齢層ほど新基地建設に反対していると感じました。美しい沖縄の自然を守っていくことが、平和につながる」と感想を述べた。

2015 人員確保闘争に向けて (下)

県本部は、6月5日に人員確保闘争のヤマ場を配置し、単組の結集を呼びかけている。職場改善の取り組みがどのようか実施されているのか。八鹿病院職組の職場オルグ、要求つくりの様子を取材した。

患者、職員が安心できる病院に

6月中旬に要求書整理、7月交渉、9月下旬の採用試験までに結論を出す。県本部の闘争日程とは合致しているのか。同職組にとつて組合員の声を反映させる中心的な闘争だ。昨年の要求書には、「〇



現場職場のオルグ

病棟では午後の介護員が不在のため、1日勤務が可能。薬剤師を正規で2名増員すること。など切実な実態の改善が並ぶ。今年の要求は現在整理中だが、「看護師が万年不足していることから、職場オルグでは看護助手を求める声も強い」という。看護職では、月10回を超える夜勤、慢性的な超過勤務が横行している。才

似顔絵

作成対象は、①森蔭守県本部委員長、②ええさきたかし参議院議員、③あいはらくみこ参議院議員のみ。詳しくは単組に問い合わせを

7月10日 必着

安売り競争に歯止め 効果の検証が課題 加西公契約条例でインタビュー

加西市で成立した公契約条例。市職の藤原聖吾委員長に、インタビューした。12年5月に「公契約条例づくり連絡会」を結成。兵庫土建や解放共闘(市議を含む)、オプザバーではあるが商工会議所などが参加、市職は連絡会の事務局を担ってきた。入札の現状等の学習会を経て、年末には宣伝と署名に取り組み、3686筆を提出した。市民の署名を受け審査会が結成されましたね。14年に学識経験者、事業者団体、労働団体の代表で審査会が発足。全国的狀況



連絡会結成総会

ZENROSAI NEWS 5114A256

あなたのバイク 自賠責忘れていませんか?

自賠責共済

自動車損害賠償責任共済

忘れるところだった...

ご不明な点があれば、まずは組合にご確認ください

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合

有効期限が切れていないか、ステッカーをチェックしましょう!

右のステッカーの場合 **2015年5月**が期限です。(平成27年)

車検制度がないため、つい忘れがちですが、原付(125cc以下)や軽二輪(125cc超250cc以下)も、自賠責共済(保険)へ加入しないまま乗ると、法律で罰せられます。あなたのバイクのナンバープレートに貼ってあるステッカーをご確認ください。

あ 123

27年 5月 自賠責

保障のことなら 全労済

全労済は、差別を目的としない保険の提供として、経済的負担を減らし、組合員の皆さまの安心を大切にしています。また、災害を支援するために、組合員になれば、各種災害もご利用いただけます。

そろそろ切れるんだっ!

自治ひょうこ

1454号

2015. 6. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 20日 県本部野球大会・1日目(西宮)
- 20日 戦争をさせない1000人委員会関西集会(奈良県文化会館)
- 21日 集团的自衛権行使容認反対&特定秘密保護法反対兵庫大集会・パレード(三宮・東遊園地)
- 29~30日 第5回人事評価制度実施に関する全国交流集会(大阪・心斎橋)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

憲法違反の戦争法を許すな

集团的自衛権行使容認反対

兵庫県大集会に参加を

6月21日

集会 午後2時~

パレード 午後3時~

三宮 東遊園地

今国会で審議されている「安全保障関連法案」。その内実は憲法違反の戦争法。何としても成立を阻止しよう。

排外主義 許さない社会に

自治体の政策重要

ヘイトスピーチの法規制を

平和・人権・環境を考える集い



組合員や共闘の仲間など120人が参加した

「ヘイトスピーチを許さない社会づくりへ」をテーマに6月6日、県本部は第18回平和・人権環境を考える集いを神戸市教育会館で開いた。記念講演を行った郭辰雄さん(コリアNGO代表)は、「住民と向き合う自治体で、人権政策や共生社会づくりの取り組みを広げることが重要」と、排外主義に抗するネットワークづくりを呼びかけた。

「人権」をメインテーマにした今年の集いは、国連からも是正勧告を受け、裁判でも「差別」と判断されているヘイトスピーチを取りあげた。郭さんがヘイトスピーチの映像を流すと、そのすさまじさに参加者は言葉を失った。「ヘイトスピーチは「憎悪表現」と訳されるが正しくない。差別し、他者を煽動すること」と説明したうえで「先進国では、犯罪として規制されている」と日本社会の問題を指摘した。

分科会は、①障害者差別解消法と人権②国際結婚

評議結果

- 1位 アルバイト 名前も覚えてもらえない(こちゃん)
- 2位 無関心 その対応がもう差別(KN)
- 3位 仕事増え賃金同じ 笑顔減る(ラック)

オルグで実態把握

宝塚、三田などで前進回答

人員確保闘争

県本部は6月5日をヤマ場に入人員確保男女平等闘争をたたかいた。7月から4%、来年4月から5%と4級給料表の切り上げを確認した。

高砂は、緊急待機交渉を行い、地域手当の現行3%を7月より4%に引き上げ、4%と5%とを併用する。宝塚、三田、伊丹は3日、他12単組は夏期一時金と同時交渉。各単組とも疲弊する職場の実態を訴え、人員の確保を当局に求めた。特に、宝塚と三田では、職場オルグで吸い上げた各職場の状況をもと

組(豊岡、豊岡病院、香美、新温泉、新温泉臨職労、養父、朝来、八鹿病院、篠山)が文書回答を受けている。阪神淡路ブロックでは、4日(日)の統一交渉は西宮水労伊丹水労宝塚三田伊丹は3日、他12単組は夏期一時金と同時交渉。各単組とも疲弊する職場の実態を訴え、人員の確保を当局に求めた。特に、宝塚と三田では、職場オルグで吸い上げた各職場の状況をもと

記念講演要旨

講師 郭辰雄さん

ヘイトスピーチが全国で蔓延し、日本社会として無視できない問題になっている。さらに世界を驚かせているのは、在特会の「デモ」を表現の自由として、日本が保護していることだ。

在特会が攻撃の対象としているのは、在日コリアンの人々だけではない。沖縄では「基地特権」、広島・長崎では「被爆地特権」と攻撃している。つまり日本社会の中で人権意識を持った人々の運動を攻撃していると捉えなければならない。

ヘイトスピーチは、私たちが在日とっては、脅迫であり暴力である。日常生活からアイデンティティーを奪い、政府が規制しない事実上「日本社会は私たちを守らない」とのメッセージを受け止められている。

政府は表現の自由というが、「少数者の声を聞くために、差別規制が必要」と国際的には考えられている。

民主党、社民党が今国会に「人種差別撤廃のための法案」を提出したことに期待したい。また住民と接する自治体での、人権政策や人権教育、共生社会の取り組みが重要である。

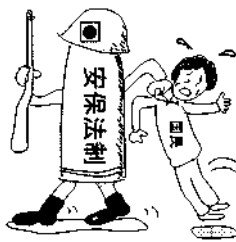
国際社会から逸脱する日本

常や気持ちる表現。88作品から、参加者による投票が行われた。

集いは、「平和・人権環境は差別運動の重要課題」と位置づけ、県本部が毎年開催しているもので、地域の仲間にも参加を呼びかけている。この日は、一般参加者30人を含む120人が講演や分科会を通して問題意識を深めた。

いまいち度

戦争に引きずりこまれる



大西英剛

に、具体的な人員数を要求し、当局から一定の改善案を引き出した。

しこう

経験のある先輩からの意見は貴重だ。衆議院の解散を決定する国会で、議長の前で万歳を始める議員に、議長が「万歳はここでやめて下さい」と注意し、やり直していた。総理大臣に続いて、天皇の署名と押印を意味する御名御璽と言った後にバンザイするのが正しいとのこと。へえと思いつつ、「前からそうだったか?」「何でバンザイ?」「きよめいさじって何?」と言つたり、85歳の母が「天皇というのも恐れ多いから」「教育勅語は御名御璽と言つたら頭を上げてよかった」と戦前の話を教えてくれた。へえと納得。ネットで過去の映像を確認したら、最近のライオンキングバンザイは、御名御璽が読まれたのは50年以上前らしい。何か権威づけするような政権の意図を感じてしまう。戦前を思い起こさせ、戦争につながりそうなことには共感も協力も一切しない。

パワハラ訴えたら雇止め

6月2日 神戸地裁へ提訴

小野嘱託職員 首切り撤回闘争



5月28、29日、岩手県で開催された本部第149回中央委員会、「不当な解雇は許さない」と、小野裁判闘争への支援を訴える尾西書記長。本部からは、「県本部と連携して闘争を支援する」との答弁があった。

小野市のいじめ相談員(非常勤嘱託職員)として働いてきた組合員がパワハラを繰り返されたこと、3月末で雇止めとなった。県本部は当該組合員と協議し、不当な雇止めの撤回とパワハラ被害への慰謝料などを求め、6月2日、神戸地裁への提訴を行った。

チエックをするなどパワハラを繰り返された。これに対し、管理職や人事課に対して改善を求めたが、ほとんど対応されることはなく、2月17日、突然、雇止めを通告された。

労働組合として継続雇用を求め取り組むを進めたが、小野市当局の不誠実な態度は変わることなく、今回の提訴となった。

県本部は、自治労本部中央委員会において、尾西亮太郎書記長が裁判闘争への支援を訴え、自治労本部の支援が確認された。

自治体の臨時・非常勤等職員の不安定な雇用や社会問題となっているハラスメント行為について訴える裁判であり必ず勝利しなければならぬ。

今後、各単組をはじめ多くの仲間への支援で勝利に向け取り組みを進めていく。

からの医療と介護の行方、地域包括ケアシステムと

本部中央委員会で支援要請 不当解雇の撤回を

労働法制改悪 強行採択を許さない

労働者派遣法と労働基準法改悪が国会で強行されようとしている。「派遣法」は、現行で専門26業務以外は最長3年のところ、全業務一律に3年とする一方、労働組合等の意見を聞けば(同意は不要、人を代えて派遣労働者を使い続けられるようになる。また同じ派遣労働者を、事業所内で「課」を替えれば継続できる。「多様な働き方」派遣労働者のための「おたため」かして、ピンハネ常用代替防止

過労死まで働かされる

働時間規制から外し、また「企画業務型」の業務にも裁量労働制を広く、営業職等の「定額残業代」を合法化するが骨子。「時間でなく成果で評価」としているが、時間で労務を提供し対価の賃金を受けるといふ雇用契約とは相いれ

企業が活動しやすい国が実現する一方、少数の正規労働者は残業代ゼロで「成果」が出るか過労死するまで働かされ、激増する派遣労働者は生涯派遣、低賃金となる。

両法案は、労働者代表が入らず、全力を。

地域医療の確保 人員増を市民アピール

2015ナースアクション



大丸前での訴え

衛生医療評は5月30日、私学会館でナースアクションを開催し、約80人が参加した。まず、但馬長寿の郷の小森昌彦さんから「これ

《単組強化の課題》には、単組委員長などの三役が参加した。

まず、新規採用者の組織状況について報告を受け、単組の工夫した取り組みを交流した。多くの単組が、新規採用者の100%加入の状況だが、分科会参加単組では、県職や尼崎の組織状況が悪く、単組間の取り組みを交流した。対策に向けた討議では「配属先の職場の仲間

は」と題した講演を受けた。参加者からは「制度が変わった節目に、続けて説明を聞きたい」「今後の医療について、自分の立場で考えを出された。」と感想が出された。

講演後は、大丸前を中心に、地域医療の確保と人員増に労働組合が役割を果たす存在であることをアピールした。市民からも「どうすれば協力できるのですか?」という反応もあり、手ごたえのある行動であった。

反行革 組織委員会 分科会報告

②

や上司が後押しするのが大切」「役員だけより同世代の仲間との声かけ」などの意見が交わされた。また、組織化と若手育成の課題として、青年女性部の活動状況も交流した。

組織強化は役員育成でもある。合併で役員が1年交代の状況が報告された。当局折衝や取り組みの継続性などから、県本部は単組役員の数年任期を提起している。「首長が4年するのには、労働役員が毎年交代

新採組織化 同世代の声かけ

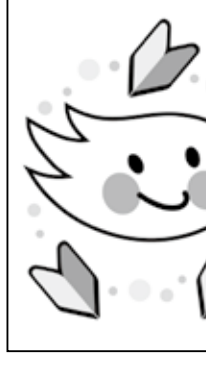
職場の後押しが大切

は望めないのでは」と取り組みを求めた。

最後に、統一闘争強化に向け、「要求・交渉・書面協定」の交渉サイクル確立が重要との認識のもと、取り組み強化を意思統一した。

組織強化は役員育成でもある。合併で役員が1年交代の状況が報告された。当局折衝や取り組みの継続性などから、県本部は単組役員の数年任期を提起している。「首長が4年するのには、労働役員が毎年交代

組織強化は役員育成でもある。合併で役員が1年交代の状況が報告された。当局折衝や取り組みの継続性などから、県本部は単組役員の数年任期を提起している。「首長が4年するのには、労働役員が毎年交代



あなたにお勧め

新しい仲間の皆さんへ

(組合員本人～60歳)

団体生命共済 D型 掛金月々 **2,520円**

死亡 **600万円** 入院日額 **2,000円**

自治労共済生協組合員だから利用できる共済です

ZENROSAI NEWS 5113P353

団体生命共済

ご不明な点がございましたら、まずは組合にご連絡ください。

全労協 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労協は、営利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と心とつながる暮らしをめざしています。財政健全を大切にしたいという思いを共有すれば、各種共済をご利用いただけます。

※ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

自治ひょうこ

1455号

2015. 7. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 8日 ビースセミナー・労働法制改悪に抗す(私学会館)
- 11日 県本部福祉集会(共済会館)
- 16日 改正地公法に関する県本部単組代表者会議(共済会館)
- 21日 第31回反核平和の火りリスタート(県庁前)
- 23日 公企評・防災意識と環境保全を向上するツアー(県広域防災センター他)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL 078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

憲法の番人は国民

三宮に6000人

反対の声を上げよう

戦争法反対 兵庫大集会



9000人の市民らが集まり「戦争法反対」の声をあげた

戦争法案については国会での審議を通して憲法違反が明らかになっている。そして、憲法審査会での憲法学者全員の違憲との指摘、国会前集会や包囲行動、全国各地での反対行動の盛り上がりにより、世論の反対の声が増している。それにもかかわらず安倍政権は95日間の国会会期の延長を行ない戦争法案を強行成立しようとしている。憲法9条を解釈改憲し、集団的自衛権の行使を容認する戦争法案に反対する取り組みを強めよう。

6月21日神戸・東遊園地において「集団的自衛権行使容認」と「特定秘密保護法」反対！兵庫大集会、労働組合・市民など9000人が参加した。

この大集会は兵庫県弁護士会が呼びかけ、各種団体、労働組合・市民など9000人一致団結して頑張ろう」と呼びかけた。

講演を行なった伊藤眞・弁護士は、「全国の弁護士会が反対の声をあげ、95%以上の憲法学者が違憲と声をあげている。憲法の目的、つくられたのは、国民に自由と人権をもたらす、2度と政府に戦争させないため。憲法を守るため主権

者として主体的に行動しよう。憲法の番人は国民。国民に真実を伝えたい。秘密保護法、憲法違反の集団的自衛権は許せない。安倍首相のやり方は悪徳商法と同じだ。最後まであきらめないでしっかりと反対の声を上げ続けよう」と訴えた。

集会後のパレードでは参加者が「イケン」と書いたボードや手書きのボードを掲げ、違憲の法律つくるって？(本気でいつてんのー)とアピールした。

6月20日奈良県文化会館において「戦争をさせない1000人委員会関西集会」が開催され、近畿各地から12000人が集結した。

評論家の佐高信さんから、「安倍政権の強権政治と戦争法案を止めよう」と講演があり「国会で議論されている安全保障関連法案は明らかに戦争法案であり、原則に立ち戻って戦争推進の是非について議論するべきだ。1人ひとりがこの運動を広げよう」と訴えた。

加者が「イケン」と書いたボードや手書きのボードを掲げ、違憲の法律つくるって？(本気でいつてんのー)とアピールした。

評議者の佐高信さんから、「安倍政権の強権政治と戦争法案を止めよう」と講演があり「国会で議論されている安全保障関連法案は明らかに戦争法案であり、原則に立ち戻って戦争推進の是非について議論するべきだ。1人ひとりがこの運動を広げよう」と訴えた。

安倍政権の強権政治と戦争法案を止めよう」と講演があり「国会で議論されている安全保障関連法案は明らかに戦争法案であり、原則に立ち戻って戦争推進の是非について議論するべきだ。1人ひとりがこの運動を広げよう」と訴えた。

尼崎競艇に緊急申し入れ

公営競艇

県本部は、6月10日、公営競艇場のオルグを実施した。

午前中には、尼崎競艇場を訪ね、単組より春闘一

時金交渉の報告を受けた。特に一時金について、昨までの経緯を全く無視した回答が示されており、非常に厳しかったことを受けて、県本部が定員適正化計画を上げた。

にも、松谷全隆県競艇組合事務局長より競馬事業をめぐる環境の説明を受けた。両方の向上、労働条件や場の存続にも影響することから積極的な取り組みが望まれ、県本部役員も売り上げ協力をを行った。

も、松谷全隆県競艇組合事務局長より競馬事業をめぐる環境の説明を受けた。両方の向上、労働条件や場の存続にも影響することから積極的な取り組みが望まれ、県本部役員も売り上げ協力をを行った。

0人が参加した。

集会では県弁護士会の幸寺会長が「憲法に違反している安保関連法案廃案へ一致団結して頑張ろう」と呼びかけた。

講演を行なった伊藤眞・弁護士は、「全国の弁護士会が反対の声をあげ、95%以上の憲法学者が違憲と声をあげている。憲法の目的、つくられたのは、国民に自由と人権をもたらす、2度と政府に戦争させないため。憲法を守るため主権

嘱託一時金の改善
退職上回る採用
夏期一時金闘争

県本部は6月12日をヤマ場として配置して夏期一時金闘争に取り組んだ。

阪神淡路ブロックでは、宝塚が役職加算5%支給年輪を2歳引き下げ、尼崎も

託は、確定時に積み残した人動引き上げ分0.06月を勝ち取った。芦屋も嘱託0.07月アップなどを確認した。

播磨ブロックは、4単組がストを配置、人員確保の課題もあわせて交渉した。

明石では、定年退職者22人に対し37人の採用を獲得。高砂が定員適正化計画を上げた。

7月26日 三田市長選
芝野照久さんを推せん

県本部は7月26日実施予定の三田市長選挙に立候補を予定している元県会議員(組織内)の芝野照久さんの推せんを決定した。三田では労組を軽視した姿勢が続いており、何としても負られないたいかいで取り組む。

先日、娘の通う高校で学校祭があった。毎年の時期に行われている。高校2年生の展示のテーマは「沖繩」。

4月に沖繩に修学旅行に行くので、そこで学んできたことをいつも発表している。発表形式はポスターセッションで、ブース毎にオスプレイ、ガマ、ひめゆりの方の話であったり、沖繩の方言のことを発表していた。4日間という日程の学びだが、ガマに実際に入ってみての感想や戦争体験の話聞いて、彼女からの感想を聞いたが、17歳にして学んできたことはこれからの時代を担うには十分な体験だったようだ。この子たちが来年の参議院選挙に参加できるように、この修学旅行で学んだことを基礎に、今国会で議論されている安保法制についても、もう少し学習を深めながら選挙に参加してほしいものだ。

いまいち座

食中毒に注意!

おやすみ漫

読んでもらうとドキドキ

「絵本の力」を学ぶ

分科会では職場実態も交流

保育を考えるつどい

社会福祉評議会は第32回 保育を考えるつどいを6月14日、たつの市赤とんぼ文



保育を考えるつどいには312人が参加した。写真は講演を行う岡田さん

「幼くのか」と題して、絵本ソムリエの岡田達信さん(絵本セラピスト協会代表)が講演を行った。参加者からは、「普段は絵本を読む方。読んでもらうと、こんなにワクワクドキドキするなんて」等の感想が寄せられた。

当面の取り組みでは、子ども子育て支援制度について、対応が必要な課題を当局・議会に要請することを確認した。

午後からは5分科会に分かれ交流。職場改善の分科会では、「同じ職場で労働条件の違う職員と一緒に働くことの難しさを改めて感じた等の意見が出された。

反行革 組織集會 分科会報告 ③

社協の組織化が課題

〔組織拡大に向けた課題〕14人が参加した。冒頭、大阪府本部配置の都留オルクが労働組合組織化の意義を提起した。「労使対等」というが、労働者は組織されてはじめて使用者と対等にわたりあえる」と強調した都留さんは、「職場や社会の民主化にとっても労組は重要」とした。また、スーパーなど販売業では非正規が大



た。①では、共済活動とあわせて組織化を行っている事例や一時金や休暇での処遇改善が報告された。②では、「組織化したいがうまくいかない」といった声が出され、都留さんからは、「当事者の思いを聞くことか」と助言があった。③は、当面の組織対象であることを確認した。

殊性にも言及し、「労働条件に関する限り『管理運営事項』を理由に交渉拒否はできない」と説明した。交流は、①再任用 ②非正規③社会福祉協議会、それぞれについて行われた。①では、共済活動とあわせて組織化を行っている事例や一時金や休暇での処遇改善が報告された。②では、「組織化したいがうまくいかない」といった声が出され、都留さんからは、「当事者の思いを聞くことか」と助言があった。③は、当面の組織対象であることを確認した。

周知に終わらず内容説明を

〔共済推進活動〕三角全労済自治労共済本部常務執行委員が「共済活動を活用した組織の強化」について講演。助け合うことから労働組合が誕生した歴史(労働金庫・全労済の誕生)からはじまり、生保・損保を取り巻く状況、共済の必要性優位性を説明した。「組合員の幸せを守る」として組織強化・加入推進の意義を述べた。

意見交換では、「組合ニュースを活用し制度周知は行っているが、学習会等の開催は十分にできていない」との現状が複数単組から出された。新規採用職員向けに説明会を実施している単組でも「説明だけに終わらず加入に結びついていない」との要望が出された。



全労済自治労共済本部東支部の西田事務局長が、「説明会については、担当がお伺いするし課題の共有もはかりたい。軽食の提供については開催主旨が明確であれば問題はないので検討していく」とまとめた。



盗塁した篠山

佐用が初優勝 サヨナラで篠山がV 県本部スポーツ大会

6月13日、佐用町内で行われた第37回女子バレー



アタックする佐用

ボール大会は、地元佐用が初優勝した。決勝戦は、初めて決勝に駒を進めた豊病院と佐用が激突。セットカウント2-1の激戦を制した。

近年の新規採用の影響で選手平均年齢も若く、切れのある左右のアタックで他チームを圧倒した。キャプテンの山田真里枝さんは、「初優勝できてよかった。週2回の練習をこなしただ成果」と笑顔を見せた。野球大会は6月20、24日西宮市で10チーム(県職労県庁神戸交連・宝塚三田・西宮水芳・加古川・上郡・豊岡病院八鹿病院篠山)が参加し開催された。

ZENROSAI NEWS 5113A187

お手続き忘れてませんか?

自動車を手替えた方、**[30日以内]**に手続きが必要です!

契約対象となる自動車を乗り替えた場合、新車両の取得日の翌日から30日以内に車両変更の手続きをお願いします。

30日以内に届け出がなく事故を起こされた場合、共済金をお支払いできません。

不明な点はまずは所属する組合にお問い合わせください。

マイカー共済
自治労自動車共済

全労済 自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活自治労組合

全労済は、意利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただく組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

自治ひょうこ

1456号

2015. 7. 15

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

- 21日 第31回反核平和の火りレー出発式 (県庁前)
- 23日 防災意識と環境保全を向上するツアー (三木市)
- 27日 県本部第12回執行委員会
- 28日 2015年勤期7.28中央行動



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



戦争法反対 国会前で連日行動

憲法学者の反対、地方議会での意見書、世論調査でも反対多数の戦争法案。にもかかわらず安倍政権は強行採決の動きを強めている。7月9～10日の「戦争法反対！国会前連続座り込み行動」には、県本部から8人が参加した。引き続き13日から国会前座り込み、大集会・請願デモが実施される。中央、各地での行動に結集し、戦争案を止めよう。



人員確保の取り組み報告を行う児島さん
●新入組合員対策を報告する山西さん

県本部は第198回中央委員会を6月26日、三田キッピーモールで開催した。冒頭、森藤守委員長は、「安倍政権は、労働者派遣法の改悪や、安全保障関連法を強行成立させようとしているが、反対運動を広げ阻止しなければならぬ。来年の参議院選挙は組織内のえさまたかし必勝に向け取り組み強化を」とあいさつした。また、7月26日に投票が行われる三田市長選挙に立候補予定のしばの照久さん(三田市職労出身)が決意表明を行った。

三田市長選 しばの照久 必勝へ支持拡大

第198回中央委員会

報告の部では、加西市職から西村加西市市長選挙勝利のお礼と公契約条例制定の取り組み、明石市職労から永井明石市議会選挙勝利のお礼とアスベスト中皮履公務災害認定闘争への支援要請、尼崎交通労組からバ

ス民営化に伴い無責任な対応に終始する当局に対する交渉支援要請などの発言があった。その後、一般経過報告、第3四半期決算報告、同会計決算監査報告は承認された。

協議の部では、神戸町職から上野県議員当選のお礼と人員確保闘争の取り組み、洲本市職労から阪淡プロックでの新入組合員加入の取り組み、三田市職労から三田市長選への支援要請と専従役員賃金改善支持の発言があった。また特別報告として、パワハラを受け雇用止めされた小野市の

元相談員から、再任用などを求めて裁判闘争に臨む決意表明を受けた。執行部答弁の後「春闘中間総括」当面的闘争方針「組合費の見直し」「専従役員賃金の見直し」に関する規程の改正「選挙委員会の設置」など5議案は承認された。

に小野市当局は、賃金を引き上げて次を募集している。どこまでも私たちが人権を踏みにじっている。絶対に負けたくない裁判闘争。みなさんの支援をお願いします」と訴えた。

第31回 反核平和の火りレー

平和の火を走りつなごう

7月21日(月) 県庁前出発

青年女性が「平和の火」を走りつなごう反核平和の火りレーが7月21日～8月10日の日程で行われる。戦争につながる動きに反対の声をあげよう。

不当提案を撤回 一時金交渉が大綱妥結

尼崎競艇労組の一時金交渉は、15春闘期に要求書を提出し、断続的に交渉を進めてきたが、年間協定日数について、これまでの労使交渉を全く無視し、支給日数を引き下げるために新たな計算方法を持ち出すという回答が示された。同労組は、納得できる回答が示されるまで6月30日の一時金支給日にこだわらずたたかいを継続することを決意し、回答の修正を求め取り組みを進めた。県本部も6月10日、20日に抗議申し入れを行い、誠意ある回答を強く求めた。一時金支給に向けたギリギリの日程である6月22日

憲法ひょうこが主催する第6回ピース・セミナーが7月8日、私学会館で行われた。労働者派遣法改悪が国会で審議されている中、「労働法改悪の問題点」と題して上原康夫弁護士から問題提起を受けた。「労働法改悪の背景には、生存権や労働基本権といった憲法がある」と切り出した上原さんは、「安倍首相

長時間労働の蔓延は人生の豊かさ奪う 労働法改正でセミナー 憲法ひょうこが主催する第6回ピース・セミナーが7月8日、私学会館で行われた。労働者派遣法改悪が国会で審議されている中、「労働法改悪の問題点」と題して上原康夫弁護士から問題提起を受けた。「労働法改悪の背景には、生存権や労働基本権といった憲法がある」と切り出した上原さんは、「安倍首相

は岩盤規制を取っ払うというが、労働者の人権は抜きだ」と指摘した。派遣法では、民主党政権時の改正(15年10月施行)を目前に、「派遣契約を常態化する規制緩和を進めよう」としている。労働時間規制緩和の動きでは、「労働時間を短くすることで成果を評価することは、産業革命以前の社会に引き戻すこと」と批判。「長時間労働の蔓延は、労働者から人生の豊かさや社会参加の権利を奪うことだ」とまとめた。

不誠実な当局に対し、組合員一丸となったたたかいは、一定の回答が示されたが、来年度以降も厳しいたたかいが予想される。同労組は、さらなる団結強化を決意している。

しこう

先日こんな話を聞いた。沖繩辺野古新基地建設をめぐる反対の座り込みをした組合員の話を聞いた。高橋生に、なぜ参加したかを尋ねようとしたら、反対と同じ質問をされた。高橋生によれば親に旅費を出してもらったが、「変な子」と言われ、学校では政治・沖縄の話をしては浮いている状況だ。組合員も「私も職場で浮いているだけで、就業時間通り帰るだけが変わっている人。もちろん、沖縄の今回の座り込みなどは知れば、『やっぱりね』と大鼓判が打てる。憲法9条で戦後70年、なんとか平和が守られてきた。これからは守らなければならぬ。ここは正念場、変な子。変な大人」と呼ばれることは正しいのだ、大いに胸を張って集団的自衛権行使を認めた。そして辺野古新基地建設反対と叫ぶ。



吉田ノボ

組合の企画は自由に

運営通して楽しさを実感しよう

第25期労働学校

「労働組合の基礎を学ぶ」を開催した。「労働組合はことを目標に県本部は7月3〜4日、第25期労働学校5つの講義で学習した。

参加者は青年女性や新たに執行部入りした組合員ら30人、内10人が終了(全講義受講)した。開校にあたり尾西亮太郎運営委員長は、「働く者の立場で声をあげられるのは労働組合だけ。基礎を学ぶと同時に交流も深めてほしい」とあいさつした。1日目は、①労働組合②賃金の基礎を学び、その後グループ交流を行った。単組では、「組合の活動に参加してくれない」との悩みを抱えていること

から、2日目はレーベン企画の南雲聡樹さんを講師に「組合員は何を考えている?企画・運営のヒント」と題する講義を実施。元江戸川区職労書記長だった南雲さんは、組合を通して自身が企画したコメの斡旋や産地へのホームステイなどを紹介した。その後グループで「組合イベント企画」を考えた。「サバイバルツアー」や「男の料理大会」などが出され、南雲さんは「組合活動はもっと自由にできる。運営を通して活動の楽しさを感じることが大切」とまとめた。



第4講義で発表を行う受講生

汗に保全の山

阪神淡路ブロック水道部会は、6月27日に宝塚市武田尾「亦楽山荘」で、ボランティアグループ「櫻守の会」とともに、「桜の園下草刈り」活動を行った。この活動は、健全な里山の水循環環境が果たす役割を学ぶ場として、水道部会が毎年行っているもの。JR武田尾駅に集合した5単組14人が、ハイキングコースである廃線跡歩道を15分ほど入った「桜の園」で4班に分かれ作業を行った。



健全な水循環へ

町田市職労からは、一方的に人事考課制度を処遇に反映するとの発表があったが、組合の取り組みにより「4原則2要件」を確約させ処遇反映に合意した。しかし、人材育成とかけ離れた運用もあり、開示請求を活用しながら適切な運用を求め取り組んでいるとの報告があった。議論では、民間でも人事

人事評価への対応交流

評価の活用は交渉事項

自治労は人事評価制度全国交流集会を6月29〜30日に大阪で開催した。本部から、人事評価制度に関する調査結果の分析や導入に対する取り組みの中で、組合として賃金決定

の提起を受けた後、各単組からの報告や対応策について交流を進めた。川崎市職労の事例では、導入は避けられない状況の中で、組合として賃金決定の設計から運用・苦情処理等まで積極的に関与し制度をつくり上げ、納得性透明性の向上などで一定の評価制度が定着しているとの報告があった。

相談者の立場で 初期対応が重要

ハラスメント対策で学習

県本部労働安全集會

県本部は6月23日、「パワーハラスメント」をテーマに15労働安全衛生集會を開催した。冒頭、宮本誠之推進委員長は、「労働安全衛生法は私たちにとって大きな武器になる。しかし継続的な取り組みが難しい状況。本日を機会に単組での取り組み強化を」とあいさつした。



講演を行う三木さん

参議院議員

えさきたかし

つながろう。ともに声を上げ、明るい未来を咲かせよう。

プロフィール

1962年福岡県福岡市生まれ。1984年立教大学社会学部卒業。同大学助教授、専攻科教授。2004年自治労兵庫支部長。07年自治労兵庫支部長。10年第22回参議院議員選挙で出馬。地方・労働政策特別委員長、労働政策、総務委員、大蔵委員、アパ、税制調査会委員、立憲フォーラム委員。立憲フォーラム福岡支部長、自治労兵庫支部長、自治労兵庫支部長。

自治労は第148回中央委員会「えさきたかし」を第24回参議院議員選挙の組織応援候補として決定しています。

ZENROSAI NEWS 51147299

※兵庫県職員労働組合および尼崎職員労働組合は、今回のスポット募集は行いません。

じちろうセット共済

新規加入・保障増額の機会を特別に追加!

ぜひ、この機会に保障 死亡保障 医療保障 の点検を!

スポット募集のご案内

共済期間	2015年11月1日～2016年6月末日	団体生命共済
募集期間	2015年8月17日～2015年9月16日	長期共済
申込書提出先	所属する組合事務所	税制適格年金
申込書提出期間	2015年9月16日(水)	親子共済

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。 全労済自治労共済本部兵庫県支部 TEL: 078-392-0821

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。 全労済 自治労共済本部

自治ひろこ

1457号

2015. 8. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/宮本誠之

当面の日程

- 3~4日 近畿地連スポーツ大会(尼崎・伊丹)
- 7~8日 県本部現評総会・各種集會(神戸・舞子ビラ)
- 11日 県本部公立病院対策会議(県本部)
- 12日 県本部拡大青年・女性部長会議(共済会館)

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL:078-392-0820 FAX:078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



戦争法案阻止へ国会前座り込み

安倍政権は7月15日、集団的自衛権の行使に関する憲法解釈をねじ曲げ、憲法違反の「安全保障関連法案」を衆議院において強行採決した。

県本部は、これまで「戦争をさせない1000人委員会」や各団体と連携しながら「戦争法案」反対の取り組みを進めてきたが、引き続き運動を強化する。7

「戦争法」は廃案に 強行採決に各地で抗議

安倍政権は7月15日、集団的自衛権の行使に関する憲法解釈をねじ曲げ、憲法違反の「安全保障関連法案」を衆議院において強行採決した。

世論の多くは、今国会での成立に反対であり、憲法学者は85%が戦争法案は違憲とし、127%が違憲の疑いがあるとしている。学者や青年が運動に参画するなど「流れ」は変わりつつある。「戦争法案」廃案をめざして各単組、各地域で取り組みを強化していく。

7月5日、平和フォーラム総会
フォーラム(ひょうご)は7月5日神戸で総会を開催、戦争法案反対、辺野古新基

安倍首相の暴走 全力で止めよう

7月5日、平和フォーラム総会

地建設阻止、脱原発の取り組み強化を確認。総会終了後は飯島慈明・名古屋学院大学準教授を講師に学習会を開催した。

飯島さんは、「安倍首相がめざすのは海外での武力行使、戦争が可能な国。憲法違反の戦争法案は世界中で自衛隊が活動、日本が攻撃されていないのに武力行使、武器の使用を可能にする。再び海外で戦争のできる国にしても良いのか。主

いまいち座
Cafe - STUDIO

地球人

評価の活用は交渉事項



改正地公法に対する取り組みを協議

信頼性の確立が肝要 人事評価の対応を意思統一

単組代表者会議

県本部は7月16日、人事評価制度への対応など改正地方公務員法に対する取り組みについて、単組代表者会議を開催した。当日は本部より森本総合労働条件局長を招き、「単組交渉指針、総務省の等級別基準職務表の条理化及び職員数の公表に対する対応方針」について提起を受けた。服部副委員長が調査結果を踏まえ県本部方針を提起した。

人事評価制度に関わる単組交渉指針

自治労は、人事評価制度導入にあたっては、設計段階から労働組合との十分な協議と合意、4原則(公平・公正、透明、客観、納得、2要件(労働組合の関与、苦情解決制度の構築)の担

月28日には、東京で大規模の抗議集會が開かれ、県内においても各駅での街頭行動や各地域で抗議集會行動が行われている。

特に、人事評価制度は、総人件費削減を目的とさせ

私たちは自治労の代表

えさきたかしの

活動を通じて政策実現を図っています。

1956年 福岡県福岡市(旧三橋町)出身
1979年 法政大学社会学部卒業後、日三橋町役場入職(現職)担当
2004年 自治労福岡県本部 書記長
2007年 自治労中央本部 労働局長
2010年 第22回参議院議員選挙で初当選

えさきたかし 検索

自治労の政策要求

- 地域密着の公共サービスを
- 持続可能な格差のない社会を
- 全世代対応の社会保障制度を
- 男女がともに輝く社会を
- 地域分散型エネルギー社会を
- 平和な国際社会の実現を

職務経歴書
当選以来、地方自治・地方財政や公務員制度改革などを所管する総務委員会、内閣委員会に所属し、民主党内での政策立案に携わる。現在、地方・消費者問題行動委員会常務理事、総務委員、決算委員、アフリカ問題調査委員

職務経歴書
立憲フォーラム事務局長、公務員技術職員労働組合事務局長、消防政策議員連盟事務局長

保と制度の信頼性が確立しない限り、賃金への反映には反対の取り組みを進める。人事評価結果の活用については、交渉事項であることとを確認すること。また、導入に際しては、拙速を避け、十分な試行期間を確保することなどが大切である。

等級別基準職務表の条理化等級別の職員数の公表は勤務条件に該当し、当局は適用除外である。

交渉を拒否できない。給料表の級と職務との関係に変化がないため、現在の関係を条理化すればよい。

企業職員、技能労働職員については、条理化および等級ごとの職員数の公表は適用除外である。

「安全保障関連法案」が7月15日衆議院で強行採決された。多くの憲法学者が「違憲」として

しても廃案に追い込まなければならぬ。これは「国際貢献」の名のもとに戦争に加担することについて考えてみる。▼イラク派遣内報報告書によると、現地は「純然たる軍事作戦」と指摘するなど緊迫した状況だった。帰国後自殺した自衛隊員は29人という。これまで戦闘で死亡した隊員は1人もいないというが、「戦争法案」が成立すれば殉職者も出るだろう。▼PKOで武装解除を指揮した伊勢崎賢治氏は「自衛隊は既に海外で人を殺さなければいけない一歩手前まで追い込まれている」とした上で、「国連軍事監視団など非武装だからこそできる世界貢献がある」と述べている。▼国際貢献というならば、戦争に加担しない方策を想像力をもって議論していくとき

しこう

「安全保障関連法案」が7月15日衆議院で強行採決された。多くの憲法学者が「違憲」として

雇用不安の解消、労基法通りの年休と繰り越し

臨職評 対県交渉で助言求める

7月14日、臨職評は代表幹事など13人で対県交渉を行った。

市町振興課交渉は、毎年試験のため雇用不安が生まれ、民間に人材が流れ職員不足になっていることや、試験の簡素化を訴えた。年金支給年齢繰りのべによる、65歳までの雇用延長に対して市町振興課は、臨職に定年の概念はないし雇用安定法もある、各自治体には説明はすると回答した。また労基法通りの年休や繰り越しになっていない該当自治体にも助言するよう訴えた。

教育委員会交渉では、研修が臨時・非常勤は伝達研修を受ける自治体へ、直接研修を受けられるよう助言を強く訴えた。学期雇用のため学期毎に雇用や健康保険が切れ、年休付与もない臨時職員の自治体に対し、今年も是正の助言を依頼した。

兵庫県パート・ユニオンネットワークは、7月11日神戸で、西村和平加西市長を講師に公契約条例学習会を開催した。

西村市長は「前市長の臨



加西から広げよう



福祉集会で講演する櫛部さん

県本部社会福祉評議会は7月11日共済会館において55人の参加で福祉集会を開催した。

元鉏路市職員の櫛部武俊さんを講師に「生活困窮者支援「鉏路方式」誕生の秘密」の講演を受けた。

櫛部さんは在職中のごとくを社会福祉現場に携わり、現在は鉏路社会的企業創造協議会で、生活保護制度と生活困窮者自立支援法が地続きとなって、誰もが助けて！と言える地域をめぐり、直ちに就労困難

ニーズ、生活文化に寄りそおう

地域と協働できる体制づくり

県本部福祉集会

2015年7月15日

ズ、生活文化に寄り添おうと締めくくった。

その後①福祉施設医療

与党による安保関連法案の強行採決に抗議し廃案を求める

本日、衆議院安保特別委員会で与党は野党の強い反対の中、安保関連法案を強行採決をした。審議を重ねれば重ねるほど国民の不信感が増大し、安倍首相自ら「国民の理解が十分ではない」とことを認めながらも改められず、戦後の安全保障政策を一転させる重要法案を、国民の声を無視し、非民主主義的手法で採決したことに対し、私たち立憲フォーラムは怒りを持って糾弾する。

昨年4月、私たちは安倍政権が憲法というものの存在と機能についてそもそも理解をしておらず、改憲のために憲法96条の先行改定などという禁止手を使おうとすることに對する危機感から「立憲フォーラム」をつくり、立憲主義の原則に基づいた政治を行うよう求める活動を続けてきた。

しかし、安倍政権は昨年7月1日「集団的自衛権も含む武力行使の三要件」の閣議決定を行った。これは戦後一貫して保守政権が積み重ねてきた「集団的自衛権は憲法違反」との判断を突如として180度転換するものであった。その閣議決定を具体化するために今回の法案を国会に提出してきたが、新法1本と10本の関連法改正を1本にまとめるという乱暴極まる方法であった。

これは、法律によって憲法を変えてしまうという許されない方法であり、憲法は為政者を縛るものであるという立憲主義を公然と踏みにじるものであった。大多数の憲法学者や元内閣法制局長官が「この法案は憲法に違反する」と判断をしたのは当然であり、専門家の声をこぞと「憲法違反の安保法制」との認識は国民各層に着実に広がっている。400近い地方自治体が「安保法制反対」「慎重審議」を求める決議を上げ、各種世論調査では「法対法」と共に「政府の説明が不十分」「今国会で成立させる必要はない」という意見が圧倒的である。それにも関わらず、与党は今日の暴挙でこれらに応えたのである。

参議院の審議では、「集団的自衛権行使の明確な基準がなく、時の内閣に武力行使を自任責任を負わせることになる」など、この間明らかになった問題点を徹底追及する。同時に全国から澎湃（ほうはい）として巻き起こっている「憲法違反の戦争法案を葬ろう」という声に共鳴し、野党協力を一層密にして活動する。

立憲フォーラムはその役割をしっかり担い、「殺さない、殺させない」という平和主義を貫いてきた戦後日本を守り抜く。

立憲フォーラム代表 近藤昭博
事務局長 江崎孝

二度と戦争はしない

県下を走りつなぐ

平和の火リレー

第31回反核平和の火リレーが7月21日にスタート

加西市での公契約条例制定への歩みを講演する西村市長

時職員の民間転籍問題に反対し、市長選に立候補、勝利し、転籍問題は白紙撤回へ。マニフェストの1つに公契約条例も入れ、財政の壁も突破、三木市での成立も実現へのポイントであった」と述べた。

加西市職員ユニオンは「今回の条例制定で労働条件が改善となった。今後の展開は県下自治体への広がりをどうつなぐっていくか」と締めくくった。

冒頭、平和友好祭兵庫県実行委員会の藤原敏也実行委員長（自治労兵庫県本部青年部長）が戦後70年や、7月16日に衆議院で強行採決された安保法案、そして原発問題をあげながら「我々、私たちの子や孫に、戦争や核の不安を残さないよう、今年



第一ランナーに平和の火を渡す

も、反核・反核を訴え、平和な社会とは何かを考えながら走りつなごう」と決意表明した。

各組合、団体、政党、県からのあいさつ後、藤原実行委員長から第一ランナーに平和の火が渡され、出発した。平和の火は県内を一週し8月10日神戸市役所に到着予定である。

介護職員②社協③自治体福祉行政組合員の3分団会を実施した。

分散交流会では、各職場で悩みなどを出し合い、交流した。

ZENROSAI 7月15日号で募集期間・申込書提出期限の日裡に誤りがありました。お詫ひし訂正します。

じちろうセット共済

新規加入・保障増額の機会を特別に追加！
ぜひ、この機会に保障 死亡保障 医療保障 の点検を！

スポット募集のご案内

募集期間	2015年11月1日～2016年6月末日
募集期間	2015年8月13日～2015年9月14日
申込書提出先	所属する組合事務所
申込書提出期限	2015年9月14日（月）

※兵庫県職員労働組合および尼崎職員労働組合は、今回のスポット募集は行いません。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。 全労済自治労共済本部兵庫県支部 TEL : 078-392-0821

ご契約にあたってはパンフレットをご覧ください。 自治労共済本部

団体生命共済 長期共済 税制適格年金 親子共済

自治ひろこ

1458号

2015. 8. 15

月2回(1日・15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。
自治労兵庫本部
書記長/尾西亮太郎・編集人/高本誠之

人事院勧告特集号

この「自治ひろこ」は、人事院勧告の特集号となります。勧告内容について不明な点がありましたら、自治労兵庫本部までお問い合わせ下さい。

全日本自治団体労働組合 兵庫県本部
〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-382-0820 FAX.078-382-0820
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: hyogo@jichiro-hyogo.jp

2015人勸

月例給

0.36%

一時金0.1月の増

現給保障で引き上げ効果少なく

8月6日、人事院は国会と内閣に対して2年連続となる引き上げ勧告を行った。国家公務員給与を平均で0.36%引き上げ、勤続手当についても0.1月分引き上げた。行政給料表(一)では初任給をはじめ若年層を中心に2500円、それ以外の層は1000円の引き上げとなるが、給与制度の総合見直しによる現給保障の期間であり、その効果は少ない。地域手当は今年4月に波及して0.5〜2%引き上げる。また、来年4月には昨年勧告した支給率に引き上げを及ぼしている(図表参照)。一方、国家公務員の勤務時間制度では、フレックスタイム制の対象を来年4月から希望する全国家公務員に拡大する。雇用と年金の接続については、引き続き検討される。公務員連合会は、人事院勧告の完全実施と給与法の早期成立を求めるとともに、地方権限競争に全力を上げるとの声明を出した。以下、報告、勧告の全文。

平成27年度の月例給、勤続手当、一時金の引き上げ勧告を行った。国家公務員給与を平均で0.36%引き上げ、勤続手当についても0.1月分引き上げた。行政給料表(一)では初任給をはじめ若年層を中心に2500円、それ以外の層は1000円の引き上げとなるが、給与制度の総合見直しによる現給保障の期間であり、その効果は少ない。地域手当は今年4月に波及して0.5〜2%引き上げる。また、来年4月には昨年勧告した支給率に引き上げを及ぼしている(図表参照)。一方、国家公務員の勤務時間制度では、フレックスタイム制の対象を来年4月から希望する全国家公務員に拡大する。雇用と年金の接続については、引き続き検討される。公務員連合会は、人事院勧告の完全実施と給与法の早期成立を求めるとともに、地方権限競争に全力を上げるとの声明を出した。以下、報告、勧告の全文。

国家公務員給与を平均14600円(0.36%引き上げ)とする。勤続手当は平均17000円(0.1月分引き上げ)とする。月例給の引き上げは、勤続手当の引き上げに引き続く。また、地域手当の引き上げは、今年4月に波及して0.5〜2%引き上げる。また、来年4月には昨年勧告した支給率に引き上げを及ぼしている(図表参照)。一方、国家公務員の勤務時間制度では、フレックスタイム制の対象を来年4月から希望する全国家公務員に拡大する。雇用と年金の接続については、引き続き検討される。公務員連合会は、人事院勧告の完全実施と給与法の早期成立を求めるとともに、地方権限競争に全力を上げるとの声明を出した。以下、報告、勧告の全文。

公務員連合会は、人事院勧告の完全実施と給与法の早期成立を求めるとともに、地方権限競争に全力を上げるとの声明を出した。以下、報告、勧告の全文。

- 人事院は、本日、月例給を0.36%、1,469円引き上げ、一時金の支給月数を0.10月引き上げる勧告・報告とフレックスタイム制を拡充する内容の勧告を行った。
- 2015人勸期の取組みについて、公務員連合会は、民間等の賃上げ状況や物価の動向を踏まえ、月例給、一時金のいずれについても引上げ勧告を実施するため、中央・地方、職場での取組みを進めてきた。
8月18日の要求提出では、「給与制度の総合見直しで影響を受ける職員が多いことについて、本年勧告で留意すべき」ことを要請し、以降、幹事クラス交渉委員による職員団体審議官交渉、全国から3,000名を結集した7.28中央行動を背景として書記長クラス交渉委員による職員福祉、給与両局長交渉を行うなど、人事院との交渉・協議を最終盤までねばり強く取り組んだ。
- 給与について、月例給及び一時金を2年連続で引き上げることとしたのは四半世紀ぶりのこととなるが、組合員の期待に一定程度応えるとともに、民間の賃上げ動向を踏まえた当然の結果である。
給与制度の総合見直しが段階的に進められ、現給保障が行われているものにおいて、賃給月額幅広い改善は現給保障解除後の給与水準を引き上げるものであり、経過措置廃止時の影響を緩和するとともに退職手当に反映されることなど、高齢層にも配慮したものと受け止める。一方、結果として原資の多くを地域手当の4月波及改定に充てたことは制度上やむを得ないとしても、不満が残るものであった。
一時金について、昨年に引き続き勤続手当の引上げに充てたが、育児休業者や非常勤職員等への配慮については課題が残った。
勤務時間関係について、超勤の縮減に積極的な姿勢を示したことは評価できるが、問題は、真に実効性のある縮減策が具体化できるか否かである。フレックスタイム制の拡充勧告は、働き方の幅を広げるものであり、女性職員活躍、ワークライフバランス確保の推進等に資するよう、具体化されなければならない。
再任用について、職員の希望に沿ったフルタイム勤務重視を明確にしたことは当然のことであるが、それを保障する具体策を提案しなかったこと、限定的な定年延長の早期実施に向け踏み込まなかったことは残念と言わざるを得ない。

4. 以上のことから公務員連合会は、今後、政府に対して、本年の給与改定及びフレックスタイム制の拡充について、勧告通り実施することを求めていく。
さらに、これから本格化する地方自治体や独立行政法人、政府関係法人等の取組みにおいても、全力で取組みを進めることとする。

2015年8月6日
公務員労働組合連絡会

(一) 給与改定率
(ア) 給与改定率
(イ) 給与改定の状況

(二) 退職給付
(イ) 退職給付の状況

(三) 労務管理
(イ) 労務管理の状況

(四) 研修
(イ) 研修の状況

(五) 健康
(イ) 健康の状況

(六) その他
(イ) その他の状況

(七) 総括
(イ) 総括

Table with 4 columns: 項目 (Item), ベースアップ (Base Up), ベースアップ中 (Base Up Mid), ベースアップなし (Base Up None), ベースアップダウン (Base Up Down). Rows include 退職給付 (Retirement Pay), 研修 (Training), 健康 (Health), etc.

Table with 4 columns: 項目 (Item), 定期昇給制度あり (Regular Salary Increase System Available), 定期昇給実施 (Regular Salary Increase Implemented), 退職 (Retirement), 昇進 (Promotion), 異動 (Transfer). Rows include 昇給率 (Salary Increase Rate), 異動率 (Transfer Rate), etc.

Table with 3 columns: 項目 (Item), 国庫公務員給与② (National Public Employee Salary 2), 民間給与① (Private Salary 1). Rows include 平均給与 (Average Salary), 最高額 (Maximum Amount), etc.

平成26年度の給与改定率は、民間給与改定率と同様に、給与改定率を2.2%と見込んでおります。このうち、昇進による給与改定率は1.2%、異動による給与改定率は1.0%、退職による給与改定率は0.0%、昇給による給与改定率は0.0%と見込んでおります。

退職給付の状況は、退職給付の支給額が前年度より増加しております。これは、退職給付の支給額が増加していることによるものです。

別表第4 民間における特別給の支給状況

Table showing special allowance payment status in private companies. Columns: 区分 (Division), 事務・技術等従業員 (Administrative/Technical Staff), 技術・労務等従業員 (Technical/Labor Staff). Rows: 平均所定内給与月額 (Average Fixed Salary Monthly), 特別給の支給額 (Special Allowance Payment Amount), etc.

(注) 1 下半年とは平成26年8月から平成27年1月まで、上半期とは同年2月から7月までの期間をいう。 2 年間の平均は、特別給の支給割合を国家公務員の人員構成に合わせて求めたものである。 備考 国家公務員の場合、現行の年間支給月数は、平均で4.10月である。

別表第5 平成27年度の地域手当の級別別支給割合

Table showing the ratio of regional allowance payment by grade in Heisei 27. Columns: 見直し後の級地 (見直し後の地域手当) (Revised Grade/Regional Allowance), 見直し前の級地 (見直し前の地域手当) (Previous Grade/Regional Allowance), 改定幅 (Revision Rate), 平成27年度の地域手当の支給割合 (平成27年度地域手当支給割合), うち過及改定分 (うち過及改定分).

(注) 1 「改定幅」は、見直し後の地域手当の支給割合と見直し前の地域手当の支給割合との差を示す。 2 医師等に係る地域手当の特例措置（見直し前15%）は、見直しにより18%（改定幅は1）となるが、平成27年度の地域手当の支給割合は15.5%（うち過及改定分0.5%）である。

(八) 給与改定率
(イ) 給与改定の状況

(九) 退職給付
(イ) 退職給付の状況

(十) 労務管理
(イ) 労務管理の状況

(十一) 研修
(イ) 研修の状況

(十二) 健康
(イ) 健康の状況

(十三) その他
(イ) その他の状況

(十四) 総括
(イ) 総括

(十五) 給与改定率
(イ) 給与改定の状況

(十六) 退職給付
(イ) 退職給付の状況

(十七) 労務管理
(イ) 労務管理の状況

(十八) 研修
(イ) 研修の状況

(十九) 健康
(イ) 健康の状況

所得水準	配当金に 変動がある	配当金に 変動がない
78.5	(90.3)	(84.9)
83.5	(9.7)	(15.1)

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

配当金に
変動がある

78.5 (90.3) (84.9) (9.7) (15.1) 83.5

配当金に
変動がない

行政職俸給表(一)

Table with columns for grade (職階), position (職名), and salary (俸給). It lists various administrative roles and their corresponding salary scales across different grades.

行政職俸給表(二)

(単位:百円)

Table with 5 columns for grade and 3 columns for each grade, containing salary ranges and step increments. Includes a '西局' (West Bureau) section at the bottom.

(1) 労働時間短縮の促進
 (2) 労働時間短縮の促進
 (3) 労働時間短縮の促進
 (4) 労働時間短縮の促進
 (5) 労働時間短縮の促進

労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進

労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進

労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進

公務員人事管理に関する報告の骨子

1 人材の確保及び育成
 (1) 多様な有能な人材の確保
 (2) 研修の充実
 (3) 研究の促進
 (4) 人材の確保及び育成
 (5) 人材の確保及び育成

労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進
 労働時間短縮の促進

私たちは自治労の代表 参議院議員 **えさきたかし** 活動を通じて政策実現を図っています。

自治労の政策要求

- 地域密着の公共サービスを ● 男女がともに輝く社会を
- 持続可能な格差のない社会を ● 地域分散型エネルギー社会を
- 全世代対応の社会保障制度を ● 平和な国際社会の実現を

えさきたかし プロフィール
 1956年福岡県柳川市(旧三橋町)出身。79年法政大学社会学部卒業後、旧三橋町役場入職(現柳川市)。04年自治労福岡県本部書記長。07年自治労中央本部労働局長。10年第22回参議院議員選挙で初当選。現在、地方・消費者問題特別委員会委員長、総務委員、決算委員、デフレ脱却調査委員、立憲フォーラム事務局長、公営競技政策議員懇談会事務局長、消防政策議員懇談会事務局長。

えさきたかし 検索

給与勧告の骨子

○ 本年の給与勧告のポイント

月例給、ボーナスともに引上げ

- ① 民間給与との較差 (0.36%) を埋めるため、俸給表の水準を引き上げるとともに、給与制度の総合的見直しにおける地域手当の支給割合を引上げ
- ② ボーナスを引上げ (0.1月分)、民間の支給状況等を踏まえ勤勉手当に配分

給与制度の総合的見直し

平成28年度において実施する措置

- ① 地域手当の支給割合の引上げ
- ② 単身赴任手当の支給額の引上げ

I 給与勧告制度の基本的考え方

- ・ 国家公務員給与は、社会一般の情勢に適切に対応するように国会が随時変更することができる。その変更に関し必要な勧告・報告を行うことは、国家公務員法に定められた人事院の責務
- ・ 勧告は、労働基本権制約の代償措置として、国家公務員に対し適正な給与を確保する機能を有するものであり、能率的な行政運営を維持する上での基盤
- ・ 公務には市場の抑制力という給与決定上の制約がないことから、給与水準は、経済・雇用情勢等を反映して労使交渉等によって決定される民間の給与水準に準拠して定めることが最も合理的

II 民間給与との較差に基づく給与改定

1 民間給与との比較

約12,300民間事業所の約50万人の個人別給与を現地調査 (完了率37.7%)

<月例給> 公務と民間の4月分給与を調査し、主な給与決定要素である役職段階、勤務地域、学歴、年齢の同じ者同士を比較

- 民間給与との較差 1,469円 0.36%
(行政職(一)…現行給与 408,966円 平均年齢43.5歳)
(俸給 280円 地域手当 1,156円 はね返り分(注) 33円)
(注) 俸給等の改定に伴い諸手当の額が増減する分

<ボーナス> 昨年8月から本年7月までの直近1年間の民間の支給実績(支給割合)と公務の年間の支給月数を比較

- 民間の支給割合 4.21月(公務の支給月数 4.10月)

2 給与改定の内容と考え方

<月例給>

(1) 俸給表

① 行政職俸給表(一)

初任給は、民間との間に差があることをふまえ1級の初任給を2,500円引上げ。若年層についても同程度の改定。その他は、給与制度の総合的見直し等により高齢層における官民の給与差が縮小することとなることをふまえ、それぞれ1,100円の引上げを基本に改定(平均改定率0.4%)

② その他の俸給表

行政職(一)との均衡を基本に改定。指定職俸給表は行政職(一)の引上げをふまえ、各号率について1,000円引上げ

(2) 初任給調整手当

医療職俸給表(一)の改定状況を勘案し、医師の処遇を確保する観点から、所要の改定

(3) 地域手当

給与制度の総合的見直しを円滑に進める観点から、支給割合について給与制度の総合的見直しによる見直し後の支給割合と見直し前の支給割合との差に応じ、0.5~2%引上げ

<ボーナス>

民間の支給割合に見合うよう引上げ 4.10月分→4.20月分

民間の支給状況等をふまえ、勤務実績に応じた給与を推進するため、引上げ分を勤勉手当に配分

(一般の職員の場合の支給月数)

		6月期	12月期
27年度	期末手当	1.225月(支給済み)	1.375月(改定なし)
	勤勉手当	0.75月(支給済み)	0.85月(現行0.75月)
28年度	期末手当	1.225月	1.375月
	以降 勤勉手当	0.80月	0.80月

[実施時期]

- ・ 月例給：平成27年4月1日
- ・ ボーナス：法律の公布日

3 その他の課題

(1) 配偶者に係る扶養手当

本年の調査の結果、民間では、配偶者に対して家族手当を支給し、配偶者の収入による制限を設ける事業所が一般的。今後とも、民間企業における家族手当の見直しの動向や、税制及び社会保障制度に係る見直しの動向等を注視しつつ、扶養手当の支給要件等について、必要な検討

(2) 再任用職員の給与

民間企業の再雇用者の給与の動向や各府省における再任用制度の運用状況等をふまえ、引き続き、そのあり方について必要な検討

III 給与制度の総合的見直し

1 給与制度の総合的見直しの概要

国家公務員給与における諸課題に対応するため、昨年の勧告時において、俸給表や諸手当のあり方を含めた給与制度の総合的見直しを実施することとし、具体的な措置の内容及び実施スケジュール等の全体像を示し、給与法の改正により、本年4月から本格的に実施。今後、諸手当の見直し等について、人事院規則の改正により段階的に実施し、平成30年4月1日に完成

2 平成28年度において実施する事項

(1) 地域手当の支給割合の改定

平成28年4月1日から給与法に定める支給割合に引上げ

(2) 単身赴任手当の支給額の改定

基礎額を平成28年4月1日から4,000円引き上げ、30,000円に改定
加算額の限度について、基礎額の引上げを考慮して、平成28年4月1日から12,000円引き上げ、70,000円に改定

* 広域異動手当は、給与法の改正により、平成28年4月1日以後に異動した職員に係る支給割合が、異動前後の自宅間の距離が300km以上の場合は10%に、60km以上300km未満の場合は5%に引上げ

勤務時間に関する勧告の骨子

○ 勤務時間に関する勧告のポイント

適切な公務運営の確保に配慮しつつ、原則として全ての職員を対象にフレックスタイム制を拡充(平成28年4月実施)

- ・ フレックスタイム制の適用を希望する職員から申告が行われた場合、公務の運営に支障がない範囲において、始業及び終業の時刻について職員の申告を考慮して、勤務時間を割り振る
- ・ 組織的な対応を行うために全員が勤務しなければならない時間帯(コアタイム)等を長く設定するなど、適切な公務運営の確保に配慮
- ・ 育児又は介護を行う職員に係るフレックスタイム制は、より柔軟な勤務形態となる仕組み

1 フレックスタイム制の拡充の必要性

- ・ 近年、ワーク・ライフ・バランスの重要性についての意識が我が国全体で高まっており、価値観やライフスタイルの多様化とともに働き方に対するニーズが多様化
- ・ 「国家公務員の女性活躍とワークライフバランス推進のための取組指針」(平成28年10月)の中で、各府省等における適切な公務運営を確保しつつ、幅広い職員がより柔軟な働き方が可能となるようなフレックスタイム制の導入について、本院に対し、検討の要請
- ・ 職員に柔軟で多様な勤務形態の選択幅を用意することは、職員がその能力を十分に発揮し、高い士気をもって効率的に勤務できる環境を整備することとなり、公務効率の一層の向上にも資する。
また、職員の仕事と育児や介護等との両立を推進するとともに、人材確保にも資する

2 フレックスタイム制の拡充の概要等

(1) 概要

原則として全ての職員を対象とし、適用を希望する職員から申告が行われた場合、各省各庁の長は、公務の運営に支障がないと認められる範囲において、始業及び終業の時刻について職員の申告を考慮して、4週間ごとの期間につき1週間当たり38時間45分となるように当該職員の勤務時間を割り振ることができる

コアタイムは、月曜日から金曜日までの毎日5時間設定

育児又は介護を行う職員については、割振り単位期間を1週間から4週間までの範囲内において選択して設定できるとともに、日曜日及び土曜日に加えて休日を1日設けることができる

コアタイムは、毎日2時間以上4時間30分以下の範囲内で設定

現行のフレックスタイム制の適用対象とされている職員についても、その申告により新たなフレックスタイム制を適用することができる。交替制等勤務職員その他業務の性質上特定の勤務時間で勤務することを要する職員として人事院規則で定める職員は、新たなフレックスタイム制の対象から除外

(2) 適用に当たっての考え方

希望する職員には可能な限り適用するよう努めることが基本。なお、業務の性質上適用が困難な場合、必要な体制を確保できない場合等、公務の運営に支障が生じる場合には適用ができない

適用する場合には、公務の運営に支障が生じない範囲内で、当該職員の申告を考慮しつつ、勤務時間帯や勤務時間数を割り振る。育児又は介護を行う職員については、できる限り、当該職員の申告とおりに割り振るよう努めることが適当

3 フレックスタイム制を活用していくための留意点

一人一人が責任感と自覚心を持って業務を遂行することにより、これまで以上に効率的な仕事の進め方やより柔軟な働き方が推進され、一層効率的な行政サービスを提供
フレックスタイム制の実施に伴い超過勤務が増加しないようにする必要があるのみでなく、超過勤務を削減する方向での働き方の推進が重要

4 フレックスタイム制の拡充の実施時期

平成28年4月1日から実施

自治ひょうご

1459号

2015. 9. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円
購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

当面の日程

4～5日 公企評第17回総会(新たんば荘)
5～6日 第32回自治体に働く障害者のつどい
(ゆめ春来)

11～13日 県本部第17次沖繩視察団
13日 臨職評第21回総会(共済会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL.078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp



最優秀選手に選ばれた津田投手(神戸市役)

野球は神戸市従3連覇 バレー 豊病、佐用惜敗

8月3・4日、近畿地連ス
ポーツ大会が県内で開催され
た。尼崎の野球大会には神戸
市従、篠山市職労と初出場の
加古川市職労が出場。神戸が
3連覇のプレッシャーをはね
のけ優勝、加古川、篠山は一
歩およばず1回戦で敗れた。
伊丹の女子バレーボール大
会には佐用町職と豊岡病院労
組が初出場。豊岡は1セット
を取り、佐用も一進一退のラ
リィを展開したが惜敗、豊中
市職が12年連続優勝した。

憲法違反の戦争法案阻止



1000人委員会ひょうごが主
催した豊岡学習会には、
民など100人が参加した

憲法違反の戦争法の国会審議がヤマ場を迎え、全
国各地で「反対」の声が高まっている。県内でも
1000人委員会ひょうごを中心に学習会や街頭行
動が展開された。参議院での審議は9月14日付近が
ヤマ場になり、国会前座り込みも予定されている。

戦争を合法化するため 「自衛」口実に戦争した歴史

戦争をさせない1000
人委員会は、8月10日に豊
岡市民会館において「自衛
権は国家の当然の権利？」
と題し、浦部法徳神戸大学
名誉教授からの講演を中心
に学習会を開催した。

1000人委ひょうご
豊岡で学習会

県本部役員選挙

立候補受付 9月14～24日

県本部は6月の中
央委員会第66回定
期大会に向けた選挙
管理委員会を設置、
8月7日の第1回選
挙委員会を経て、8
月10日付で役員選挙
公示第1号を发出了
した。

立候補届受付は、
9月14日(月)午前
9時～9月24日(木)
午後5時まで。
選挙(選挙および
信任投票)は、9月
26日の定期大会で
実施する。選出する
の職員および人
員第1号」を参照。

くぼ宗一さん 3期目に挑戦

9月27日投票日
る猪名川町議会議員選挙
に、組織内のくぼ宗一さん
が挑む。くぼさんは、07年
に初当選、現在2期目。学



童保育の直営復帰に取り組
み、まちづくり条例制定に
奮闘している。今回の選挙
は現職全員と有力な新人や
元職が立候補予定の厳しい

ネットワーク情報152
号の案内
・小野裁判第1回期日
・三田市長選挙の結果
・県本部ホームページから
も見る事ができます。

に学習会を開催した。
講演では「第1次大戦以
後に国際的な戦争違法論が
議論され、その中で戦争を
合法化するために戦勝国で
あるアメリカを中心に自衛
権が持ち出されるように
なった。第2次世界大戦、
その後の戦争も「自衛」を
理由に行われている。自衛
権に「個別」も「集団」も
ない。また、自衛権を国家
固有の権利とすることは誤
りである」と、過去に行わ
れた武力行使の事例を説明



元町駅前での街頭行動

8月21日、1000人委
員会ひょうごはJR元町
駅など県内6カ所で「戦争法
反対の街頭宣伝を行った。
自治労は三田と元町の責任
団体を担い、市民と一緒に
ビラ配布署名を行った。

29日には弁護士会が神
戸・尼崎・姫路・豊岡の県内
4カ所で集会とパレード
を実施。1000人委員会
ひょうごはパレード終了
後、元町駅で集会と街頭宣
伝を行った。
また8月30日は「全国総
がかり行動」として、全国
各地で100万人、国会前
10万人集会が呼びかけられ
た。県本部は執行委員を中
心に大阪・扇町公園で行わ
れた集会に結集した。

今回の学習会には約10
0人が参加したが、労働組
合員以外の一般市民も多く
みられ戦争法案に対する関
心の高さがうかがえた。



ダブルバインド

選挙。「地域が起点のまち
づくり」に取り組みと決意
を語る。支援を。
選考の確立というが、業務
の繁閑に合わせた勤務時間
の変更が懸念される▼一方
で、雇用と年金の接続とい
う生活に直結する問題につ
いては明確な言及はない。
人事院とは何のためにある
のかと言いたくなる。公務
員労働者の労働基本権制約
の代償機関であることを
もっと自覚してもらいたい
ものだ。中央官僚のお手盛
り勧告に強く抗議する。

病院前の朝日



病院の組織化めざす

栗 栗 学習会を企画・実施 央 市 職 労

県内の自治体病院で唯一組織化されていないのが公立栗栗総合病院。いま、栗栗市職労、播磨ブロック、県本部が一体となって組織化に向けて取り組んでいる。7月21日と31日に「地域医療をとりまく情勢」について、職員向け研修会を実施。それに先立ち5日間、早朝から案内チラシの配布を行った。当初何が起こるか不思議な顔をしている。

安全衛生月 各ブロックで職場点検



西宮市越水浄水場の点検を行う

危険箇所、転落防止 やまなみ苑視察後、意見交換

阪神淡路ブロックでは、水道部会が7月22日に西宮市越水浄水場で、現業評議会が8月11日に洲本市・南あわじ市衛生事務組合ややまなみ苑(清掃センター)で、それぞれ職場安全点検活動を行った。

水道部会では、13年に竣工した越水浄水場の施設概要、職場の安全衛生の取り組みについて説明を受け、

播磨ブロックは、現業評議会が7月2日、三木市清掃センターで職場点検活動を実施した。委託先の職員

から施設の概要説明を受け、職場点検活動を実施した。職場点検による大きな問題はなかったが、同時期に「三木市における清掃職場のごみ収集と焼却の両方とも2025年をめどに民

新規採用にこだわる 現業公企闘争へ意思統一

8月7日、舞子ピラで、27単組119人参加のもと、15現業評議会総会が開催された。主催者を代表した職員も、日の経過とともに「連日ご苦労さまです」の声をかけてくれるようになった。

て長谷川克彦議長は、「現業職場を取り巻く情勢は厳しいが、市民から必要とされるサービスの担い手として、直営堅持を基本とした新規



採用を勝ち取るべく、2015現業公企統闘争勝利に向け全力をあげよう」と努めた。

あいつと決意を述べた。

総会後は、一般現業など各部会で交流。この内学校部会では、体育館が避難所になったことを想定した「避難所運営ロールプレイ」を行なった。

管理者に改善を要求

赤穂病院「改善する」と回答

播磨ブロック

職場環境、職員の健康診断について話し合われた。現評でも、労働安全衛生の取り組みについて説明を受けた後、施設内の巡視を行った。危険箇所の表示、転落防止、整理整頓について感想や質問が出された。

アレルギー食対応へ 独立スペース必要

村岡学校給食センター

但丹ブロック



最新のシステムで快適な環境

場安全衛生点検活動を実施した。昨年4月より稼働したこの施設には、臨時嘱託等9人の調理員が働いている。今回は夏休み期間で、通

常の作業状態ではなかったが、施設は最新のドラインシステムであり、空調も完備し夏でも涼しく、快適な環境で、作業同線も床の色で区域分けされていた。

センターは最新の施設で、指摘事項はほとんどなかったが、アレルギー食に対する独立したスペースの確保や更衣室と休憩室を分けるなど、一部改善すべき事項について当局へ報告し改善を要請した。

間委託する」と労使合意なしに新聞発表され、三木市職現業評議会でも大きな問題となっている。

また医療評は、7月7日、赤穂市民病院で職場点検を実施。どの職場も明るく、広く、清掃もよくされている。休憩室や仮眠室なども十分に整備されていて好評

価であった。医療監査の際に指摘される点について管理者に職場改善を要求し、改善する旨回答を得た。

参議院議員

えさきたかし

つながろう。ともに声を上げ、明るい未来を咲かせよう。

プロフィール
1956年福岡県(現山口県)生まれ。79年法政大学社会学部卒業。社1期の中野入籍(現職)1974年自治労兵庫県本部副議長、07年自治労兵庫県本部議長。09年第22回参議院議員選挙で初当選。岡山、地方、消費者問題特別委員会委員長、総務委員会、決算委員会、地方創生調査委員会、立憲フォーラム事務局、国民生活保障委員会副委員長、国土交通政策調査会副委員長。

自治労は第148回中央委員会で「えさきたかし」を第24回参議院議員選挙の組織内候補として決定しています。

じちろう

マイカー共済は

自動車総合補償共済

『標準型』から

全労済 全国労務共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
※日本自治労連労務共済生活協同組合

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済は、安楽を目的としない保障の生命として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と命と暮らしを守るために活動しています。お預金を大切にしたい方は、共済共済をご利用ください。

ZENROSAL NEWS

ベースは『標準型』

組合員とその家族に手頃な掛金で安心を提供する“じちろうマイカー共済”の基本補償が『標準型』。この『標準型』をベースにさまざまな特約や割引、車両損害補償などを組み合わせ、よりニーズにあった補償にできます。

ご契約にあたっては、パンフレットをご覧ください。

県人事委員
会報告

月例給、一時金ともに引き上げ

「総合的見直し」も勧告 県職労は断固反対

県人事委員会は10月24日、今年度の「職員の給与等に関する報告と勧告」を行った。月例給・一時金を引き上げる一方、国と同様に「給与制度の総合的見直し」を実施するよう勧告した。ただ、県職労の粘り強い対人事委員会交渉や、県内単組からの要請行動もあって、地域手当、現給保障（06給与構造改革分）については、「本県の実情を考慮する」との見解を引き出すことができた。7年におよぶ賃金独自カットは、「段階的縮小が着実に実施されることを要請する」と、これまで以上に踏み込んだ表現がされた。県職労は、強く反対してきた「給与制度の総合的見直し」を、国単地だけを理由に勧告したことは、第三者機関としての役割を放棄するものであり、断じて容認できないとし、別掲の共同声明を発表した。県本部は14確定闘争のヤマ場を第1波・11月14日(金)、第2波・11月21日(金)に設定し、生活改善に取り組む。組合員が結集して、確定闘争を前進させよう。

県人事委員会の概要は次の通り。

1 給与改定等 (2014年4月実施)

- (1)月例給
 - 平均0.3%の引き上げ
 - ※給与抑制措置前の較差(1,202円/0.29%)
- 若年層に重点を置き改定、高齢層は改定なし
- ・初任給 2,000円引き上げ
- (2)一時金
 - 年間3,95月→4,10月(0.15月引き上げ)
 - ・6月期/12月期の勤勉手当(に均等配分)
- (3)通勤手当(交通用具使用者)
 - ・国の改定を基準に、職員の通勤実態を考慮して改定
- ・高速道路等の利用に係る特別料金等加算 (2015年4月実施)
- (4)寒冷地手当(2015年4月実施)
- ・人事院勧告の見直しに準じて見直し

2 給与制度の総合的見直し (2015年4月実施)

- (1)給料表
 - ・平均△2%：若年層(2～3級の一部)は△なし、4級以上の高位号給は最大△4%
 - ・号給数：国における所用の経過措置等と同様の措置を講じる
 - (2)地域手当
 - ・国および他の都道府県の改定状況、民間給与の状況および本県の実情を考慮して、適切な措置を講じる
 - ※本県の実情の考慮：①地域の一体性を考慮する事情②現在の措置状況およびそれに至る経緯【「地域区分は3区分が適当」「地域間較差は5%程度」(07勧告)】とした経緯が含まれる】
 - (3)単身赴任手当・管理職員特別勤務手当
 - ・国基準で改定
- 3 独自カット(報告文の「おわりに」)
 - ・地公法に定める給与決定の原則に基づく適正な

給与水準が早期に確保されるよう、関係者が最善の努力を尽くされ、第3次行革プランに基づく段階的縮小が着実に実施されることを要請する。

適切に対応する必要

※本県の実情：①国より現給保障対象者が多く額も高い②看護職等には、2000年4月からの給料表改定の現給保障もある③2008年4月から給与抑制措置が行われていること

- 4 現給保障 (06給与構造改革分)
 - ・国は2014年3月末に廃止。国及び他の都道府県との共同声明全文】

2014兵庫県人事委員会勧告に対する共同声明

- 兵庫県人事委員会は、10月24日、民間給与が独自カット前の職員給与を1,202円(0.29%)上回り、一時金についても、民間における年間支給月数が4.12月として、人事院勧告の内容に準じた引き上げ勧告を行うとともに、交通用具使用者の通勤手当の改定を勧告し、高速道路利用に係る特別料金等加算の支給要件の緩和を勧告した。しかしながら、月例給の引き上げは、今年も独自カット前の公民教団に基づくものであり、この間、私たちが強く求めてきた「独自カットの中止勧告」とならなかったことは、極めて遺憾であるが、報告において、「地方公務員法に定める給与決定の原則に基づく適正な給与水準が早期に確保されるよう、関係者が最善の努力を尽くされ、第3次行革プランに基づく段階的縮小が着実に実施されることを要請する」と言及した。
- 「給与制度の総合的見直し」については、国に準じて給料表の引き下げを勧告する一方で、行政職4級・5級・7級で4号給延長し、地域手当については、「本県の実情を考慮し、適切な措置を講じる必要がある」とするとともに、現給保障、昇給抑制、単身赴任手当の段階的引き上げは「国における所要の経過措置等と同様の措置を講じる必要がある」とされた。
- 兵教組・県職労は、7年にも及ぶ長期の独自カットによって、厳しさを増す職員の生活を改善し、土気高揚につながる勧告、及び給与水準の引き下げにつながる「給与制度の総合的見直し」は報告・報告しないよう強く求めてきた。しかし、国陣営を理由に「給与制度の総合的見直し」を勧告したことは、第三者機関としての役割を果たしたとは言えず、断じて容認できるものではなく、強く抗議する。また、本年度改定分として、給料表の引き上げた6年ぶり、一時金の支給月数増は7年ぶりとなるが、給料表において高位号給への配分がないこと、一時金の引き上げが勤勉手当への配分とされたことは不満が残る。加えて、給与構造改革における現給保障については、本年も報告で触れられたことは遺憾である。
- 一方、地域手当については、長年求めてきた一律支給の要求には応えなかったものの、「本県の実情の考慮」として、2007年勧告・報告における「概ね5%程度の地域間較差が認められること」「支那地域区分は3区分が適当」とされた経緯を踏まえたものとした。また、人事委員長から、さらなる号給延長要求に対しては、「任職者の実態をみたらうと、必要な場合は検討し、現給保障、昇給抑制などについては、「国と全く同じでなければならぬ」と考えているわけではない、今後の給与水準については、「総合的見直しに伴って、国と本県の実情を看過し、たいへん痛切に感じられる傾向がある」との見解を引き出すことができた。さらに、給与構造改革における現給保障についても、「本県の実情を考慮し、適切に対応」とされたことは、私たちの強い思いを一定踏まえたもので、今後の賃金決定交渉への足りりとなるものと受けとめられる。
- さらに、独自カットの回復に向けては、「地方公務員法に定める給与決定の原則に基づく適正な給与水準が早期に確保されるよう」「段階的縮小が着実に実施されることを要請する」とされたことは、昨年同様報告より、踏み込んだものであり、人事委員会の姿勢が、これまで以上に主体性を持ったものとして、早期回復に向けた、意思が明確に示されたものと理解する。
- 今後、舞台は対抗確定闘争へと移るが、人事委員会が示した見解も足かりに、県当局に対して、雇用者としての責任を重んじつつ、公務労働者の給与決定が多くの民間労働者に波及し、ひいては、兵庫の経済に大きな影響を与えることも十分踏まえ、訴求される現給保障の達成からたたかいていく。そのため、同盟会は共闘体制をさらに強化し、絶力をあげてたたかいていく決意である。

兵庫県教職員組合/兵庫県職員労

2014年10月24日

自治ひび

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集/宮本謙之

No.143
2014.11.17

2波の統一行動に結集を

11月7日 決起集会「総合的見直し」は見送りに

県本部は11月7日、県庁2号館前で2014確定闘争勝利1決起集会を開催し、52組約720人が参加した。委員長あいさつ、書記長提唱、各フロック決意表明を紹介する。

働く者の権利を守る

<森脇守委員長あいさつ>
派遣法改悪など、労働者保護ルールを緩和させる動きが強まっている。連合は北と南からリレーキヤラパンをスタートさせ、本日、兵庫入り。先程大丸前でアピール行動が行われた。働く者の権利を守るため力を強めよう。

確定闘争は、14年4月時点の官民格差を解消させること、15年4月からの「総合的見直し」を実施させないことが焦点となる。2波の統一行動への結集をお願いする。

「総合的見直し」は断固反対

<尾西亮太郎書記長>
11月5日に行った市町振興課との交渉を報告して基調提唱に代えた。

「総合的見直し」に伴う1号抑制を市町振興課は勘弁するというが、国と地方では実情が異なり理にかなっていない。人件費抑制ばかりを主張し、すでに賃金カットをしている自治体への配慮もない。財政悪化の原因は働く者にはない。

「総合的見直しは断固阻止」との立場で、生活を守るために行動をおう。

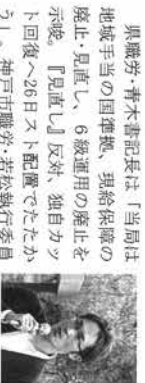
NPPT 1000万人署名運動に協力を

再検討会議
核不拡散条約 (NPPT) の運用状況を検討するため5年ごとに行われる会議に向け、核兵器の廃絶を求めます。みなさんの協力を。



集会後の写真行進

各フロックから力強い決意表明



県職労・青木書記長は「当局は地域手当の国準拠、現給保障の廃止・見直し、6級運用の廃止を示唆。『見直し』反対、独自カット回復へ26日スト配置でたたかう」。神戸市職労・若松執行委員は「職場懇談会、要請署名を実施した。若い職員の期待にこた

八鹿病院の
才木さん

え、高齢層の生活を守るため頑張る」。尼崎市職労・岡田委員長は「地公労6単組で要求提出。人権アラス改定分の実施、非正規の改善、交通の雇用と処遇の確保をめざして取り組んでいる」。明石市職労・大岡委員長は「引き上げと『見直し』はセツト、その上に『定昇を行わない』との提案。給与制度の合理化はすでに整理済みだ。受け入れられない」。八鹿病院職組・才木委員長は「当局内の病院経営の対立により、安心・安全な医療の提供ができない。地域医療と職場を守るため病院の『正常化』を求め、確定にあわせ取り組む」と決意を述べた。この日、青年部・女性部は午前中に決起集会を実施した。詳細は青年女性ニュースで報告。

自治ひび

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集/宮本謙之

No.144
2014.12.02

組織内候補

元よこはたさん

安倍政権の暴走を止めよう



垂水の選挙事務所前で第一声をあげる元よこはたさん

第17回衆議院選挙公示

「一般市民にとってアベノミクスは負の効果しかもたらさなかった。不誠実な安倍政治を止めるため、精いっぱい訴えていきたい」

総選挙公示となった本日、よこはた和幸さんは垂水の選挙事務所ですら第一声をあげ、元気に出陣しました。

「経済政策の信を問う」と、年末の総選挙に打って出た安倍首相。しかし、アベノミクスが功を奏さなかったことは、生活を通して実感しているのではないのでしょうか。

事実、「雇用が増えた」というものの、その内葉は正規が減少して非正規が増加しているにすぎません。さらには、安倍政権下で実施された憲法9条の解釈変更、韓国神社参拝などは、民主主義と人権を脅かし、近隣諸国との緊張を高めています。沖縄では住民の声を無視して新基地建設を進めています。

突然の衆議院解散ですが、このまま安倍政権が

投票日に選挙事務に従事する組合員は、忘れずに期日前投票をお願いします

聞いていけば、残業代ゼロ、生涯派遣、原発再稼働...といった未来が待っています。今回の総選挙は、安倍政権の暴走を止めるチャンスです。県本部は12月1日の執行委員会で、よこはた和幸さんを組織内候補として全力をあげることを承認しました。また各選挙区の推せんも決定しています。全力で取り組みましょう。

- 県本部推せん候補者
- 第2区(兵庫区・北区・長田区) 向山 好一 (57歳・元職)
- 第3区(須磨区・垂水区) よこはた 和幸 (43歳・新人)
- 第6区(川西市・宝塚市・伊丹市) 辻 泰弘 (58歳・新人)
- 第7区(西宮市・芦屋市) 石井 登志郎 (43歳・元職)
- 第11区(姫路市) 松本 剛明 (59歳・5期)

概

安倍政権の暴走に歯止めをかけ、全推選候補の必勝をめざそう

1. 本日、12月2日、第47回衆議院選挙が公示された。今回の総選挙闘争は、安倍政権の暴走を阻止し、民主党を中心とした「中道」「リベラル」勢力の拡大をはかるためにも、絶対に負けることができない闘いである。投票日の14日まで、全推選候補の必勝をめざして、本部・県本部・県組が一体となって、闘い抜こう。

2. 安倍首相は、「アベノミクス」と称する大企業優遇策のさらなる推進を公約としている。しかし、この2年間の経済の実態は、雇用においては非正規が拡大しただけであり、賃金においては、16か月連続の実質賃金の低下を招いただけである。富裕層は株高の恩恵を受けながら、勤労者・低所得層・地方の生活は改善されておらず、社会的格差はさらに拡大する結果となった。また、2018年の参院選挙で自公が勝利し「ねじれ」が解消された以降、安倍政権は特定秘密保護法の強行採決や集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を閣議決定するなど、新保守主義的な政策を強硬に進めてきた。原野についても世論の反対を無視して再稼働を強行しようとしている。

3. 我々は、社会的な公正を重視し、格差を縮小させ、服原君や近藤諸国との協働を基本とする社会をめざしている。しかし、この2年間の安倍政権は、我々がめざす社会像とは真逆の方向にある。「アベノミクス」の推進だけを唱える与党が勝利すれば、経済政策を含めてあらゆる政策について、安倍首相に口紙委任をすることになる。もはや、これ以上、安倍政権の暴走を許してはならない。

4. また、今回の選挙は、民主党を中心とした「中道」「リベラル」な政治勢力による再度の政権交代を展望するうえで、きわめて重要な闘いである。再度の政権交代をめざす基盤をつくるためにも、国会における民進党や社民党などの勢力拡大を実現する必要がある。

5. 闘いは短期間であり、きわめて厳しい情勢だ。しかし、組合員一人ひとりの力を結集すれば、必ず勝利への展望は開ける。我々の求める政策の実現に向けて、民主党や社民党に属する組織内・政策協力候補をはじめとする全ての推薦候補、我々同志を同じくする候補の必勝に向けて組織の総力を挙げて、取り組みを進めていこう。

2014年12月2日
全日本自治団体労働組合
中央執行委員長 氏家 常雄

自治体ネットワーキング情報

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾高亮太郎 編集/宮本誠之

No.145
2014.12.22

戦争反対 幅広い結集めざす

1000人委員会・ひょうご学習会 賛同人ら210人が参加

戦争への道を突き進む安倍政権の暴走に歯止めをかける大衆運動として結成された「戦争をさせない1000人委員会・ひょうご」が12月14日、賛同人を対象に学習会を開いた。自治労県本部内では46里組が賛同団体となっている。学習会では、「さらに幅広い市民や団体を組織していこう」と確認した。

「1000人委員会・ひょうご」の初のカギとなる学習会には、会場（ラッセホール内会議室）を埋め尽くす210人が結集した。呼びかけ人を代表してあいさつに立った坂本三郎さん（解放同盟委員長）は、「私たちが平和・人権・福祉を守る前止めになるう」と職場・地域からの運動を呼びかけた。

当面の取り組みを提案した藤戸卓也さん（平和フォーラム事務局長）は、浦部法徳・神戸大学名誉教授、桂正孝・大阪市立大学名誉教授を呼びかけ人に加えたことに触れ、「幅広い派系結集をつくらう」と強調した。



取り組み提起を開く参加者

「安倍内閣の積極的軍事主義は日本をどう変えるか」をテーマにした学習会では、永山茂樹・東海大学法科大学院教授が安倍政権の動きと問題点を丁寧に説明。最後に「日本人は規律やルールをまじめに守るが、権力者が憲法を守らず、平和や人権を侵害することに無関心。1人でも多くの市民と考え、行動していこう」と訴えた。

第47回衆議院選挙 よこはたさん議席獲得ならず

12月14日に実施された衆議院選挙で、県本部は3区・組織内候補の取り組むべき点、議席を獲得することにはできなかった。ご協力いただいた組合員のみならずには、感謝申し上げます。政治情勢は依然厳しく、公務員たたき加速することとが予想される。引き続き組合員が団結し、来年の統一自治体選挙で前進を勝ち取ろう。

選挙区	候補者名	投票日	年齢	党派	選挙区	得票数 (得票率)	前回得票 前々回	投票率 (前回)
1区	橋本 剛明	11月18日	55	民主党 公認	推薦	90,182 (48.98)	90,760 146,059	48.88% (54.78%)
2区	向山 好一	11月18日	57	民主党 公認	推薦	48,796 (50.88)	43,900 111,209	48.01% (53.08%)
3区	樽畑 和幸	11月18日	43	民主党 公認	推薦	24,402 (15.58)	26,875 62,503	50.59% (57.58%)
4区	岩崎 和幸	11月18日	43	民主党 公認	推薦	61,902 (28.08)	50,270 172,889	51.66% (59.87%)
5区	岩崎 和幸	11月18日	43	民主党 公認	推薦	39,357 (16.28)	53,365 176,017	54.01% (60.18%)
6区	岩崎 和幸	11月18日	43	民主党 公認	推薦	90,182 (48.98)	90,760 146,059	48.88% (54.78%)
7区	石井 豊志郎	11月18日	43	民主党 公認	推薦	90,182 (48.98)	90,760 146,059	48.88% (54.78%)
8区	石井 豊志郎	11月18日	43	民主党 公認	推薦	90,182 (48.98)	90,760 146,059	48.88% (54.78%)
9区	石井 豊志郎	11月18日	43	民主党 公認	推薦	90,182 (48.98)	90,760 146,059	48.88% (54.78%)

囲碁の部 三谷さん、将棋の部 松本さん 優勝

第34回県本部囲碁・将棋大会

県本部は第34回囲碁・将棋大会を12月6日、ひょうご共済会館で開催した。囲碁の部には8県組20人、将棋の部には19県組50人の総勢70人がエントリー、対局時計を渡りて見ながらの対局も数多く見られ、プロによる指導対局や「次の一手」も行われた。



囲碁の三谷さん(上右)と将棋の松本さん(下左)

熱戦の結果、本因坊戦は三谷幸司さん(高砂市職)、名人位戦は松本貴憲さん(姫路市職)が優勝、表彰式はクラスごとに行われ、お互いの健闘をたたえあった。各クラスの優勝者は次のとおり。

囲碁・将棋大会 各クラス優勝者	
【囲碁の部】	(本因坊)
三谷 幸司さん(高砂市職)	(Aクラス)
大前 隆さん(尼崎水労)	(B・Cクラス)
霜田 隆さん(神戸市職労)	(名人位)
【将棋の部】	(名人位)
松本 貴憲さん(姫路市職)	(Aクラス)
日方 大介さん(姫路水労)	(Bクラス)
崎谷 哲哉さん(姫路市職)	(Cクラス)
足立 倫啓さん(丹波市職労)	

「女性の活躍促進」とは

女性部 監修講習会 成長戦略の狙い学ぶ

女性部と監修部は12月21日、7回目となる合同学習会を共済会館で開催した。安倍首相が成長戦略の一環として「女性の活躍促進」を掲げる中、その内容や問題点を学習した。また、正規・非正規問わず女性が働き続けられる職場を実現するため、出産、子育てなどに関わる権利・制度について交流を深めた。



監修講習会 2014/日本/100分/配給:東風
イラク戦争をはじめ10年、10万人以上のイラク人が命を奪われた。いまなお続く難民の中で、彼らは何を見守っているのか？
ジャーナリスト松井健陽が読みつけたイラクでの出来いと別れーある家族との10年の記録。

イラク戦争に読みかざす平和

監修講習会 2014/日本/100分/配給:東風
イラク戦争をはじめ10年、10万人以上のイラク人が命を奪われた。いまなお続く難民の中で、彼らは何を見守っているのか？
ジャーナリスト松井健陽が読みつけたイラクでの出来いと別れーある家族との10年の記録。



取組み報告の様子

女性差別とのたたかひの歴史に触れた松澤さんは、「女性は資本によって都合のいい働き方を強いられ、女性差別の歴史に「女性の活躍」という響きのいい言葉で、働き方を迫られている。女性が力をあわせて権利を守るたかひを行おう」と呼びかけた。全体交流では、「正規と非正規で権利内容が異なる実態を改善させた」「先輩が勝ち取ってきた権利を取得して働き続けられている」など、活発な意見が出され、「実態から要求し、権利行使していくことが大切」とまとめられた。

自治体ひろびろ ネットワーク情報

発行 自治労兵庫県本部
専任編集 西野光太郎 編集人 宮本誠之
No.146
2015.1.15

節目の年、団結して頑張ろう

県本部旗開き 「戦後70年、大震災20年」森蔭委員長があいさつ

新年の運動をはじめにあたって、県本部は1月7日、ラッセホールで新春旗開きを開催。組合員をはじめ協力政党・議員、共闘団体など200人が参加した。

森蔭守執行委員長は、「私が初節に訪れた書写山円教寺の今年の一字は『節』だった。戦後70年、阪神淡路大震災から20年である。一方、関連する



県本部組織内議員が連帯の決意を示した



あいさつを述べる森蔭委員長

言葉として、『節度』などが紹介されていたが、多数を占める政権が暴走しないよう願いたい。そして節目の年、暴走を許さないための私たちのたたかひである。1年間、団結を固めて頑張ろう」とあいさつを述べた。

確定第3次の意思統一

単組代表者会議で目標水準を確認

県本部は1月7日、共済会館において単組代表者会議を開催した。14確定単組で、2波の統一行動を配置、1人動引き上げ分は実施、『総合的見直し』は切り離すことを求め交渉、「切り離し」は39単組、引き上げと合わせての要約は22単組。地域手当支給地は3月議会へ継続、無支給地は12月条例改正という結果になっている。



妥結22単組の状況は、引き下げ幅の圧縮(1単組)、号給増設(4単組、すでに増設6単組)、50歳代後半層の給与削減措置(実施していない4単組)、現給保障3年間(再交渉1単組)、1号昇

給抑制(実施しない21単組)、地域手当(改正4単組、無支給地18単組)、退職手当調整額(改正1単組、その他の改正3単組、退手組合関係単組は2月13日に退手組合交渉)、21単組で昇給1号抑制は実施できなかった。

一方、切り離し単組は、ほとんどが3月議会に向け継続となっており、1月末から2月上旬がヤマ場となってくる。県本部は反行革・予算要求統一闘争の1月23日を第1波、自治労本部統一行動の2月6日を第2波として1時間ストを配置して取り組む。統一行動の配置、交渉プラン(1/19~2/5)での交渉強化、県本部の具体的目標水準(7項目)を踏まえ、実質賃金の維持・向上のため取り組みを強めよう。

予算要求闘争および確定第3次統一行動第1波
1月22日 1時間スト配置
確定第3次統一行動第2波
2月6日 2時間スト配置

高砂 懲戒処分取り消し

公平委員会闘争 「手続きに不備、無効」組合の主張認める

ストライキ実施による「戒告処分」で、高砂市職委員長(当時)が「処分は不服として申立てた」件について、2014年12月22日付で高砂市公平委員会は、「懲戒処分を取り消す」との判決を行った。理由として「処分にあたって、合議制機関である農業委員会としての審理が一切なく、書面の作成や交付も事実上市当局が行っており、農業委員会において自主的に文書が作成、交付された経緯もない。(任命権者である)農業委員会が意思決定を行ったという実質も存在せず、本件処分が農業委員会による決定とは到底言えない」としている。本件処分は、懲戒処分を行う要件を欠くものであり、これを取り消すべき法令に違反した重大な瑕疵があるものと判断する」としている。



13年12月に実施した決起集会

今回の判決は、組合側の「処分は、手続きに不備があり、無効である」との主張を全面的に認めたものである。これにより、再審制度はあるものの、任命権者のなら処分を待つことなく、原処分のなされた時点で、「処分がない」との効力が生ずる。

高砂市職の2013年「国公給与削減の地公阻止」のためにかいよびストライキ実施に伴う高砂市中

県会西宮補欠選挙 1月25日投票開票

おくの尚美さんを推せん



おの 尚美
兵庫県議会議員西宮市選挙区の補欠選挙が、1月25日の投票日で行われます。県本部は12月1日の執行委員会で、おくの尚美さん(教組出身)の推せんを決定しています。組合員のご支援をお願いします。

プロフィール
1965年生まれ/1987年 西宮市立南甲子園小学校配属/2011年 兵教組西宮支部事務職員部長/2014年 選出

阪神・淡路大震災から20年 KOBEC市民NGOフォーラム2015

震災を経験した世代と震災を知らない世代で話し合い、メッセージをつくりあげます。当日は、震災後20年を問う直交流を行います。

とき 1月24日(土)10:00~17:00

ところ こうべまちづくり会館

申込方法

単組にお申し込みしているチラシを参照してください。か、info@ngo-kobe.org (国会事務局: 震災NGO協議センター)まで連絡を

自治会"ネットワーク情報"

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 幹事/宮本謙之

No 147
2015.3.6

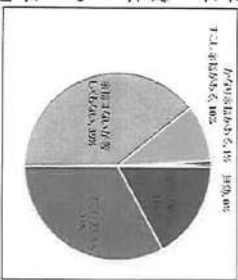
阪派、播磨日 生活実態から春闘たたかおう

アンケート結果

半数が「生活の苦しさ」訴える

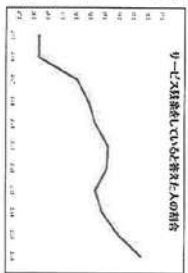
播磨プロジェクトと阪神淡路プロジェクトは、今年も「賃金・生活アンケート」を実施した。回答は播磨が6,136人、阪派が4,296人。性別は、男性が播磨54.1%・阪派44.9%、女性は播磨45.7%・阪派54.0%。「住宅事情」については、播磨が「持ち家」80.5%、阪派は「自宅」が78.4%と、「持ち家・自宅」が大多数となっている。

家族全員の働きで支えられている生活



家族全員の働きで支えられている生活。人々の方法については、「自分の賃金のみ」は播磨30.4%、阪派34.4%しかない。私たちの生活は「共働き」や「家族の収入」を加えた家族全員の働きによって何とか支えられている。その結果、今の暮らし向きについては、約半数(播磨47.1%、阪派49.7%)が生活の苦しさを感じている。

賃上げ要求額は2.8~3.0万円



賃金引き上げ要求額の平均は播磨が30,446円、阪派は28,690円、一時金要求額の平均は、夏は播磨2,333円、冬が播磨2,465円、阪派2,785円となっている。また、「手当の改善」要求の第1位は今年も「一時金」であり、播磨50.2%、阪派60.3%

である。苦しい毎月の生活を何とかしてほしいとの気持ちからあられている。

重点は「欠員補充・労働量の軽減」「再任用・退職金・年金」随職の雇用確保・待遇改善」

播磨の「生活改善の支出項目」では、「教養・娯楽・旅行」65.1%、「交際費・小遣い」46.5%、「衣料」37.9%、「貯金・保険」32.1%、「住まい(老後生活の備え)」37.7%、「住宅事情の改善(ローン返済含む)」31.4%、「健康・医療問題」24.8%など、現在の生活への不満や将来への不安があらわっている。また、重視すべき課題については、「欠員補充・人員増・労働量の軽減」(播磨65.8%、阪派44.1%)、「定年後の雇用保障(再任用)」「退職金」「年金問題」(播磨51.9%、阪派38.4%)、「随職の雇用確保・待遇改善」(阪派63.5%)、「サービス残業あり」(播磨35.6%など)の力を入れてほしい課題が出ている。

みんな一緒に交渉強化

そして、要求実現に向けた取り組み方については、播磨では「労使交渉の重視・強化」71.0%、「随職集会・決起集会」36.4%、「学習会・セミナー」33.6%と、ただかいつ方については、阪派では「参加する」が「決起集会」が81.8%、「拒絶拒否」が66.4%、「年休闘争」は78.9%、「ストライキ」は71.9%と、みんながやるなら一緒にやれるとの多くの声がある。

県本部は春闘期の取り組みとして、3月5日を基本に県内13カ所で街頭宣伝行動を実施した=写真は元町駅



労働者保護ルールの改悪を許すな

地域のメーデーに参加を

メーデーは毎年の5月1日、全世界の労働者が団結の力と国際連帯の意思を示す統一行動日。「8時間労働制」を要求する、1886年5月1日のシカゴでのゼネストを記念し、第2インターは1889年の設立大会で、毎年5月1日を「8時間労働制」などを要求する「国際労働示威の日」とすることを決定した。第1回メーデーは1890年、日本では1920年に第1回メーデーが開催され、戦争を経て1946年第17回メーデーから復活した。

今年には第86回、先行組合の昨年を上回る回答を中小・非正規・未組織へ確実に広げていくための強化、安倍自民党政権が押し進める労働者保護ルールの改悪阻止、憲法違反の世界中で戦うことができる国づくりを反対し、第86回メーデーに参加しよう。各地区の実施状況は右表のとおり。

地区	日時	開催場所
神戸	4月29日	大倉山公園野球場
西崎	4月29日	尼崎市記念公園陸上競技場
尼宮	5月1日	大湛寺公園
伊丹	4月29日	長瀬公園多目的広場
芦屋	5月1日	芦屋市役所北側
川西・津和野川・豊能	4月28日	池田市民文化会館
宝塚	5月1日	武庫川河川敷公園
三田	4月29日	郷の音ホール玄關前
淡路	5月2日	洲本市大浜公園
明石	4月28日	明石公園西芝生広場
東播	5月1日	高砂市総合運動公園
加西	4月26日	いこいの村はりまま生広場
北播	5月1日	西播市総合市民センター体育館
姫路	4月29日	東御屋敷跡公園
西播	4月29日	相生・Hふれあい広場
但馬	4月29日	豊岡市総合体育館前広場
丹波	4月28日	丹波の森公園大ホール

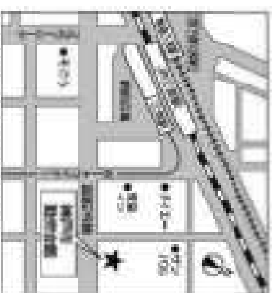
5・3兵庫憲法集会

戦後70年。今こそ9条 一許すな壊憲国民投票一



講演者
沖繩から見える
壊憲情勢

とき 5月3日(日・祝)
午後1時30分開会
ところ 神戸市勤労会館
講師 屋良 朝博さん
主催 ひょうご憲法集会実行委員会



神戸市中央区福井通5-1-2
TEL 078-823-1881
JTB・交通系各地下鉄・神戸バスセンター
三宮駅徒歩5分

自治ひょうご ネットワーク情報

No. 149
2016.4.10
発行人/尾野元太郎・編集人/齊本謙之

自治労兵庫本部 第18回統一自治体選挙情報

第18回統一自治体選挙・前半戦(県会・

神戸市会)選挙戦最終盤！

組織内(組合員ひとり一人)

に再徹底を！

残る2日間、全組合員に対し、投票日対策を含め、投票箱が閉まるまで、組織内の投票棄権防止の再徹底を要請する。

4月3日告示で第18回統一自治体選挙の火蓋が切られ、選挙戦も最終版を迎えている。県本部の組織内候補は、「創ろう！格差と不安のない社会を！」「利権絡みのない公平・公正・クリーンな政治」「人口減少社会・高齢社会対策」などを合言葉に、各選挙区を元気に駆け回っている。残る選挙期間もあと2日、各組織で組織内候補の徹底と投票日における投票棄権防止の再徹底を、全組合員に最後の呼びかけ活動、支持の輪を広げていただきたい。

◆自治労組織内候補(連合推薦)の組織内(組合員)への再徹底を！

◆組合員の投票棄権防止の徹底(投票へ行こう！)

◆投票日対策の組織内徹底！

「戦争法」の成立を阻止しよう

他国の戦争に参加 憲法9条の理念を大きく逸脱

第188回通常国会では、「戦争法」[労働法制改悪]など、私たちの生活と平和を脅かす法案が審議されている。本部や連合、そして地域の取り組みに結集して、法案成立反対の声をあげよう。

安倍首相は「海外で戦争できる国づくり」を積極的に進めてきた。「特定秘密保護法」の強行採決、「武器輸出三原則」の見直し、歴代内閣が「憲法上許されない」としてきた「集団的自衛権」の行使容認の閣議決定、日米共同の武力行使が可能になる「日米ガイトラフイン」の再改定を行い、そして今通常国会で戦争法の制定をめざしている。5月15日に国会に上程された「戦争法案（安全保障関連法案）」の内容は、①他国軍の戦闘支援についての恒久法制定に踏み込んでいること、②周辺事態法および自衛隊法等の改正により、自衛隊の他国への戦闘支援の地理的制約、活動制限を取り除き、戦争への関与を広く認めるものであること、③PKO法を改正し武器使用を前提とした任務を認めるなど、戦争を放棄し、戦力と交戦権

を否認している憲法9条の理念を大きく逸脱している。



国会前行動 5月24日

他国軍の戦闘支援をあらゆる地域で可能にするものであり、まさに戦争への積極

的参加のための法改正にほかならない。自治労も「中央・地方において安全保障関連法案を阻止するために全力でたたかひぬぐ」との書記長談話（別掲）を发出了。戦争法案阻止へ6月20日の「戦争させない1000人委員会関西集会」（奈良文化会館）、21日の「集団的自衛権行使容認反対！兵庫大集会・パレード」（神戸・東遊園地）、「戦争をさせない全国署名」に結集しよう。

労働者派遣法改正案審議入り 連合に結集して取り組もう

派遣労働者の期間制限を事実上撤廃する労働者派遣法の改正案の国会審議が5月12日はじまった。同法案が成立すると、不安定雇用の増大、格差拡大はさらに進む。連合は民主党と連携をとり、改悪阻止の取り組みを強めている。

連合は5月15日、国会前で盛り込みを実施。20日には、国会内で緊急院内集会を開いた。6月8～12日は、「労働者保護カーン改悪阻止キャンペーン（第2次）」として、各種行動を行う。安倍首相は、派遣法改正に際して、「残業代ゼロ法」「金銭解雇」などの成立を狙っている。国会の動きに注視し、反対の声を大きくしよう。

戦争させない1000人委員会関西集会
とき 6月20日（土）午後1時30分開会
ところ 奈良県文化会館
内容 講演とパレード
講師 佐高 信さん
集団的自衛権行使容認反対 兵庫大集会・パレード
とき 6月21日（日）午後2時
ところ 神戸三宮 東遊園地
内容 集会とパレード
主催 兵庫県弁護士会

「平和安全法制整備法案」および「国際平和支援法案」の閣議決定に対する書記長談話

1. 安倍内閣は5月14日、自衛隊法などの改正案10本をまとめた「平和安全法制整備法案」および新たなに制定する「国際平和支援法案1」、いわゆる安全保障関連法案について、閣議決定を行った。その主な内容は、昨年7月1日の集団的自衛権の行使容認に關わる閣議決定に基づき、集団的自衛権行使を含む自衛隊の任務拡大である。

2. 本法案は、例えば、以下の点について看過できない問題点を有している。まず、「重要影響事態安全確保法案」により地味規模で米軍の艦隊などの支援が、「国際平和支援法案」により他国軍の活動の臨時支援が、それぞれ可能になるが、そもそも行動範囲が「日本国の施政の下にある領域」と定めている日米安保条約の枠組みすら逸脱している。次に、4月29日に、安倍首相がアメリカ議会の演説において、国会に提出されてもおらず、当然国会でも議論もされて shouldn't 安全保障関連法案について「今年夏までに必ず成立させる」とし、そのことを前提に、米軍への最大限の協力を約束したこと

は、極めて重大な問題がある。

3. このように重大な問題点を有しているのみならず、そもそも本法案およびその閣議決定は戦後…貫して堅持してきた専守防衛政策の破壊

を意味しており、憲法の平和主義を冒とくするものであることから、斯くて容認できない。集団的自衛権行使には慎重あるいは反対の世論が多数を占めており、民意にも反する。自治労はこの歴史的暴挙に對し、強く抗議するとともに、ただちに撤回を求め、

4. 日本が集団的自衛権の行使に踏み出せば、紛争の当事者に一方的に負担することになり、日本がテロの標的になるばかりか国内への直接攻撃の危険性が格段に高まることは必ずである。平和を實現するために日本は、武力ではなく、対話を基軸とした粘り強い外交努力によって国際紛争を解決するべきである。真摯な姿勢のもと同領感を醸成するべきである。これまでの国際社会からの信頼を反故にしないためにも、国会における取り組みを進めるとともに、連合、平和フォーラム、中央・地方において安全保障関連法案を阻止するために全力でたたかひぬぐ。

2015年5月15日
全日本自治団体労働組合
書記長 川本 淳

自治ひびき

ネットワーク情報

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本誠之

No. 151
2015. 7. 3

第18回平和・人権・環境を考える集い

分科会 報告

県本部は「人権」をテーマに6月6日、第18回平和・人権・環境を考える集いを開いた（自治ひびき6月号掲載）。記念講演終了後、3つの分科会を行い、当面する運動課題について認識と議論を深めた。ネットワーク情報で分科会の内容を報告する。

第1分科会

障害者差別解消法と人権

合理的配慮の事例を考える

障害労働者評議会が中心に分科会を運営した。明石市福祉部福祉総務課障害者施策担当課長の金政玉さんを講師に招き、手話言語・コミュニケーション・条約の特徴や差別解消条例制定に向けた明石市における取り組みの報告を受けた。来年4月に施行される「障害者差別解消法」の成立までの経過や、「障害」に基づく差別「合理的配慮」についての定義を具体例を交えて解説いただいた。



明石の報告を行う金さん

また、障害者差別解消支援地域協議会について、適切な相談窓口を有する機関の紹介や具体的な事例の共有など、重要な役割が期待されるが、設置が義務ではないため、設置を求めていく取り組みが必要だと提起した。

事例交流では、「段差は介助が必要だが、障害者手帳は持っていない。その方からスロープを付けるよう要求されたが、合理的配慮の対象になるのか」と、5つの事例をあげて、その対応方法を講師と一緒に考えた。

第2分科会

国際結婚、ダブルの子どもたち、外国人女性支援、フエルトリード～市民運動から起業へ～

同性平等血統主義への法改正

ウーケメイトの森木和美さんを講師に「国際結婚、ダブルの子どもたち、外国人女性支援、フエルトリード」について、長年の活動と課題を語っていただいた。

森木さんは、ブラジル人男性との結婚からはじまった活動の現状を「女性たちとめぐり合い、今もともにいるラッキーな環境」とし、外国で出産した子どもが無国籍状態になったことではじめての同性平等・血統主義への法改正の取り組みを紹介し、今なお無国籍の子どもたちがいる現状を話した。

フエルトリード運動では、チャリナイではなく、良い商品を出す社会起業として活動している人身売買被害者支援組織が作成した「さをり織」製品を紹介し、大量生産に比べて高額でも、誰がつくっているかというように思いを寄せて欲しいと語り、日本在住の外国人女性と子どもとのエンパワーマインドでは、「寛容じゃない雰囲気」は、海外旅行と同様に身近な外国人に興味を持ち、ふれあうことで変えられると話した。



自らの経験を踏まえ話しをする森木さん

第3分科会

平和運動の前進に向けて

憲法守らない政府を批判

「明日の自由を守る若手弁護士会の」川元志穂さんが、安倍政権が昨年7月に行使容認を閣議決定した集団的自衛権と、それに基づき今国会で成立させようとしている「安全保障関連法案」の中心について説明するとともに、その問題点について説明した。

川元さんは「集団的自衛権行使容認の閣議決定は、実質的に政府が憲法を変えてしまったのと同じ。国民がつくった憲法を政府が守らないということは立憲主義に違反している」と痛烈に批判し

たうえで、「安全保障関連法案は全て、どこでどのような事態に行使できるのか曖昧。実質政府の判断だけで武力行使が可能となり、国会のチェックも効かない」と法案の危険性を指摘した。「憲法学者が全て違憲といっている」と危機感をあらわにした。



国会情勢を反映し、第3分科会には参加者が集まった

最後、司会より「自分たちの職場、地域でできることを1人ひとりが考えていこう」と提起し、分科会を終了した。

参議院議員

えさきたかし

つながらう。ともに声を上げ、 明るい未来を咲かせよう。



1966年福岡県福岡市(旧三善町)出身。79年55歳で女子学生学芸部部長、83年19歳で参議院議員(10年)、89年21歳で自治労兵庫支部書記、97年自治労兵庫本部常務理事、10年東2区2回衆議院議員で当選。現在は、参議院議員選挙権年齢引き上げ推進委員会常務理事、参議院議員選挙権年齢引き上げ推進委員会常務理事、参議院議員選挙権年齢引き上げ推進委員会常務理事、参議院議員選挙権年齢引き上げ推進委員会常務理事、参議院議員選挙権年齢引き上げ推進委員会常務理事。

第14回参議院議員選挙の組織内候補として当選しています。

自治ひろい

ネットワーク情報

No. 152

2015. 8. 21

発行 自治労兵庫県本部
書記長/尾西亮太郎 編集人/宮本謙之

雇用止取り消せ！慰謝料払え！

小野裁判闘争 パワハラ隠蔽は許さない

パワハラを受け、雇用止めされた小野市の元いじめ等相談員（非常勤嘱託職員）の原職復帰とパワハラ被害の慰謝料などを求める裁判が、7月31日に神戸地裁ではじまった。

組合員は11年7月に採用され、1年ごとの更新を繰り返してきたが、14年4月に着任した直属の上司から大声で怒鳴ったり、離席チャエツクをするなどパワハラを繰り返された。同年11月に公共ユニオンに加入し、これに対して管理職や人事課に改善を求めたが、ほとんど対応されることはなく、今年2月17日に突然雇用止を通告された。組合として継続雇用を求め取り組みを進めたが、小野市の不誠実な対応は変わらず6月2日に神戸地裁に提訴となった。

組合員は採用時に最長の場合が定年までの説明を受けており、仕事への能力や勤務実態からも劣っている事実はなく、また、いじめ等相談業務は恒常的に必要とされている仕事であり、当局の更新拒否はパワハラ隠蔽、パワハラ告発に対する報復であり許されない。



裁判の争点を説明する 小野市元職員

第1回裁判の支援傍聴に県本部・各単組より23人が参加、終了後は報告集会が行われた。小野市は組合員の請求の棄却を求める答弁書を提出、詳細の準備書面は次回までに提出される。次回第2回期日は9月18日、多くの支援で裁判に勝利しよう。

三田市長選挙 しばのさん惜敗



お礼を述べる 三田市長選挙 しばのさん

7月26日投票で行なわれた三田市長選挙は、県本部・三田市職労が推薦する組織内の「しばの照久」候補と市会議員2人、元県民局長との新人4人の激戦となった。「しばの照久」候補は、7690票を獲得したが惜敗した。三田市職労は一致団結して取り組み、結果は残念であったが、今回の取り組みをしっかりと総括し、経験を次に活かすことが重要と考えている。

戦争法案廃案！安倍政権退陣

8月30日(日)

全国100万人大行動

近畿圏では

大阪・扇町公園で大集会

午後4時開会